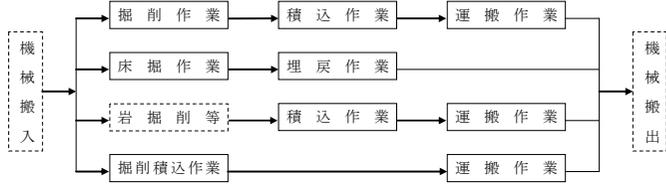
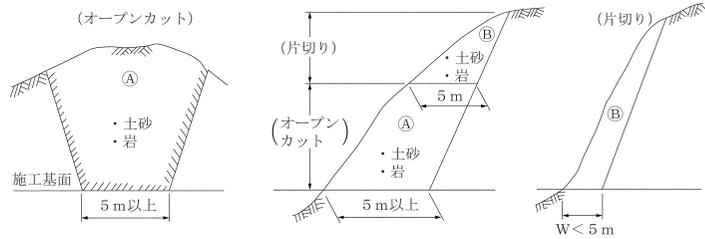


現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
目次 P.vii	⑤ 路上再生路盤工	⑤ 路上路盤再生工	

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P14	<p style="text-align: center;">② 機械土工（土砂）</p> <p>1. 施工概要及び施工形態</p> <p>1-1 施工概要（施工フロー）</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>1-2 施工形態</p>  <p>図1-1 図1-2 図1-3</p> <p>施工形態は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分し、工法を選定する。 「オープンカット」は、図1-1に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で切取幅5m以上、かつ延長20m以上を標準とする。(掘削法については、表1.1を参照) 「片切り」は、図1-2及び図1-3に示すような切取幅5m未満の領域(B)とする。 なお、図1-2に示すような箇所にあっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカット工法が可能と判断される場合(図1-2領域(A))はオープンカットを適用する。(掘削法について、表1.2を参照)</p>	<p>現行どおり</p>	

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																							
	<p style="text-align: center;">表1.1オープンカット（㊸領域）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削法</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ掘削 機械土工</td> <td rowspan="2">『②機械土工（土砂）』</td> </tr> <tr> <td>バックホウ掘削</td> </tr> <tr> <td>リッパ掘削 機械掘削 火薬併用リッパ掘削 大型ブレーカ掘削</td> <td rowspan="2">『③機械土工（岩石）』</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1.2片切り（㊸領域）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削法</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人力併用機械掘削</td> <td rowspan="2">『②機械土工（土砂）』</td> </tr> <tr> <td>人力併用機械掘削</td> </tr> <tr> <td>火薬併用機械掘削</td> <td rowspan="2">『③機械土工（岩石）』</td> </tr> <tr> <td>機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 掘削法及び機種の選定（土砂）</p> <p>2-1 掘 削 法</p> <p>(1) オープンカット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ブルドーザ掘削……ブルドーザにより掘削押土を行う作業をいう。 ○バックホウ掘削……バックホウによる掘削及び積込作業をいう。 <p>(2) 片 切 り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人力併用機械掘削……バックホウによる掘削と一部人力による切崩しの組合せによる作業をいう。 <p>2-2 機種の選定</p> <p>標準として積算に用いる機械は、次表のとおりとするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した機種を選定する。</p> <p>(1) ブルドーザの機種選定</p> <p style="text-align: center;">表2.1 ブルドーザの機種選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>作業の内容</th> <th>ブルドーザの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">掘削押土（運搬）</td> <td>30,000m³未満</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）湿地 20 t 級</td> </tr> <tr> <td>30,000m³以上</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）普通 32 t 級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、1工事当りのブルドーザ掘削押土による取扱い土量である。 3. 湿地軟弱土での作業の場合は、取扱い土量に関わらず湿地20 t 級を適用する。</p>	掘削法	摘 要	ブルドーザ掘削 機械土工	『②機械土工（土砂）』	バックホウ掘削	リッパ掘削 機械掘削 火薬併用リッパ掘削 大型ブレーカ掘削	『③機械土工（岩石）』	掘削法	摘 要	人力併用機械掘削	『②機械土工（土砂）』	人力併用機械掘削	火薬併用機械掘削	『③機械土工（岩石）』	機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。	作業の種類	作業の内容	ブルドーザの規格	掘削押土（運搬）	30,000m ³ 未満	排出ガス対策型（第1次基準値）湿地 20 t 級	30,000m ³ 以上	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 32 t 級	<p>現行どおり</p>	
掘削法	摘 要																									
ブルドーザ掘削 機械土工	『②機械土工（土砂）』																									
バックホウ掘削																										
リッパ掘削 機械掘削 火薬併用リッパ掘削 大型ブレーカ掘削	『③機械土工（岩石）』																									
掘削法		摘 要																								
人力併用機械掘削	『②機械土工（土砂）』																									
人力併用機械掘削																										
火薬併用機械掘削	『③機械土工（岩石）』																									
機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。																										
作業の種類	作業の内容	ブルドーザの規格																								
掘削押土（運搬）	30,000m ³ 未満	排出ガス対策型（第1次基準値）湿地 20 t 級																								
	30,000m ³ 以上	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 32 t 級																								

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																
	<p>(2) 掘削積込機械の機種選定</p> <p style="text-align: center;">表2.2 掘削積込機械の機種選定</p> <table border="1" data-bbox="286 292 1008 544"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み</td> <td>50,000m³未満</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m³（平積1.0m³）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">床 掘 り （作 業 土 工）</td> <td>標 準</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合</td> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅 1 m未満の場合</td> <td colspan="2">『⑤小規模土工』</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、1工事当りのバックホウによる取扱い土量である。</p> <p>(3) ダンプトラック運搬作業 標 準 10 t 積 特殊な場合は、別途考慮する。 (注) 特殊な場合とは、小規模工事、現場狭小のための標準機種の使用が不適当な場合をいう。</p> <p>3. 運搬距離による土工方式の区分 土運搬の工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 土運搬の工法選定</p> <table border="1" data-bbox="443 892 851 967"> <thead> <tr> <th>運 搬 距 離</th> <th>標 準 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m以下</td> <td>ブルドーザが標準</td> </tr> <tr> <td>60mを超える</td> <td>バックホウ+ダンプトラックが標準</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表により難い場合は、別途考慮する。</p>	作業の種類	作業の内容	機械名	規 格	掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	50,000m ³ 以上	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	床 掘 り （作 業 土 工）	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	平均施工幅 1 m未満の場合	『⑤小規模土工』		運 搬 距 離	標 準 工 法	60m以下	ブルドーザが標準	60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準	<p>(2) 掘削積込機械の機種選定</p> <p style="text-align: center;">表2.2 掘削積込機械の機種選定</p> <table border="1" data-bbox="1189 304 1910 557"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み</td> <td>50,000m³未満</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m³（平積1.0m³）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">床 掘 り （作 業 土 工）</td> <td>標 準</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合</td> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅 1 m未満の場合</td> <td colspan="2">『⑤小規模土工』</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、1工事当りのバックホウによる取扱い土量である。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	作業の種類	作業の内容	機械名	規 格	掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	50,000m ³ 以上	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	床 掘 り （作 業 土 工）	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	平均施工幅 1 m未満の場合	『⑤小規模土工』		
作業の種類	作業の内容	機械名	規 格																																																
掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																
	50,000m ³ 以上	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）																																																
床 掘 り （作 業 土 工）	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																
	平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）																																																
	平均施工幅 1 m未満の場合	『⑤小規模土工』																																																	
運 搬 距 離	標 準 工 法																																																		
60m以下	ブルドーザが標準																																																		
60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準																																																		
作業の種類	作業の内容	機械名	規 格																																																
掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																
	50,000m ³ 以上	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）																																																
床 掘 り （作 業 土 工）	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ）クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																
	平均施工幅 1 m以上 2 m未満の場合	〃	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）																																																
	平均施工幅 1 m未満の場合	『⑤小規模土工』																																																	

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																				
	<p>4. 機械の施工歩掛</p> <p>(1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量（地山土量）をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、次表の土量換算係数 f を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 土量換算係数 f の値</p> <table border="1" data-bbox="371 416 925 491"> <tr> <td style="text-align: center;">求める作業量 基準の作業量</td> <td style="text-align: center;">地山の土量</td> <td style="text-align: center;">ほぐした土量</td> <td style="text-align: center;">締固めた土量</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地山の土量</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">L</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> </table> <p>(注) L及びCは「第2章土工①土量変化率」による。</p> <p>(2) 土質区分 日当り施工量における土質は、次表のとおり区分する。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 土質区分</p> <table border="1" data-bbox="362 663 931 855"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土 質 名</th> <th style="text-align: center;">分 類 土 質 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>砂質土、普通土、砂質ローム</td> <td>砂 質 土</td> </tr> <tr> <td>レキ質土、砂利混り土、レキ</td> <td>レキ 質 土</td> </tr> <tr> <td>粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土</td> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混り土、破砕岩</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> </tbody> </table>	求める作業量 基準の作業量	地山の土量	ほぐした土量	締固めた土量	地山の土量	1	L	C	土 質 名	分 類 土 質 名	砂	砂	砂質土、普通土、砂質ローム	砂 質 土	レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ 質 土	粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土	粘 性 土	岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
求める作業量 基準の作業量	地山の土量	ほぐした土量	締固めた土量																				
地山の土量	1	L	C																				
土 質 名	分 類 土 質 名																						
砂	砂																						
砂質土、普通土、砂質ローム	砂 質 土																						
レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ 質 土																						
粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土	粘 性 土																						
岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石																						

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																										
	<p>4-1 ブルドーザの作業能力 (1) 日当り施工量 ブルドーザによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="255 352 1039 528"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>地山の掘削押土</th> <th>ルーズな状態の押土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ブルドーザ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級</td> <td>砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土</td> <td>m³</td> <td>320</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>200</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブルドーザ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級</td> <td>砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土</td> <td>〃</td> <td>710</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>440</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の施工量は、運搬距離60mまでの押土作業を含んだ値である。 2. 上記の施工量は、転圧を伴わない敷均しを含んだ作業にも適用出来る。ただし、転圧を伴う場合は、「第2章土工④土の敷均し締固め工」により別途計上する。 3. 30,000m³以上の「ルーズな状態の押土」作業は、湿地20t級を適用する。 4. 軟岩をリッピングしたものはリッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質の値とする。 5. 破砕岩の施工量は、「ルーズな状態の押土」を適用する。 6. 集積作業は、「ルーズな状態の押土」を適用する。</p>	名 称	規 格	土 質 名	単 位	地山の掘削押土	ルーズな状態の押土	ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	m ³	320	540	岩塊・玉石	〃	200	350	ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	〃	710	—	岩塊・玉石	〃	440	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
名 称	規 格	土 質 名	単 位	地山の掘削押土	ルーズな状態の押土																								
ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	m ³	320	540																								
		岩塊・玉石	〃	200	350																								
ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	〃	710	—																								
		岩塊・玉石	〃	440	—																								

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行						改 正						摘 要																																																																																																																																																												
	<p>4-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 日 当 り 施 工 量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="210 336 1093 815"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">地山の掘削積込</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>300</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>230</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>500</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>410</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">ルーズな状態の積込</td> <td rowspan="8">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">260</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">520</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">440</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">130</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床掘り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 地山の掘削積込 障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合。 障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）、連続掘削作業が出来ない場合。 床掘り（作業土工） 障害なし：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：①床掘り作業において障害物等により施工条件に制限がある場合（例えば作業障害が多い場合）。 ②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（溝掘、基礎掘削、床掘り）を行う場合は障害ありを適用する。 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質とする。 基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100m²当り普通作業員2人を別途計上する。 機械土工(岩石)における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態のバックホウ山積0.45m³(平積0.35m³)を適用する。 						作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190	岩塊玉石	〃	230	140	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	500	320	岩塊玉石	〃	410	260	ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	310		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	260		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	520		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	440		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	160		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	130		床掘り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	220	180	岩塊玉石	〃	160	130	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	150	100	岩塊玉石	〃	110	70	<p>4-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 日 当 り 施 工 量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1113 336 1995 815"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">地山の掘削積込</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>300</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>230</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>500</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>410</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">ルーズな状態の積込</td> <td rowspan="8">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">260</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">520</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">440</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破碎)</td> <td>〃</td> <td colspan="2">130</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床掘り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 地山の掘削積込 障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合。 障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）、連続掘削作業が出来ない場合。 床掘り（作業土工） 障害なし：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：①床掘り作業において障害物等により施工条件に制限がある場合（例えば作業障害が多い場合）。 ②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（溝掘、基礎掘削、床掘り）を行う場合は障害ありを適用する。 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質とする。 基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100m²当り普通作業員2人を別途計上する。 機械土工(岩石)における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態のバックホウ山積0.45m³(平積0.35m³)を適用する。 						作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190	岩塊玉石	〃	230	140	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	500	320	岩塊玉石	〃	410	260	ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	310		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	260		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	520		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	440		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	160		岩塊玉石・岩(破碎)	〃	130		床掘り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	220	180	岩塊玉石	〃	160	130	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	150	100	岩塊玉石	〃	110	70	
作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量																																																																																																																																																																				
					障害なし	障害あり																																																																																																																																																																			
地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190																																																																																																																																																																			
			岩塊玉石	〃	230	140																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	500	320																																																																																																																																																																			
			岩塊玉石	〃	410	260																																																																																																																																																																			
ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	310																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	260																																																																																																																																																																				
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	520																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	440																																																																																																																																																																				
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	160																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	130																																																																																																																																																																				
		床掘り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																	
					岩塊玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																	
排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土			〃	150	100																																																																																																																																																																			
	岩塊玉石			〃	110	70																																																																																																																																																																			
作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量																																																																																																																																																																				
					障害なし	障害あり																																																																																																																																																																			
地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190																																																																																																																																																																			
			岩塊玉石	〃	230	140																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	500	320																																																																																																																																																																			
			岩塊玉石	〃	410	260																																																																																																																																																																			
ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	310																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	260																																																																																																																																																																				
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	520																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	440																																																																																																																																																																				
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	160																																																																																																																																																																				
			岩塊玉石・岩(破碎)	〃	130																																																																																																																																																																				
		床掘り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																	
					岩塊玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																	
排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土			〃	150	100																																																																																																																																																																			
	岩塊玉石			〃	110	70																																																																																																																																																																			

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																														
	<p>(2) 床掘り（作業土工）補助労務 構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削できない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 床掘補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="378 355 918 477"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土留方式</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">床掘り (作業土工)</td> <td>自 立 式</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>切梁腹起し方式</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>グランドアンカ方式</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 片切掘削（人力併用機械掘削） (1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="291 630 1005 687"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 日当り施工量 片切掘削（人力併用機械掘削）の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="297 815 996 882"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>砂・砂質土・粘性土・レキ質土</td> <td>m³</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人力掘削歩掛 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="320 1011 976 1069"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>砂・砂質土・粘性土・レキ質土</td> <td>人</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工（法面整形工）の機械による切土整形にて計上する。</p>	作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量	床掘り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9	グランドアンカ方式	〃	〃	0.7	機 械 名	規 格	単 位	数 量	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220	名 称	土 質 名	単 位	数 量	普通作業員	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	人	3.9	<p>現行どおり</p> <p>4-3 片切掘削（人力併用機械掘削） (1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1193 617 1912 675"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 日当り施工量 片切掘削（人力併用機械掘削）の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1200 815 1904 882"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>砂・砂質土・粘性土・レキ質土</td> <td>m³</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220	
作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量																																																													
床掘り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3																																																													
	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9																																																													
	グランドアンカ方式	〃	〃	0.7																																																													
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																														
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																														
名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220																																																													
名 称	土 質 名	単 位	数 量																																																														
普通作業員	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	人	3.9																																																														
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																														
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																														
名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220																																																													

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p>4-4 ダンプトラックの運搬作業 (1) ダンプトラック (10 t積) による, 土砂 100m³当り運搬日数は, 表 4.9, 表 4.10 及び表 4.11 による。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.5 以下</td><td>6.5 以下</td><td>7.5 以下</td><td>9.5 以下</td><td>11.5 以下</td><td>15.5 以下</td><td>22.5 以下</td><td>49.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>5.0 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.0 以下</td><td>8.5 以下</td><td>11.0 以下</td><td>14.0 以下</td><td>19.5 以下</td><td>31.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表4.10 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積1.4m³ (平積1.0m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.0 以下</td><td>8.5 以下</td><td>10.0 以下</td><td>12.5 以下</td><td>16.5 以下</td><td>23.5 以下</td><td>51.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>5.5 以下</td><td>6.5 以下</td><td>8.0 以下</td><td>9.5 以下</td><td>11.5 以下</td><td>15.0 以下</td><td>20.5 以下</td><td>33.0 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表4.11 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m³ (平積0.35m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>2.0 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.5 以下</td><td>10.0 以下</td><td>13.5 以下</td><td>19.5 以下</td><td>39.0 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.3</td><td>1.5</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>9.0 以下</td><td>12.0 以下</td><td>17.5 以下</td><td>28.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.3</td><td>1.5</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は, 地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり, 往路と復路が異なる時は, 平均値とする。 3. 自動車専用道路を利用する場合には, 別途考慮する。 4. D I D (人口集中地区) は, 総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5. 運搬距離が, 60kmを超える場合は, 別途計上する。</p>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	<p>4-4 ダンプトラックの運搬作業 (1) ダンプトラック (10 t積) による, 土砂 100m³当り運搬日数は, 表 4.9, 表 4.10 及び表 4.11 による。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.5 以下</td><td>6.5 以下</td><td>7.5 以下</td><td>9.5 以下</td><td>11.5 以下</td><td>15.5 以下</td><td>22.5 以下</td><td>49.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td><td>0.5 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>5.0 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.0 以下</td><td>8.5 以下</td><td>11.0 以下</td><td>14.0 以下</td><td>19.5 以下</td><td>31.5 以下</td><td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>3.0</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>6.1</td><td>9.1</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
運搬日数 (日)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
運搬日数 (日)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
運搬日数 (日)	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
運搬日数 (日)	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
運搬日数 (日)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

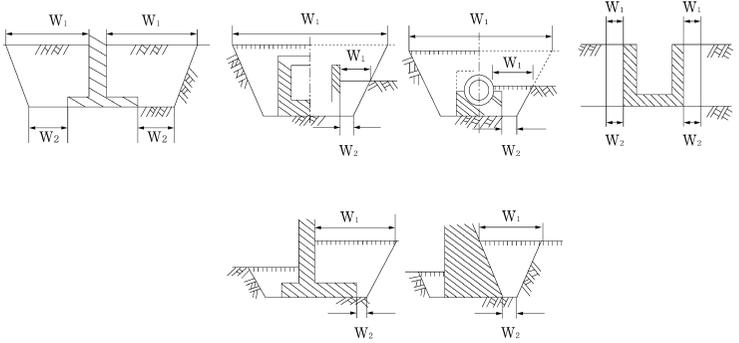
とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																
	<p>(2) 100m³当り運搬日数（軟岩・硬岩） 軟岩及び硬岩の100m³当り運搬日数は、次式による。 100m³当り運搬日数=土砂100m³当り運搬日数×（1+K） K：補正係数 補正係数（K）の値は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.12 補正係数（K）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>+0.22</td> <td>+0.37</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 単 価 表</p> <p>(1) ブルドーザ掘削押土100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(2) バックホウ掘削積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）又は山積0.8m³（平積0.6m³）又は山積1.4m³（平積1.0m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(3) バックホウ積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）又は山積0.8m³（平積0.6m³）又は山積1.4m³（平積1.0m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(4) バックホウ床掘100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）又は山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5 必要より計上する。</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p>	土 質	軟 岩	硬 岩	補 正 係 数	+0.22	+0.37	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）又は山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）又は山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4	普通作業員		人		表4.5 必要より計上する。	諸 雑 費		式	1		計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. 単 価 表</p> <p>(1) ブルドーザ掘削押土100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(2) バックホウ掘削積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）、山積1.4m³（平積1.0m³）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(3) バックホウ積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）、山積1.4m³（平積1.0m³）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p> <p>(4) バックホウ床掘100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）、山積1.4m³（平積1.0m³）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5 必要より計上する。</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（注） D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4	普通作業員		人		表4.5 必要より計上する。	諸 雑 費		式	1		計					
土 質	軟 岩	硬 岩																																																																																																																																																																																	
補 正 係 数	+0.22	+0.37																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
ブルドーザ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）又は山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）又は山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）又は山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
普通作業員		人		表4.5 必要より計上する。																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
ブルドーザ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）、山積1.4m ³ （平積1.0m ³ ）又は排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.4																																																																																																																																																																															
普通作業員		人		表4.5 必要より計上する。																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																						
	<p>(5) 掘削補助労力（基面整正）100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="306 237 987 360"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 片切掘削（人力併用機械掘削）100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="306 426 987 576"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(7) 機械重転単価表</p> <table border="1" data-bbox="306 676 987 1246"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(積込み)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(片切掘削)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7	普通作業員		人		表4.8	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33	バックホウ(積込み)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48	バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33	ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24	<p>現行どおり</p> <p>(6) 片切掘削（人力併用機械掘削）100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 426 1892 576"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(7) 機械重転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 676 1892 1246"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(積込み)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(片切掘削)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7	普通作業員		人		表4.8	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33	バックホウ(積込み)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48	バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33	ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
普通作業員		人		表4.4																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7																																																																																																																																																					
普通作業員		人		表4.8																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83																																																																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83																																																																																																																																																						
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46																																																																																																																																																						
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33																																																																																																																																																						
バックホウ(積込み)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38																																																																																																																																																						
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38																																																																																																																																																						
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48																																																																																																																																																						
バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33																																																																																																																																																						
ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7																																																																																																																																																					
普通作業員		人		表4.8																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地20t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→1.83																																																																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→1.83																																																																																																																																																						
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.46																																																																																																																																																						
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→1.33																																																																																																																																																						
バックホウ(積込み)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.38																																																																																																																																																						
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→1.38																																																																																																																																																						
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.48																																																																																																																																																						
バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→1.33																																																																																																																																																						
ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→1.24																																																																																																																																																						

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																									
	<p>6. 埋 戻 工</p> <p>6-1 適用範囲 本資料は、機械による埋戻し（敷均し含む）及び締固めの一連作業に適用する。なお、「第2章土工⑤小規模土工」の適用範囲に合致する工事は、適用しない。</p> <p>6-2 施工計画</p> <p>6-2-1 埋戻し 埋戻機械は、バックホウ（排出ガス対策型・クローラ型山積0.8m^3（平積0.6m^3）又は山積0.45m^3（平積0.35m^3））を標準とする。なお、埋戻機械の稼働時間には、敷均しを含む。</p> <p>6-2-2 敷均し補助 埋戻機械により、埋戻材料のはねつけ、敷均しを行うが、構造物周辺の敷均し補助として普通作業員を計上する。</p> <p>6-2-3 締固め 締固め機械は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 締固め機械の機種選定</p> <table border="1" data-bbox="293 603 952 820"> <thead> <tr> <th>埋戻種別</th> <th>基準埋戻幅 (W)</th> <th>締固め機械</th> <th>規 格</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>$W_2 \geq 4\text{m}$</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>$W_1 \geq 4\text{m}$</td> <td>振動ローラ</td> <td>0.8~1.1t 60~80kg</td> <td>1 1</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>$1\text{m} \leq W_1 < 4\text{m}$</td> <td>振動ローラ</td> <td>0.8~1.1t 60~80kg</td> <td>1 1</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>$W_1 < 1\text{m}$</td> <td>タンバ</td> <td>60~80kg</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 埋戻幅W_1とは最大埋戻幅、埋戻幅W_2とは最小埋戻幅を表し、下図のとおりとする。 なお、擁壁等で前背面の最大埋戻幅が異なる場合は、広い方の領域を基準とし、狭い方も同一歩掛を適用するものとする。</p> <p>2. 埋戻幅W_2が4m以上の場合は、埋戻種別Aを適用するものとする。</p> <p>3. 締固め機械等の搬入が困難な場合、又は締固めを伴わない作業等で、上表によることが著しく不適当と判断される場合は別途考慮する。</p> 	埋戻種別	基準埋戻幅 (W)	締固め機械	規 格	台数	A	$W_2 \geq 4\text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	1	B	$W_1 \geq 4\text{m}$	振動ローラ	0.8~1.1t 60~80kg	1 1	C	$1\text{m} \leq W_1 < 4\text{m}$	振動ローラ	0.8~1.1t 60~80kg	1 1	D	$W_1 < 1\text{m}$	タンバ	60~80kg	1	<p>6. 埋 戻 工</p> <p>6-1 適用範囲 本資料は、機械による埋戻し（敷均し含む）及び締固めの一連作業に適用する。なお、「第2章土工⑤小規模土工」の適用範囲に合致する工事は、適用しない。</p> <p>6-2 施工計画</p> <p>6-2-1 埋戻し 埋戻機械は、バックホウ（排出ガス対策型（第2次基準値）・クローラ型山積0.8m^3（平積0.6m^3）又は排出ガス対策型（第1次基準値）山積0.45m^3（平積0.35m^3））を標準とする。なお、埋戻機械の稼働時間には、敷均しを含む。</p> <p>6-2-2 敷均し補助 埋戻機械により、埋戻材料のはねつけ、敷均しを行うが、構造物周辺の敷均し補助として普通作業員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
埋戻種別	基準埋戻幅 (W)	締固め機械	規 格	台数																								
A	$W_2 \geq 4\text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	1																								
B	$W_1 \geq 4\text{m}$	振動ローラ	0.8~1.1t 60~80kg	1 1																								
C	$1\text{m} \leq W_1 < 4\text{m}$	振動ローラ	0.8~1.1t 60~80kg	1 1																								
D	$W_1 < 1\text{m}$	タンバ	60~80kg	1																								

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																		
	<p>6-3 施工歩掛 6-3-1 埋戻工A 埋戻工A歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 埋 戻 工 A 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 327 1003 427"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。</p> <p>6-3-2 埋戻工B 埋戻工B歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.3 埋 戻 工 B 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 582 1003 737"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8～1.1t</td> <td>日</td> <td>0.92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タンバ締固め</td> <td>60～80kg</td> <td>m³</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p> <p>6-3-3 埋戻工C 埋戻工C歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.4 埋 戻 工 C 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 933 1003 1088"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8～1.1t</td> <td>日</td> <td>1.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タンバ締固め</td> <td>60～80kg</td> <td>m³</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0		ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	2.0		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	1.6	敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8		振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92		タンバ締固め	60～80kg	m ³	4		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	4.0	敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0		振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	1.35		タンバ締固め	60～80kg	m ³	10		<p>6-3 施工歩掛 6-3-1 埋戻工A 埋戻工A歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 埋 戻 工 A 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1198 327 1908 427"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。</p> <p>6-3-2 埋戻工B 埋戻工B歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.3 埋 戻 工 B 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1198 582 1908 737"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8～1.1t</td> <td>日</td> <td>0.92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タンバ締固め</td> <td>60～80kg</td> <td>m³</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p> <p>6-3-3 埋戻工C 埋戻工C歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.4 埋 戻 工 C 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1198 933 1908 1088"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8～1.1t</td> <td>日</td> <td>1.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タンバ締固め</td> <td>60～80kg</td> <td>m³</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0		ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	2.0		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	1.6	敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8		振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92		タンバ締固め	60～80kg	m ³	4		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	4.0	敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0		振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	1.35		タンバ締固め	60～80kg	m ³	10		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0																																																																																																																																		
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	2.0																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
普通作業員		人	1.6	敷均し補助																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8																																																																																																																																		
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92																																																																																																																																		
タンバ締固め	60～80kg	m ³	4																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
普通作業員		人	4.0	敷均し補助																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0																																																																																																																																		
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	1.35																																																																																																																																		
タンバ締固め	60～80kg	m ³	10																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0																																																																																																																																		
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	2.0																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
普通作業員		人	1.6	敷均し補助																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8																																																																																																																																		
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92																																																																																																																																		
タンバ締固め	60～80kg	m ³	4																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
普通作業員		人	4.0	敷均し補助																																																																																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0																																																																																																																																		
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	1.35																																																																																																																																		
タンバ締固め	60～80kg	m ³	10																																																																																																																																		

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																											
	<p>6-3-4 埋戻工D 埋戻工D歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.5 埋 戻 工 D 歩 掛 (100m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ ン パ 締 固 め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ~締固めまでの作業が含まれている。 2. タンパ締固めは6-3-5のタンパ締固めによる。 3. はねつけ機械の搬入が困難な場合は、「人力盛土+タンパ締固め」とする。 4. タンパは、賃料とする。</p> <p>6-3-5 タンパ締固め タンパによる締固め施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.6 締固め機械施工歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.0</td> <td>締固め補助</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ 運 転</td> <td>60~80kg</td> <td>日</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6-4 単 価 表 (1) 埋戻工A100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 埋戻工B100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.3 敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ 締 固 め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	6.0		タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³	100		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	3.0	締固め補助	タ ン パ 運 転	60~80kg	日	3.0		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2	ブ ル ド ー ザ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表6.3 敷均し補助	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					<p>6-4 単 価 表 (1) 埋戻工A100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 埋戻工B100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.3 敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ 締 固 め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2	ブ ル ド ー ザ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表6.3 敷均し補助	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	6.0																																																																																																																																																											
タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³	100																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	3.0	締固め補助																																																																																																																																																										
タ ン パ 運 転	60~80kg	日	3.0																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2																																																																																																																																																										
ブ ル ド ー ザ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人		表6.3 敷均し補助																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																																																										
タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2																																																																																																																																																										
ブ ル ド ー ザ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人		表6.3 敷均し補助																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																																																										
タ ン パ 締 固 め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																														

とりまとめ工種（最終整備）
機械土工(土砂)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																				
	<p>(3) 埋戻工C100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 245 1003 427"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.4 数均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 埋戻工D100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 528 1003 683"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.5 数均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 772 1003 1050"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44</td> </tr> <tr> <td>タンパ</td> <td>60~80kg</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.4 数均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.5 数均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃	タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1		振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44	タンパ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン	<p>(3) 埋戻工C100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1200 245 1910 427"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.4 数均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1200 772 1910 1050"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44</td> </tr> <tr> <td>タンパ</td> <td>60~80kg</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.4 数均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1		振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44	タンパ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																			
普通作業員		人		表6.4 数均し補助																																																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																																																			
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																																																			
タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																			
普通作業員		人		表6.5 数均し補助																																																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃																																																																																																																																																			
タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																				
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1																																																																																																																																																					
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1																																																																																																																																																					
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1																																																																																																																																																					
振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44																																																																																																																																																				
タンパ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																			
普通作業員		人		表6.4 数均し補助																																																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																																																			
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																																																			
タンパ締固め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																				
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1																																																																																																																																																					
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1																																																																																																																																																					
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1																																																																																																																																																					
振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44																																																																																																																																																				
タンパ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン																																																																																																																																																				

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																									
P. 35 (2・④・1)	<p>④ 土の敷均し締固め工</p> <p>1. 適用範囲及び施工概要</p> <p>1-1 適用範囲 本資料の適用範囲は、路体・路床・築堤の敷均し及び締固め作業に適用する。</p> <p>1-2 施工概要（フロー）</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2. 機種 の 選 定 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の設定</p> <table border="1" data-bbox="215 707 1084 1398"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>作 業 の 内 容</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">敷 均 し</td> <td rowspan="3">敷 均 し</td> <td>路体 10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級</td> </tr> <tr> <td>築堤 10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td rowspan="2">路 床</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="2">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し 締 固 め</td> <td rowspan="2">路 体 路 床 築 堤</td> <td>標準</td> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8～20 t</td> </tr> <tr> <td>敷 均 し 締 固 め</td> <td rowspan="3">路 体 築 堤</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し 締 固 め</td> <td rowspan="2">路 床</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="2">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	工 種	作 業 の 内 容	機 械 名	規 格	敷 均 し	敷 均 し	路体 10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級	築堤 10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級	トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級	締 固 め	路 床	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級	敷 均 し 締 固 め	路 体 路 床 築 堤	標準	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8～20 t	敷 均 し 締 固 め	路 体 築 堤	10,000m ³ 未満の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級	トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級	敷 均 し 締 固 め	路 床	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級	<p>現行どおり</p>	
作 業	工 種	作 業 の 内 容	機 械 名	規 格																																								
敷 均 し	敷 均 し	路体 10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級																																								
		築堤 10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級																																								
		トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級																																								
締 固 め	路 床	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級																																								
		10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級																																								
敷 均 し 締 固 め	路 体 路 床 築 堤	標準	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8～20 t																																								
		敷 均 し 締 固 め	路 体 築 堤	10,000m ³ 未満の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級																																							
10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級																																											
トラフィカビリティが不足して普通 ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16 t 級																																											
敷 均 し 締 固 め	路 床	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15 t 級																																								
		10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21 t 級																																								

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																
P.36 (2・④・2)	<p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 328 1084 464"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し・敷均し締固め</td> <td>路体・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>路 床</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛 4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機械・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="215 644 1084 927"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>施工幅員 (W)</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し</td> <td>2.5m≦W<4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W<2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>第2章土工⑥人力土工 人力盛土（埋戻し）による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締固め</td> <td>1.0m≦W<4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t</td> </tr> <tr> <td>W<1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8～1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 振動ローラは、賃料とする。</p>	作 業	工 種	名 称	単 位	数 量	敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.2	路 床	普通作業員	人	0.3	作 業	施工幅員 (W)	機械名	規 格	敷均し	2.5m≦W<4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通3t級	W<2.5m	人力土工	第2章土工⑥人力土工 人力盛土（埋戻し）による	締固め	1.0m≦W<4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1t	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
作 業	工 種	名 称	単 位	数 量																															
敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.2																															
	路 床	普通作業員	人	0.3																															
作 業	施工幅員 (W)	機械名	規 格																																
敷均し	2.5m≦W<4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通3t級																																
	W<2.5m	人力土工	第2章土工⑥人力土工 人力盛土（埋戻し）による																																
締固め	1.0m≦W<4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t																																
	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1t																																

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																									
P. 37 (2・④・3)	<p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 304 1088 427"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級</td> <td>m³</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 敷均し作業の仕上厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 531 1088 882"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締固め</td> <td rowspan="2">路床</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>m³</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・ 築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>〃</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="333 1002 969 1093"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	工 種	機 械 名	規 格	単 位	数 量	敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	130	作 業	工 種	機 械 名	規 格	単 位	数 量	締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	100	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	55	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	〃	120	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	70	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0.3	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
作 業	工 種	機 械 名	規 格	単 位	数 量																																							
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	130																																							
作 業	工 種	機 械 名	規 格	単 位	数 量																																							
締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	100																																							
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	55																																							
	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	〃	120																																							
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	70																																							
名 称	単 位	数 量																																										
普 通 作 業 員	人	0.3																																										

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																													
P. 37 (2・④・3)	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) ブルドーザ敷均し 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="215 288 1084 539"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(2) タイヤローラ締固め 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="215 659 1084 863"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級	日	100/D	表3.1	普通作業員		人		表3.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	日	100/D	表3.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級	日	100/D	表3.1																																												
普通作業員		人		表3.2																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	日	100/D	表3.1																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																
P. 38 (2・④・4)	<p>(3) ブルドーザ敷均し締固め 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="215 970 1084 1195"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級	日	100/D	表3.1	普通作業員		人		表3.2	諸 雑 費		式	1		計																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級, 21 t級, 湿地16 t級	日	100/D	表3.1																																												
普通作業員		人		表3.2																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行					改 正	摘 要
P. 38 (2・④・4)	(4) 3 t級ブルドーザ敷均し100m ³ 当り単価表					<div style="font-size: 4em; margin-left: 10px;">}</div> 現行どおり	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		
	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級	日	100/D	表4.2		
	普通作業員		人		表4.4		
	諸 雑 費		式	1			
	計						
	(注) D : 日当り施工量						
	(5) 振動ローラ締固め100m ³ 当り単価表						
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		
	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 摺動式・コンパクト型 3~4t, 又は、ハンド ガイト式 08~11t	日	100/D	表4.3		
	諸 雑 費		式	1			
	計						
	(注) D : 日当り施工量						

とりまとめ工種（最終整備）
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現 行				改 正				摘 要
P. 39 (2・④・5)	(6) 機械運転単価表				(6) 機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量→1.55	
	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→165 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→165 機械損料数量→1.55	
	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→122 機械損料数量→1.64	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→122 機械損料数量→1.64	
	タイヤローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.36	タイヤローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 賃料数量→1.36	
	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→1.55	
	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→181 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→181 機械損料数量→1.55	
	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.64	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.64	
	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→1.56	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→1.56	
	振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.60	振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.60	
	振動ローラ (締固め)	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.4 賃料数量→1.44	振動ローラ (締固め)	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.4 賃料数量→1.44	

とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P40	<p>⑤小規模土工</p> <p>1. 適用範囲及び施工概要</p> <p>1-1 適用範囲</p> <p>本資料は、バックホウを用いて行う下記のいずれかに該当する小規模な土工に適用する。ただし、共同溝工、電線共同溝工、情報ボックス工（ダンプトラック運搬を除く）及び光ケーブル配管工（ダンプトラック運搬を除く）には適用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1箇所当りの施工土量が100m³程度までの掘削、積込み及びそれらに伴う運搬作業 ・ 1箇所当りの施工土量が100m³程度まで、又は平均施工幅1m未満の床掘り及びそれに伴う埋戻し、舗装版破碎筋込（舗装厚5cm以内）、運搬作業 <p>また、適用土質は、土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）とする。</p> <p>なお、「1箇所当り」とは目的物（構造物・掘削等）1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。</p> <div data-bbox="403 590 918 957"> </div> <p>図1-1 床掘作業の適用範囲</p> <p>1-2 施工概要（フロー）</p> <div data-bbox="336 1037 963 1436"> </div> <p>(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現行どおり</p>	

とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																								
標準歩掛 P 4 1	<p>2. 機種を選定 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2. 1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="215 312 1066 798"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>作業の内容</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">掘削積込 積込み</td> <td>標 準</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装版破砕積込</td> <td>—</td> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床掘り</td> <td>—</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋戻し</td> <td rowspan="2">—</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td>はねつけ</td> </tr> <tr> <td>タンパ</td> <td>60～80kg</td> <td>締固め</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運 搬</td> <td rowspan="2">—</td> <td>ダンプトラック</td> <td>4t積</td> <td>バックホウ山積0.28㎡ （平積0.2㎡）の場合</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2t積</td> <td>” 山積0.13㎡ （平積0.1㎡）の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) なお、上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50㎡以下の箇所とする。</p>	作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要	掘削積込 積込み	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）		上記以外	小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）		舗装版破砕積込	—	小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）		床掘り	—	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）		埋戻し	—	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	はねつけ	タンパ	60～80kg	締固め	運 搬	—	ダンプトラック	4t積	バックホウ山積0.28㎡ （平積0.2㎡）の場合	ダンプトラック	2t積	” 山積0.13㎡ （平積0.1㎡）の場合	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要																																							
掘削積込 積込み	標 準	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）																																								
	上記以外	小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）																																								
舗装版破砕積込	—	小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）																																								
床掘り	—	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）																																								
埋戻し	—	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	はねつけ																																							
		タンパ	60～80kg	締固め																																							
運 搬	—	ダンプトラック	4t積	バックホウ山積0.28㎡ （平積0.2㎡）の場合																																							
		ダンプトラック	2t積	” 山積0.13㎡ （平積0.1㎡）の場合																																							
	<p>3. 掘削積込作業及び積込作業 3-1 日当り施工量 バックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="271 1050 1072 1209"> <thead> <tr> <th>作業の内容</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>地山の掘削積込</th> <th>ルーズな状態の積込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標 準</td> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td>㎡</td> <td>38</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）</td> <td>”</td> <td>16</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 舗装版破砕積込作業 4-1 日当り施工量 舗装版破砕積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4. 1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="259 1362 956 1442"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）</td> <td>㎡</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	作業の内容	名 称	規 格	単 位	地山の掘削積込	ルーズな状態の積込み	標 準	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）	㎡	38	44	上記以外	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）	”	16	23	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）	㎡	26	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>															
作業の内容	名 称	規 格	単 位	地山の掘削積込	ルーズな状態の積込み																																						
標 準	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28㎡（平積0.2㎡）	㎡	38	44																																						
上記以外	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）	”	16	23																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																								
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13㎡（平積0.1㎡）	㎡	26																																								

とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																										
標準歩掛 P41	<p>5. 床掘作業</p> <p>5-1 日当り施工量 バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="253 363 974 470"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>m³</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	m ³	35	<p>現行どおり</p>																			
名 称	規 格	単 位	数 量																										
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	m ³	35																										
標準歩掛 P42	<p>5-2 補助労務 床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 床掘補助労務 (10 m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 595 990 651"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>基面整正及びひ浮き石除去含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 埋戻作業</p> <p>6-1 適用範囲 機械による埋戻し（敷均し含む）及び締固めの一連作業に適用する。</p> <p>6-2 日当り施工量 バックホウによる埋戻作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 855 990 991"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>m³</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>タンパ運転</td> <td>60～80 kg</td> <td>＃</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれる。</p> <p>6-3 補助労務 埋戻作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 埋戻作業補助労務 (10 m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 1141 990 1197"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>敷均し及びタンパ締固め補助</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれる。</p>	名 称	単 位	数 量	摘 要	普通作業員	人	0.3	基面整正及びひ浮き石除去含む	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	m ³	41	タンパ運転	60～80 kg	＃	37	名 称	単 位	数 量	摘 要	普通作業員	人	0.7	敷均し及びタンパ締固め補助
名 称	単 位	数 量	摘 要																										
普通作業員	人	0.3	基面整正及びひ浮き石除去含む																										
名 称	規 格	単 位	数 量																										
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	m ³	41																										
タンパ運転	60～80 kg	＃	37																										
名 称	単 位	数 量	摘 要																										
普通作業員	人	0.7	敷均し及びタンパ締固め補助																										

とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																								
標準歩掛 P 4 2	<p>7. 運搬作業 7-1 施工歩掛 運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 7. 1 ダンプトラック運搬日数（土砂） (10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="14">バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.28 m³（平積0.2 m）</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="14">バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型・後方傾斜型1積0.28 m³（平積0.2 m）</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">DID区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離（km）</td> <td>02</td><td>10</td><td>15</td><td>25</td><td>35</td><td>40</td><td>50</td><td>60</td><td>75</td><td>100</td><td>130</td><td>150</td><td>350</td><td>000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td> </tr> <tr> <td>運搬日数（日）</td> <td>02</td><td>025</td><td>03</td><td>035</td><td>04</td><td>045</td><td>05</td><td>055</td><td>06</td><td>08</td><td>09</td><td>11</td><td>15</td><td>23</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">DID区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離（km）</td> <td>02</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>30</td><td>35</td><td>45</td><td>55</td><td>70</td><td>90</td><td>120</td><td>170</td><td>270</td><td>000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td> </tr> <tr> <td>運搬日数（日）</td> <td>02</td><td>025</td><td>03</td><td>035</td><td>04</td><td>045</td><td>05</td><td>055</td><td>06</td><td>08</td><td>09</td><td>11</td><td>15</td><td>23</td> </tr> </table>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.28 m ³ （平積0.2 m）														運搬機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型・後方傾斜型1積0.28 m ³ （平積0.2 m）														DID区間：無し															運搬距離（km）	02	10	15	25	35	40	50	60	75	100	130	150	350	000		以F	運搬日数（日）	02	025	03	035	04	045	05	055	06	08	09	11	15	23	DID区間：有り															運搬距離（km）	02	10	15	20	30	35	45	55	70	90	120	170	270	000		以F	運搬日数（日）	02	025	03	035	04	045	05	055	06	08	09	11	15	23	<p>現行どおり</p>																													
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.28 m ³ （平積0.2 m）																																																																																																																																																										
運搬機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型・後方傾斜型1積0.28 m ³ （平積0.2 m）																																																																																																																																																										
DID区間：無し																																																																																																																																																											
運搬距離（km）	02	10	15	25	35	40	50	60	75	100	130	150	350	000																																																																																																																																													
	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F																																																																																																																																													
運搬日数（日）	02	025	03	035	04	045	05	055	06	08	09	11	15	23																																																																																																																																													
DID区間：有り																																																																																																																																																											
運搬距離（km）	02	10	15	20	30	35	45	55	70	90	120	170	270	000																																																																																																																																													
	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F																																																																																																																																													
運搬日数（日）	02	025	03	035	04	045	05	055	06	08	09	11	15	23																																																																																																																																													
標準歩掛 P 4 3	<p style="text-align: center;">表 7. 2 ダンプトラック運搬日数（土砂） (10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="14">バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.13 m³（平積0.1 m）</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="14">ダンプトラック 2 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">DID区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離（km）</td> <td>03</td><td>10</td><td>15</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>45</td><td>55</td><td>70</td><td>90</td><td>120</td><td>170</td><td>285</td><td>000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td> </tr> <tr> <td>運搬日数（日）</td> <td>045</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td><td>08</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>13</td><td>15</td><td>18</td><td>23</td><td>30</td><td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">DID区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離（km）</td> <td>03</td><td>10</td><td>15</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>45</td><td>50</td><td>65</td><td>80</td><td>110</td><td>150</td><td>240</td><td>000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td><td>以F</td> </tr> <tr> <td>運搬日数（日）</td> <td>045</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td><td>08</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>13</td><td>15</td><td>18</td><td>23</td><td>30</td><td>45</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は地山10 m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途計上する。 4. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5. 運搬距離が60 kmを超える場合は、別途計上する。</p> <p>7-2 補正係数 (K) 舗装版破砕砕込作業歩掛に対する適用土質（アスファルト塊）による補正は、次式により行うものとし、補正係数 (K) の値は次表とする。 10 m³当り運搬日数＝土砂の10 m³当り運搬日数× (1+K)</p> <p style="text-align: center;">表 7. 3 補正係数 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td style="text-align: center;">+0.30</td> </tr> </table>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.13 m ³ （平積0.1 m）														運搬機種・規格	ダンプトラック 2 t積														DID区間：無し															運搬距離（km）	03	10	15	25	30	35	45	55	70	90	120	170	285	000		以F	運搬日数（日）	045	05	06	07	08	09	10	11	13	15	18	23	30	45	DID区間：有り															運搬距離（km）	03	10	15	25	30	35	45	50	65	80	110	150	240	000		以F	運搬日数（日）	045	05	06	07	08	09	10	11	13	15	18	23	30	45	補 正 係 数	+0.30																												
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準型）・クローラ型1積0.13 m ³ （平積0.1 m）																																																																																																																																																										
運搬機種・規格	ダンプトラック 2 t積																																																																																																																																																										
DID区間：無し																																																																																																																																																											
運搬距離（km）	03	10	15	25	30	35	45	55	70	90	120	170	285	000																																																																																																																																													
	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F																																																																																																																																													
運搬日数（日）	045	05	06	07	08	09	10	11	13	15	18	23	30	45																																																																																																																																													
DID区間：有り																																																																																																																																																											
運搬距離（km）	03	10	15	25	30	35	45	50	65	80	110	150	240	000																																																																																																																																													
	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F	以F																																																																																																																																													
運搬日数（日）	045	05	06	07	08	09	10	11	13	15	18	23	30	45																																																																																																																																													
補 正 係 数	+0.30																																																																																																																																																										

とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																													
標準歩掛 P 4 3	<p>8. 単価表 (1) バックホウ掘削積込10 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m³（平積0.2 m³） 又は山積0.13 m³（平積0.1 m³）</td> <td>日</td> <td>1 0 / D</td> <td>表3. 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(2) バックホウ積込10 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m³（平積0.2 m³） 又は山積0.13 m³（平積0.1 m³）</td> <td>日</td> <td>1 0 / D</td> <td>表3. 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ） 又は山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表3. 1	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ） 又は山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表3. 1	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ） 又は山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表3. 1																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ） 又は山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表3. 1																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																
標準歩掛 P 4 4	<p>(3) バックホウ舗装版破碎積込10 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13 m³（平積0.1 m³）</td> <td>日</td> <td>1 0 / D</td> <td>表4. 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(4) バックホウ床掘10 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5. 2</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>日</td> <td>1 0 / D</td> <td>表5. 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表4. 1	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表5. 2	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	日	1 0 / D	表5. 1	諸 雑 費		式	1		計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	日	1 0 / D	表4. 1																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
普通作業員		人		表5. 2																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	日	1 0 / D	表5. 1																																												
諸 雑 費		式	1																																													
計																																																

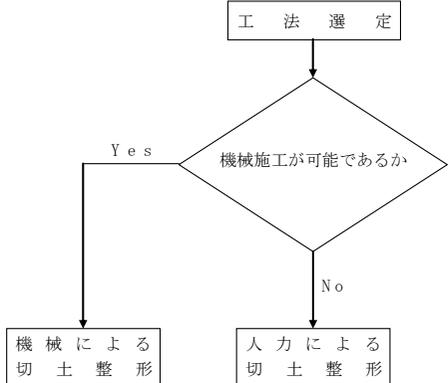
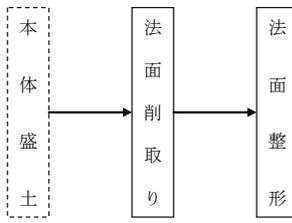
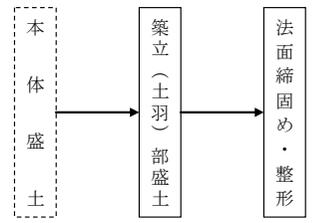
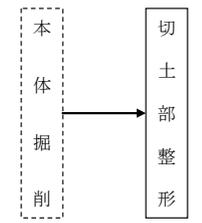
とりまとめ工種（最終整備）
小規模土工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																								
標準歩掛 P44	<p>(5) バックホウ埋戻し10 m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="217 287 1046 499"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>タンパ運転</td> <td>60～80 kg</td> <td>〃</td> <td>10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(6) ダンプトラック運搬10 m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="217 603 1046 710"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>4 t積又は2 t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1～表7.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.2	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	日	10/D	表6.1	タンパ運転	60～80 kg	〃	10/D	〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	4 t積又は2 t積	日		表7.1～表7.3	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																							
普通作業員		人		表6.2																																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	日	10/D	表6.1																																																							
タンパ運転	60～80 kg	〃	10/D	〃																																																							
諸 雑 費		式	1																																																								
計																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																							
ダンプトラック運転	4 t積又は2 t積	日		表7.1～表7.3																																																							
諸 雑 費		式	1																																																								
計																																																											
標準歩掛 P45	<p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="217 790 1086 1305"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m³（平積0.1 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td>4 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ</td> <td>60～80 kg</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→5 機械損料数量→1.61 主燃料→ガソリン</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52	〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39	〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52	ダ ン プ ト ラ ッ ク	4 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16	〃	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17	タ ン パ	60～80 kg	機-23	燃料消費量→5 機械損料数量→1.61 主燃料→ガソリン	<p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1117 796 1986 1342"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m³（平積0.1 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m³（平積0.2 m³）</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td>4 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ</td> <td>60～80 kg</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→5 賃料数量→1.61 主燃料→ガソリン</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52	〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39	〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52	ダ ン プ ト ラ ッ ク	4 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16	〃	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17	タ ン パ	60～80 kg	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5 賃料数量→1.61 主燃料→ガソリン	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																								
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52																																																								
〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39																																																								
〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52																																																								
ダ ン プ ト ラ ッ ク	4 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16																																																								
〃	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17																																																								
タ ン パ	60～80 kg	機-23	燃料消費量→5 機械損料数量→1.61 主燃料→ガソリン																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																								
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52																																																								
〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.13 m ³ （平積0.1 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械損料数量→1.39																																																								
〃	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 後方超小旋回型 山積0.28 m ³ （平積0.2 m ³ ）	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.52																																																								
ダ ン プ ト ラ ッ ク	4 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.16																																																								
〃	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→25 機械損料数量→1.17																																																								
タ ン パ	60～80 kg	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5 賃料数量→1.61 主燃料→ガソリン																																																								

とりまとめ工種（最終整備）
法面整形工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P53	<p>①法面工</p> <p>1. 法面整形工</p> <p>1-1 適用範囲 本資料は、盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。</p> <p>1-2 施工概要</p> <p>1-2-1 盛土法面整形工 法面表層部を締固め整形することを盛土法面整形工という。</p> <p>1-2-2 切土法面整形工 法面表層部を削取りながら整形することを切土法面整形工という。</p> <p>1-3 施工フロー <盛土法面整形工></p> <pre> graph TD A[工 法 選 定] --> B{土羽築立と法面保護工 (筋芝、植生筋) を同時施工するか} B -- Yes --> D[植 生 筋 工 筋 芝 工] B -- No --> C{築立(土羽)部が 本体と同一材料 (土)であるか} C -- Yes --> E[機 械 による 削 取 り 整 形] C -- No --> F{機 械 施 工 が 可 能 だ る か} F -- Yes --> G[機 械 による 築立(土羽)整形] F -- No --> H[人 力 による 築立(土羽)整形] </pre> <p>(注) 機械による整形を標準とするが、現場条件等により機械施工が困難な場合は、人力による整形とする。</p> <p>図 1-1 盛土法面整形工工法選定フロー図</p>	<p>現行どおり</p>	

とりまとめ工種（最終整備）
法面整形工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P54	<p data-bbox="224 215 403 239"><切土法面整形工></p>  <p data-bbox="268 638 1075 662">(注) 機械による整形を標準とするが、現場条件等により機械施工が困難な場合は、人力による整形とする。</p> <p data-bbox="470 686 828 710">図1-2 切土法面整形工法選定フロー図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 750 560 1005"> <p>機械による削取り整形</p>  </div> <div data-bbox="694 750 1008 1005"> <p>機械又は人力による築立（土羽）整形</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>機械又は人力による切土整形</p>  </div> <p data-bbox="268 1356 694 1380">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p data-bbox="1164 813 1276 845">現行どおり</p>	

とりまとめ工種（最終整備）
法面整形工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																					
標準歩掛 P55	<p>1-4 施工歩掛 1-4-1 盛土法面整形 (1) 機械による削取り整形 本歩掛は、築立（土羽）部を本体と同一材料（土）で同時に施工し、機械で法面部を削取りながら整形する場合に適用する。</p> <p>表1.1 機械による削取り整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="353 373 949 619"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(法面バケット付)損料は、バックホウ(クローラ型)損料と同額とする。 2. 本歩掛には、残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。</p> <p>(2) 機械による築立（土羽）整形 本歩掛は、土羽土部分の敷均し・締固め及び整形を機械で行う場合に適用する。</p> <p>表1.2 機械による築立（土羽）整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="353 801 949 1056"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、土羽土の搬入等は含まない。 2. 本歩掛には、土羽土の現場内小運搬(20m程度)及び残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. バックホウ(法面バケット付)損料は、バックホウ(クローラ型)損料と同額とする。</p> <p>(3) 人力による築立（土羽）整形 本歩掛は、土羽土部分の敷均し・締固め及び整形を人力で行う場合に適用する。</p> <p>表1.3 人力による築立（土羽）整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="353 1264 949 1433"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>土 質</th> </tr> <tr> <th>砂及び砂質土 粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>タンパ運転</td> <td>60~80kg</td> <td>日</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、土羽土の搬入等は含まない。 2. 本歩掛には、土羽土の現場内小運搬(20m程度)及び残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。</p>	名 称	規 格	単 位	土 質	レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	世 話 役		人	0.2	普通作業員		〃	0.6	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.6	名 称	規 格	単 位	土 質	レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	世 話 役		人	0.4	普通作業員		〃	0.9	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0	名 称	規 格	単 位	土 質	砂及び砂質土 粘性土	世 話 役		人	0.8	普通作業員		〃	4.3	タンパ運転	60~80kg	日	0.8	<p>1-4 施工歩掛 1-4-1 盛土法面整形 (1) 機械による削取り整形 本歩掛は、築立（土羽）部を本体と同一材料（土）で同時に施工し、機械で法面部を削取りながら整形する場合に適用する。</p> <p>表1.1 機械による削取り整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1249 373 1845 619"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(法面バケット付)損料は、バックホウ(クローラ型)損料と同額とする。 2. 本歩掛には、残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。</p> <p>(2) 機械による築立（土羽）整形 本歩掛は、土羽土部分の敷均し・締固め及び整形を機械で行う場合に適用する。</p> <p>表1.2 機械による築立（土羽）整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1249 801 1845 1056"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、土羽土の搬入等は含まない。 2. 本歩掛には、土羽土の現場内小運搬(20m程度)及び残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. バックホウ(法面バケット付)損料は、バックホウ(クローラ型)損料と同額とする。</p>	名 称	規 格	単 位	土 質	レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	世 話 役		人	0.2	普通作業員		〃	0.6	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.6	名 称	規 格	単 位	土 質	レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	世 話 役		人	0.4	普通作業員		〃	0.9	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格				単 位	土 質																																																																																		
		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土																																																																																						
世 話 役		人	0.2																																																																																					
普通作業員		〃	0.6																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.6																																																																																					
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																					
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土																																																																																					
世 話 役		人	0.4																																																																																					
普通作業員		〃	0.9																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0																																																																																					
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																					
			砂及び砂質土 粘性土																																																																																					
世 話 役		人	0.8																																																																																					
普通作業員		〃	4.3																																																																																					
タンパ運転	60~80kg	日	0.8																																																																																					
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																					
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土																																																																																					
世 話 役		人	0.2																																																																																					
普通作業員		〃	0.6																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.6																																																																																					
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																					
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土																																																																																					
世 話 役		人	0.4																																																																																					
普通作業員		〃	0.9																																																																																					
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0																																																																																					

とりまとめ工種（最終整備）
法面整形工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																			
標準歩掛 P56	<p>1-4-2 切土法面整形 (1) 機械による切土整形 本歩掛は、機械による切土整形に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.4 機械による切土整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="264 331 1037 600"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> <th>軟岩 (I)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m³ (平積0.6m²)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、残土の積み込み、運搬、並びに法面保護は含まない。 2. 片切掘削(人力併用機械掘削)の領域については、全面積に適用する。 3. 一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に行う整形作業(二次整形)を必要とする場合は、人力施工とする。</p> <p>(2) 人力による切土整形 本歩掛は、人力による切土整形に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.5 人力による切土整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="280 818 1021 1054"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> <th>軟岩 I・II 中硬岩 硬岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.9</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、残土の積み込み、運搬並びに法面保護は含まない。 2. 諸雑費は空気圧縮機賃料、ピックハンマ賃料、ノミの損耗費の費用であり労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に行う整形作業(二次整形)にも適用する。</p> <p>1-5 単 価 表 (1) 機械による(削取り又は築立(土羽)及び切土)整形100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="264 1249 1037 1497"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.1, 表1.2, 表1.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m³ (平積0.6m²)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	土 質		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)	世 話 役		人	0.6	0.8	普 通 作 業 員		〃	1.4	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h	4.0	5.0	名 称	規 格	単 位	土 質		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 I・II 中硬岩 硬岩	世 話 役		人	0.7	1.9	特 殊 作 業 員		〃	—	5.1	普 通 作 業 員		〃	5.9	6.5	諸 雑 費 率		%	—	9.0	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.4	普 通 作 業 員		〃		〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>1-4-2 切土法面整形 (1) 機械による切土整形 本歩掛は、機械による切土整形に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.4 機械による切土整形歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1160 331 1933 600"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">土 質</th> </tr> <tr> <th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th> <th>軟岩 (I)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m³ (平積0.6m²)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、残土の積み込み、運搬、並びに法面保護は含まない。 2. 片切掘削(人力併用機械掘削)の領域については、全面積に適用する。 3. 一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に行う整形作業(二次整形)を必要とする場合は、人力施工とする。</p> <p>1-5 単 価 表 (1) 機械による(削取り又は築立(土羽)及び切土)整形100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1160 1249 1933 1497"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.1, 表1.2, 表1.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m³ (平積0.6m²)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	土 質		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)	世 話 役		人	0.6	0.8	普 通 作 業 員		〃	1.4	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h	4.0	5.0	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.4	普 通 作 業 員		〃		〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格				単 位	土 質																																																																																																																																
		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)																																																																																																																																			
世 話 役		人	0.6	0.8																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	1.4	2.0																																																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h	4.0	5.0																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																																																																			
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 I・II 中硬岩 硬岩																																																																																																																																		
世 話 役		人	0.7	1.9																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	—	5.1																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	5.9	6.5																																																																																																																																		
諸 雑 費 率		%	—	9.0																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																		
世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.4																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h		〃																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																			
計																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																																																																			
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)																																																																																																																																		
世 話 役		人	0.6	0.8																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	1.4	2.0																																																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h	4.0	5.0																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																		
世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.4																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 (法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ²)	h		〃																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																			
計																																																																																																																																						

とりまとめ工種（最終整備）
法面整形工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																				
標準歩掛 P57	<p>(2) 人力による築立（土羽）整形100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 288 1021 483"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ 運 転</td> <td>60～80kg</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人力による切土整形100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 533 1021 727"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="271 777 1028 984"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ</td> <td>60～80kg</td> <td>機-8</td> <td>主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表1.3	普 通 作 業 員		〃		〃	タ ン パ 運 転	60～80kg	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表1.5	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	機-1	運転労務数量→0.17	タ ン パ	60～80kg	機-8	主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1169 783 1924 991"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（<u>第2次基準値</u>）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ</td> <td>60～80kg</td> <td>機-8</td> <td>主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	機-1	運転労務数量→0.17	タ ン パ	60～80kg	機-8	主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
世 話 役		人		表1.3																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																			
タ ン パ 運 転	60～80kg	日		〃																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																				
計																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
世 話 役		人		表1.5																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																			
計																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																				
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	機-1	運転労務数量→0.17																																																																																				
タ ン パ	60～80kg	機-8	主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日																																																																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																				
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）クローラ型（法面バケット付） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	機-1	運転労務数量→0.17																																																																																				
タ ン パ	60～80kg	機-8	主燃焼→ガソリン 運転時間→5h/日																																																																																				

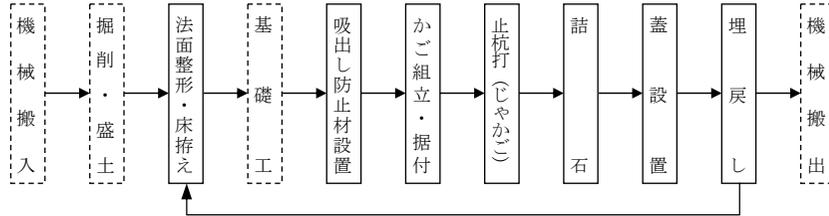
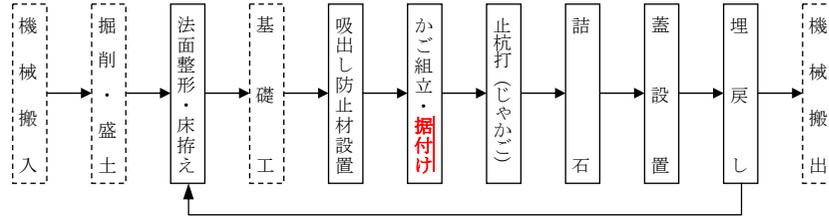
土木工事標準歩掛の一部見直し
擁壁工（１）（構造物単位）

現行基準 のページ	現 行										改 正										摘 要				
標準歩掛 P78	3-1-2 擁壁工歩掛 擁壁工歩掛は次表のとおりとする。										3-1-2 擁壁工歩掛 擁壁工歩掛は次表のとおりとする。														
	表3.2 擁 壁 工 歩 掛 (コンクリート10m ³ 当り)										表3.2 擁 壁 工 歩 掛 (コンクリート10m ³ 当り)														
	擁壁種類		小型擁壁(A)		小型擁壁(B)		重力式擁壁			もたれ式擁壁	逆T型擁壁	L型擁壁	擁壁種類		小型擁壁(A)		小型擁壁(B)		重力式擁壁			もたれ式擁壁	逆T型擁壁	L型擁壁	
	擁壁平均高さ		0.5mから		1mを超え		2mを超え			3mから	3mから	3mから	擁壁平均高さ		0.5mから		1mを超え		2mを超え			3mから	3mから	3mから	
	規 格	単 位	1.0mまで		2m未満		5mまで			8mまで	10mまで	7mまで	規 格	単 位	1.0mまで		2m未満		5mまで			8mまで	10mまで	7mまで	
	世 話 役	人	2.3	2.2	1.0	0.9 (0.7)	0.7 (0.6)	0.9 (0.7)				2.3	2.2	1.0	0.9 (0.7)	0.7 (0.6)	0.9 (0.7)								
	特 殊 作 業 員	〃	0.7	1.0	0.2	0.2 (0.2)	0.2 (0.2)	0.2 (0.2)				〃	0.7	1.0	0.2	0.2 (0.2)	0.2 (0.2)								
	普 通 作 業 員	〃	8.1	8.9	5.3	4.0 (3.3)	3.4 (2.8)	4.0 (3.5)				〃	8.1	8.9	5.3	4.0 (3.3)	3.4 (2.8)								
	型 枠 工	〃	4.1	4.1	2.9	1.8 (1.8)	1.4 (1.4)	1.9 (1.9)				〃	4.1	4.1	2.9	1.8 (1.8)	1.4 (1.4)								
	と び 工	〃	-	-	-	0.5 (-)	0.4 (-)	0.6 (-)				〃	-	-	-	0.5 (-)	0.4 (-)								
	コ ン ク リ ー ト	m ³	10.6	10.6	10.4	10.4 (10.4)	10.4 (10.4)	10.2 (10.2)				m ³	10.6	10.6	10.4	10.4 (10.4)	10.4 (10.4)								
	コンクリートポン プ車運転	ブーム式 90~110m ³ /h 日	-	-	0.12	0.12 (0.12)	0.12 (0.12)	0.12 (0.12)				ブーム式 90~110m ³ /h 日	-	-	0.12	0.12 (0.12)	0.12 (0.12)								
	トラッククレーン又は クローラクレーン運転	〃	-	0.56	-	-	-	-				〃	-	0.56	-	-	-								
	基礎砕石	%	14.8	12.7	11.2	7.9 (9.6)	4.4 (5.2)	7.1 (8.5)				%	14.8	12.7	11.2	7.9 (9.6)	4.4 (5.2)								
	均しコンクリ ー	〃	10.7	9.1	14.8	7.2 (8.8)	4.9 (5.8)	7.8 (9.3)				〃	10.7	9.1	14.8	7.2 (8.8)	4.9 (5.8)								
	目 地 材	〃	0.9	0.8	1.4	1.7 (2.1)	2.0 (2.4)	1.7 (2.0)				〃	0.9	0.8	1.4	1.7 (2.1)	2.0 (2.4)								
	水 抜 パ イ プ	〃	0.8	0.7	1.2	1.5 (1.9)	1.9 (2.2)	1.5 (1.8)				〃	0.8	0.7	1.2	1.5 (1.9)	1.9 (2.2)								
	吸出し防止材	〃	0.4	0.3	0.6	0.8 (0.9)	0.9 (1.1)	0.8 (0.9)				〃	0.4	0.3	0.6	0.8 (0.9)	0.9 (1.1)								
	諸 雑 費 率	〃	12.8	11.0	20.8	26.6 (18.1)	23.9 (17.6)	32.1 (18.8)				〃	12.8	11.0	20.8	27.5 (18.1)	25.1 (17.6)								
	小型擁壁(A)：コンクリートを人力で打設（打設地上高さH≦2m） 小型擁壁(B)：コンクリートをクレーン車で打設（打設地上高さ2m<H≦28m、水平打設距離L≦20m、 なお、クローラクレーン適用の場合は作業範囲を別途考慮する）										小型擁壁(A)：コンクリートを人力で打設（打設地上高さH≦2m） 小型擁壁(B)：コンクリートをクレーン車で打設（打設地上高さ2m<H≦28m、水平打設距離L≦20m、 なお、クローラクレーン適用の場合は作業範囲を別途考慮する）														

土木工事標準歩掛の一部見直し
アンカー工（ロータリーパーカッション式）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																
標準歩掛 P168	<p>3-6 足場工</p> <p>(1) 歩掛の適用範囲</p> <p>足場工は、スキッド型のボーリングマシン据付の架台となる足場材の設置及び撤去作業であり、クローラ型を選定する場合は適用しない。</p> <p>(2) 施工歩掛</p> <p>設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>#</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、パイプ、クランプ、足場板、ベース等足場材の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 作業面の足場幅は、4.5mを標準とする。 3. ラフテレーンクレーンの規格は、現場条件により標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した規格を選定することが出来る。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世話役		人	2.1	とび工		#	6.2	普通作業員		#	3.9	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	諸雑费率		%	20	<p>3-6 足場工</p> <p>(1) 歩掛の適用範囲</p> <p>足場工は、スキッド型のボーリングマシン据付の架台となる足場材の設置及び撤去作業であり、クローラ型を選定する場合は適用しない。</p> <p>(2) 施工歩掛</p> <p>設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>#</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、パイプ、クランプ、足場板、ベース等足場材の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 作業面の足場幅は、4.5mを標準とする。 3. ラフテレーンクレーンの規格は、現場条件により標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した規格を選定することが出来る。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世話役		人	2.1	とび工		#	6.2	普通作業員		#	3.9	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	諸雑费率		%	21	
名 称	規 格	単 位	数 量																																																
世話役		人	2.1																																																
とび工		#	6.2																																																
普通作業員		#	3.9																																																
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4																																																
諸雑费率		%	20																																																
名 称	規 格	単 位	数 量																																																
世話役		人	2.1																																																
とび工		#	6.2																																																
普通作業員		#	3.9																																																
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4																																																
諸雑费率		%	21																																																

一部改正工種
かご工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																								
<p>標準歩掛 P171</p>	<p>3章 共通工 ⑫ かご工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設におけるかご工を除くかご工のうち、じゃかご(径45,60cm)、ふとんかご(パネル式、高さ40~60cm、幅120cm)の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。法面整形は、じゃかごのみとする。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="273 837 1064 949"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 4-1 じゃかご じゃかご施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表4.1 じゃかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="235 1109 1064 1252"> <thead> <tr> <th>かご径 (cm)</th> <th>詰石量 (m³)</th> <th>世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>1.5</td> <td>0.08</td> <td>0.24</td> <td>0.4</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>2.7</td> <td>0.14</td> <td>0.42</td> <td>0.7</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 詰石量は、式5.1によって補正済の数量である。 2. 本歩掛は、じゃかご据付のための法面整形(床拵え含む)、かご組立・据付、詰石、埋戻し及び現場内小運搬(平均運搬距離30mまで)を含む。 3. 止杭を必要とする場合は、打込み止杭1本当り普通作業員0.06人及びひ材料を別途計上する。なお、止杭は松丸太末口9cm、長さ1.5mを標準とする。 4. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず上表を適用することができる。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		かご径 (cm)	詰石量 (m ³)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	45	1.5	0.08	0.24	0.4	1.0	60	2.7	0.14	0.42	0.7	1.8	<p>3章 共通工 ⑫ かご工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設におけるかご工を除くかご工のうち、じゃかご(径45,60cm)、ふとんかご(パネル式、高さ40~60cm、幅120cm)の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。法面整形は、じゃかごのみとする。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1169 837 1960 949"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 4-1 じゃかご じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 じゃかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1131 1109 1960 1252"> <thead> <tr> <th>かご径 (cm)</th> <th>詰石量 (m³)</th> <th>世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>1.5</td> <td>0.08</td> <td>0.24</td> <td>0.4</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>2.7</td> <td>0.14</td> <td>0.42</td> <td>0.7</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 詰石量は、式5.1によって補正済の数量である。 2. 本歩掛は、じゃかご据付のための法面整形(床拵え含む)、かご組立・据付け、詰石、埋戻し及び現場内小運搬(平均運搬距離30mまで)を含む。 3. 止杭を必要とする場合は、打込み止杭1本当り普通作業員0.06人及びひ材料を別途計上する。なお、止杭は松丸太末口9cm、長さ1.5mを標準とする。 4. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		かご径 (cm)	詰石量 (m ³)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	45	1.5	0.08	0.24	0.4	1.0	60	2.7	0.14	0.42	0.7	1.8	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																								
かご径 (cm)	詰石量 (m ³)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)																																																						
45	1.5	0.08	0.24	0.4	1.0																																																						
60	2.7	0.14	0.42	0.7	1.8																																																						
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																								
かご径 (cm)	詰石量 (m ³)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)																																																						
45	1.5	0.08	0.24	0.4	1.0																																																						
60	2.7	0.14	0.42	0.7	1.8																																																						

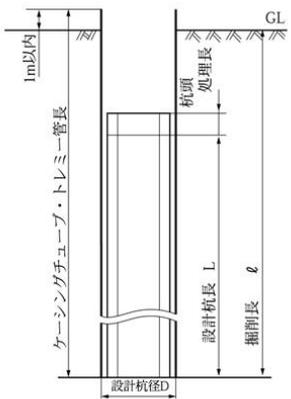
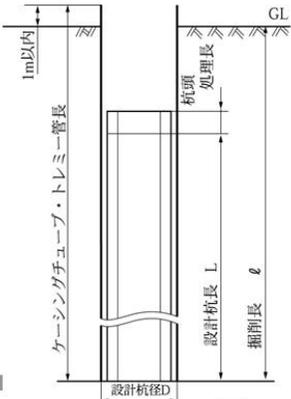
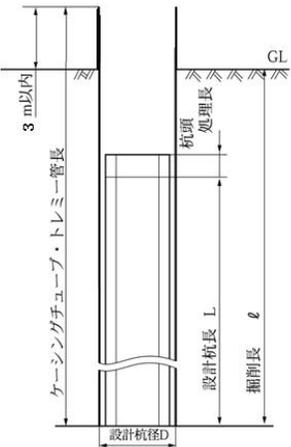
一部改正工種
かご工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																																		
標準歩掛 P172	<p>4-2 ふとんかご ふとんかご施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="235 295 1075 486"> <thead> <tr> <th></th> <th>高さ (cm)</th> <th>幅 (cm)</th> <th>詰石量 (㎡)</th> <th>世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スロープ式</td> <td>40</td> <td>120</td> <td>4.6</td> <td>0.22</td> <td>0.24</td> <td>0.82</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>120</td> <td>5.7</td> <td>0.27</td> <td>0.29</td> <td>1.0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>120</td> <td>6.8</td> <td>0.32</td> <td>0.35</td> <td>1.2</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">階 段 式</td> <td>40</td> <td>120</td> <td>4.6</td> <td>0.18</td> <td>0.25</td> <td>0.96</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>120</td> <td>5.7</td> <td>0.22</td> <td>0.32</td> <td>1.2</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>120</td> <td>6.8</td> <td>0.27</td> <td>0.38</td> <td>1.4</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 詰石量は、式5.1によって補正済の数量である。 2. 本歩掛は、ふとんかご据付のための床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付、詰石、埋戻し及び現場内小運搬(平均運搬距離30mまで)を含む。 3. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず上表を適用することができる。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。</p> <p>5. 材料使用量 材料の使用量は、次表による。 詰石材の使用量(㎡) = かご容積(㎡) × (1+K) ……式5.1 K: ロス率 吸出し防止材の使用量(㎡) = 設計数量(㎡) × (1+K) ……式5.2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.1 ロス率(K)</p> <table border="1" data-bbox="392 837 907 925"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>詰石材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>-0.05</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 単 価 表 (1) じゃかご(ふとんかご) 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="268 1013 1086 1468"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>じゃかご(ふとんかご)</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>ふとんかごはパネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>㎡</td> <td></td> <td>必要に応じて計上 式5.2</td> </tr> <tr> <td>止 杭</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		高さ (cm)	幅 (cm)	詰石量 (㎡)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	スロープ式	40	120	4.6	0.22	0.24	0.82	1.2	50	120	5.7	0.27	0.29	1.0	1.6	60	120	6.8	0.32	0.35	1.2	1.9	階 段 式	40	120	4.6	0.18	0.25	0.96	1.4	50	120	5.7	0.22	0.32	1.2	1.8	60	120	6.8	0.27	0.38	1.4	2.2	名 称	詰石材	吸出し防止材	ロス率	-0.05	+0.07	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1又は表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	じゃかご(ふとんかご)		m	10	ふとんかごはパネル式とする	詰 石		㎡		表4.1又は表4.2	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		必要に応じて計上 式5.2	止 杭		本		必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	h		表4.1又は表4.2	諸 雑 費		式	1		計					<p>4-2 ふとんかご ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1131 295 1971 486"> <thead> <tr> <th></th> <th>高さ (cm)</th> <th>幅 (cm)</th> <th>詰石量 (㎡)</th> <th>世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スロープ式</td> <td>40</td> <td>120</td> <td>4.6</td> <td>0.22</td> <td>0.24</td> <td>0.82</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>120</td> <td>5.7</td> <td>0.27</td> <td>0.29</td> <td>1.0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>120</td> <td>6.8</td> <td>0.32</td> <td>0.35</td> <td>1.2</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">階 段 式</td> <td>40</td> <td>120</td> <td>4.6</td> <td>0.18</td> <td>0.25</td> <td>0.96</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>120</td> <td>5.7</td> <td>0.22</td> <td>0.32</td> <td>1.2</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>120</td> <td>6.8</td> <td>0.27</td> <td>0.38</td> <td>1.4</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 詰石量は、式5.1によって補正済の数量である。 2. 本歩掛は、ふとんかご据付のための床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付け、詰石、埋戻し及び現場内小運搬(平均運搬距離30mまで)を含む。 3. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。</p> <p>5. 材料使用量 材料の使用量は、次表による。 詰石材の使用量(㎡) = かご容積(㎡) × (1+K) ……式5.1 K: ロス率 吸出し防止材の使用量(㎡) = 設計数量(㎡) × (1+K) ……式5.2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.1 ロス率(K)</p> <table border="1" data-bbox="1288 837 1803 925"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>詰石材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>-0.05</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 単 価 表 (1) じゃかご(ふとんかご) 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1164 1013 1982 1468"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>じゃかご(ふとんかご)</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>ふとんかごはパネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>㎡</td> <td></td> <td>必要に応じて計上 式5.2</td> </tr> <tr> <td>止 杭</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1又は表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		高さ (cm)	幅 (cm)	詰石量 (㎡)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	スロープ式	40	120	4.6	0.22	0.24	0.82	1.2	50	120	5.7	0.27	0.29	1.0	1.6	60	120	6.8	0.32	0.35	1.2	1.9	階 段 式	40	120	4.6	0.18	0.25	0.96	1.4	50	120	5.7	0.22	0.32	1.2	1.8	60	120	6.8	0.27	0.38	1.4	2.2	名 称	詰石材	吸出し防止材	ロス率	-0.05	+0.07	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1又は表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	じゃかご(ふとんかご)		m	10	ふとんかごはパネル式とする	詰 石		㎡		表4.1又は表4.2	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		必要に応じて計上 式5.2	止 杭		本		必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	h		表4.1又は表4.2	諸 雑 費		式	1		計					
	高さ (cm)	幅 (cm)	詰石量 (㎡)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)																																																																																																																																																																																																																														
スロープ式	40	120	4.6	0.22	0.24	0.82	1.2																																																																																																																																																																																																																														
	50	120	5.7	0.27	0.29	1.0	1.6																																																																																																																																																																																																																														
	60	120	6.8	0.32	0.35	1.2	1.9																																																																																																																																																																																																																														
階 段 式	40	120	4.6	0.18	0.25	0.96	1.4																																																																																																																																																																																																																														
	50	120	5.7	0.22	0.32	1.2	1.8																																																																																																																																																																																																																														
	60	120	6.8	0.27	0.38	1.4	2.2																																																																																																																																																																																																																														
名 称	詰石材	吸出し防止材																																																																																																																																																																																																																																			
ロス率	-0.05	+0.07																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																	
世 話 役		人		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																	
じゃかご(ふとんかご)		m	10	ふとんかごはパネル式とする																																																																																																																																																																																																																																	
詰 石		㎡		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		必要に応じて計上 式5.2																																																																																																																																																																																																																																	
止 杭		本		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	h		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																																					
	高さ (cm)	幅 (cm)	詰石量 (㎡)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)																																																																																																																																																																																																																														
スロープ式	40	120	4.6	0.22	0.24	0.82	1.2																																																																																																																																																																																																																														
	50	120	5.7	0.27	0.29	1.0	1.6																																																																																																																																																																																																																														
	60	120	6.8	0.32	0.35	1.2	1.9																																																																																																																																																																																																																														
階 段 式	40	120	4.6	0.18	0.25	0.96	1.4																																																																																																																																																																																																																														
	50	120	5.7	0.22	0.32	1.2	1.8																																																																																																																																																																																																																														
	60	120	6.8	0.27	0.38	1.4	2.2																																																																																																																																																																																																																														
名 称	詰石材	吸出し防止材																																																																																																																																																																																																																																			
ロス率	-0.05	+0.07																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																	
世 話 役		人		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																	
じゃかご(ふとんかご)		m	10	ふとんかごはパネル式とする																																																																																																																																																																																																																																	
詰 石		㎡		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		必要に応じて計上 式5.2																																																																																																																																																																																																																																	
止 杭		本		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	h		表4.1又は表4.2																																																																																																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																																					

一部改正工種
かご工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																	
標準歩掛 P173	<p>(2) 止杭10本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="246 287 1055 464"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>止 杭</td> <td>松丸太, L=1.5m D=90mm</td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="277 528 1081 647"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8 m³ (平積0.6 m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	0.6		止 杭	松丸太, L=1.5m D=90mm	本	10		諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	機-1		<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																
普 通 作 業 員		人	0.6																																	
止 杭	松丸太, L=1.5m D=90mm	本	10																																	
諸 雑 費		式	1																																	
計																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																	
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	機-1																																		

土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
オールケーシング工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P 2 1 4	 <p>図1-2 施工図</p>	 <p>図1-2 施工図(揺動式)</p>  <p>図1-3 施工図(全回転式)</p>	

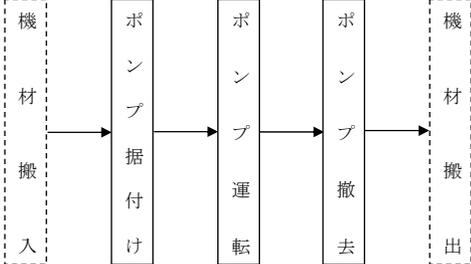
土木工事標準歩掛の一部見直し
鋼管矢板基礎工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘要																																																																																																																																										
標準歩掛 P269	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" data-bbox="212 319 1131 1268"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンマグラブ</td> <td></td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラムシエル</td> <td>油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式90～110m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭 打 用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式 排出ガス対策型 ポンプ圧力14.7MP_a(150kg/cm²) 吐出量325・/min</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋スタッド施工機械</td> <td>2,000A</td> <td>組</td> <td>1</td> <td>スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中切断機</td> <td></td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ</td> <td>60kW</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 発動発電機、トラッククレーンは賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	”	1		ハンマグラブ		個	1		クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m ³	台	1		コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	”	1		杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 ポンプ圧力14.7MP _a (150kg/cm ²) 吐出量325・/min	”	1		鉄筋スタッド施工機械	2,000A	組	1	スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊	”	1		水中切断機		”	1		バイプロハンマ	60kW	”	1		発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	”	1		排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	”	1		<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" data-bbox="1162 319 2080 1268"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンマグラブ</td> <td></td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラムシエル</td> <td>油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式90～110m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭 打 用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式 排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14.7MP_a(150kg/cm²) 吐出量325・/min</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋スタッド施工機械</td> <td>2,000A</td> <td>組</td> <td>1</td> <td>スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中切断機</td> <td></td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ</td> <td>60kW</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 発動発電機、トラッククレーンは賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	”	1		ハンマグラブ		個	1		クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m ³	台	1		コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	”	1		杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14.7MP _a (150kg/cm ²) 吐出量325・/min	”	1		鉄筋スタッド施工機械	2,000A	組	1	スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊	”	1		水中切断機		”	1		バイプロハンマ	60kW	”	1		発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	”	1		排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	”	1		
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1																																																																																																																																										
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	”	1																																																																																																																																										
ハンマグラブ		個	1																																																																																																																																										
クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m ³	台	1																																																																																																																																										
コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	”	1																																																																																																																																										
杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 ポンプ圧力14.7MP _a (150kg/cm ²) 吐出量325・/min	”	1																																																																																																																																										
鉄筋スタッド施工機械	2,000A	組	1	スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。																																																																																																																																									
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1																																																																																																																																										
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊	”	1																																																																																																																																										
水中切断機		”	1																																																																																																																																										
バイプロハンマ	60kW	”	1																																																																																																																																										
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	”	1																																																																																																																																										
	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	”	1																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直／斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1																																																																																																																																										
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	”	1																																																																																																																																										
ハンマグラブ		個	1																																																																																																																																										
クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m ³	台	1																																																																																																																																										
コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	”	1																																																																																																																																										
杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14.7MP _a (150kg/cm ²) 吐出量325・/min	”	1																																																																																																																																										
鉄筋スタッド施工機械	2,000A	組	1	スタッド溶殖機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。																																																																																																																																									
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1																																																																																																																																										
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t 吊	”	1																																																																																																																																										
水中切断機		”	1																																																																																																																																										
バイプロハンマ	60kW	”	1																																																																																																																																										
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	”	1																																																																																																																																										
	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	”	1																																																																																																																																										

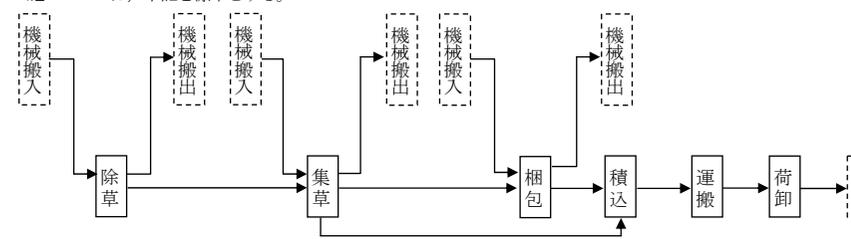
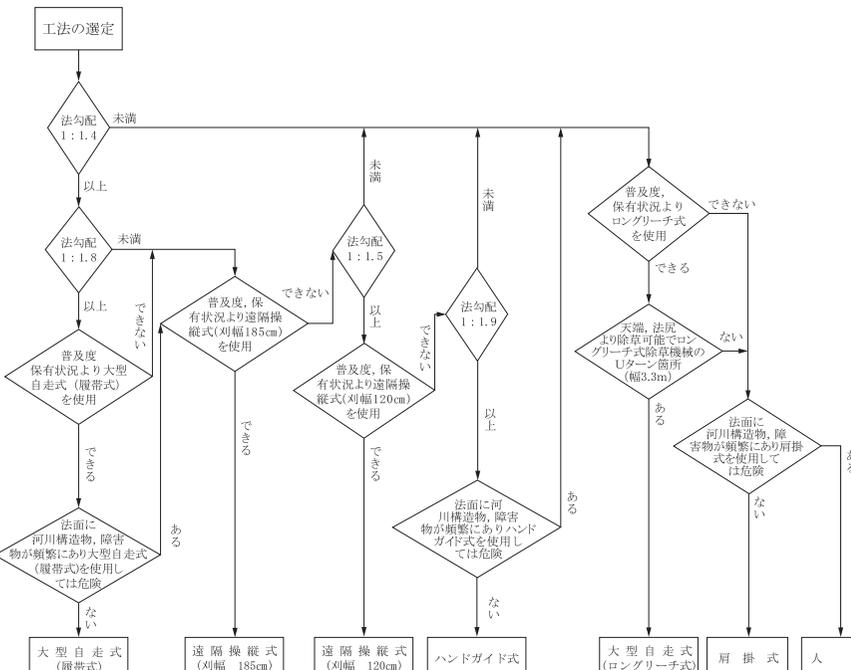
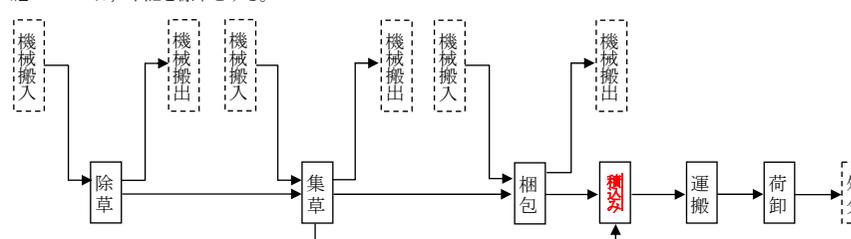
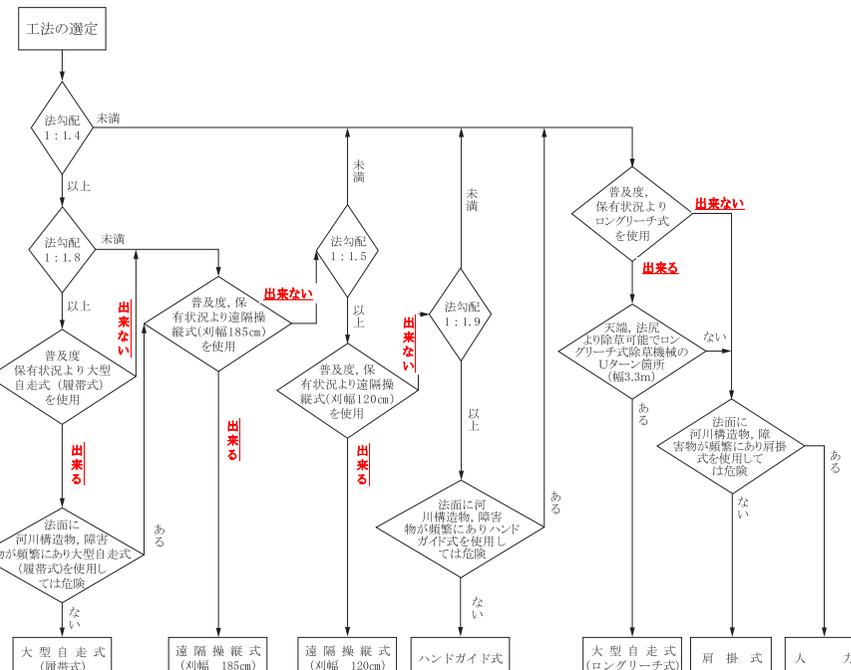
土木工事標準歩掛の一部見直し
足場工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																								
標準歩掛 P323	<p>3. 施工歩掛</p> <p>足場材の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>枠組足場</th> <th>単管足場</th> <th>単管傾斜足場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8(7.2)</td> <td>5.8(7.2)</td> <td>3.8(5.2)</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>1.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>36(33)</td> <td>21(19)</td> <td>22(20)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	枠組足場	単管足場	単管傾斜足場	世 話 役		人	1.4	1.7	1.4	と び 工		〃	5.8(7.2)	5.8(7.2)	3.8(5.2)	普 通 作 業 員		〃	1.4	1.9	2.9	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	1.2	0.7	0.7	諸 雑 費 率		%	36(33)	21(19)	22(20)	<p>3. 施工歩掛</p> <p>足場材の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>枠組足場</th> <th>単管足場</th> <th>単管傾斜足場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8(7.2)</td> <td>5.8(7.2)</td> <td>3.8(5.2)</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>1.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>36(33)</td> <td>21(19)</td> <td>22(20)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	枠組足場	単管足場	単管傾斜足場	世 話 役		人	1.4	1.7	1.4	と び 工		〃	5.8(7.2)	5.8(7.2)	3.8(5.2)	普 通 作 業 員		〃	1.4	1.9	2.9	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	1.2	0.7	0.7	諸 雑 費 率		%	36(33)	21 (19)	22 (20)	
名 称	規 格	単 位	枠組足場	単管足場	単管傾斜足場																																																																						
世 話 役		人	1.4	1.7	1.4																																																																						
と び 工		〃	5.8(7.2)	5.8(7.2)	3.8(5.2)																																																																						
普 通 作 業 員		〃	1.4	1.9	2.9																																																																						
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	1.2	0.7	0.7																																																																						
諸 雑 費 率		%	36(33)	21(19)	22(20)																																																																						
名 称	規 格	単 位	枠組足場	単管足場	単管傾斜足場																																																																						
世 話 役		人	1.4	1.7	1.4																																																																						
と び 工		〃	5.8(7.2)	5.8(7.2)	3.8(5.2)																																																																						
普 通 作 業 員		〃	1.4	1.9	2.9																																																																						
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	1.2	0.7	0.7																																																																						
諸 雑 費 率		%	36(33)	21 (19)	22 (20)																																																																						

土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
縮切排水工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
P. 326 (6・⑦・1)	<p>⑦ 縮切排水工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、仮設工のうち水門、樋門、樋管、橋台、橋脚、護岸、砂防ダムなどの水中縮切、地中縮切の排水工事で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム本体工事などの大規模工事の排水工事には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2-2 排水方法の選定 排水方法は、作業時排水又は常時排水とする。 (1) 作業時排水とは、作業前（1～3時間）から排水し始めて作業終了後には排水を中止する方法をいう。 なお、作業時排水には、コンクリート打設前後の型枠組立養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。 (2) 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。</p> <p>(以下、省略)</p>	<p>⑦ 縮切排水工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、仮設工のうち水門、樋門、樋管、橋台、橋脚、護岸、砂防えん堤などの水中縮切、地中縮切の排水工事で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム本体工事などの大規模工事の排水工事には適用しない。</p> <p>現行どおり</p>	

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
<p>標準歩掛 P399</p>	<p>8章 河川維持 ① 堤防除草工 1. 適用範囲 本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草及び集草に適用する。 芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布は含まない。</p> <p>2. 施工範囲 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 工法の選定 除草工法の選定は、図3-1による。</p>  <p>(注) 工法の選定は、現場条件及び機械の普及度、保有状況により選定する。</p> <p>図3-1 工法の選定</p>	<p>8章 河川維持 ① 堤防除草工 1. 適用範囲 本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草及び集草に適用する。 芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布は含まない。</p> <p>2. 施工範囲 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 工法の選定 除草工法の選定は、図3-1による。</p>  <p>(注) 工法の選定は、現場条件及び機械の普及度、保有状況により選定する。</p> <p>図3-1 工法の選定</p>	

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																						
標準歩掛 P400	<p>4. 機械除草 4-1 施工歩掛 機械除草の1,000㎡当り歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機械除草の歩掛 (1,000㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="219 331 1079 746"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="5">機 械 名 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <th colspan="2">大 型 自 走 式</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅185cm)</th> <th rowspan="2">ハンドガイド式 管・ヨシ等用 (刈幅150cm)</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅120cm)</th> <th rowspan="2">肩掛式 (刈幅カッタ 径255mm)</th> </tr> <tr> <th>ロングリーチ式</th> <th>履帯式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.029</td> <td>0.021</td> <td>0.029</td> <td>0.038</td> <td>0.066</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>〃</td> <td>0.095</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.095</td> <td>0.10</td> <td>0.14</td> <td>0.18</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.045</td> <td>0.036</td> <td>0.070</td> <td>0.075</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h又は日</td> <td>0.75h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> <td>1.3日</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2 (7)</td> <td>3 (8)</td> <td>8 (23)</td> <td>19</td> <td>5 (9)</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補助刈は、上表歩掛に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額を上表の率を乗じた金額を上限として計上し、無償貸付機械を使用する場合は、()内の率とする。 3. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 4. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>5. 人力除草 5-1 施工歩掛 人力除草の1,000㎡当り歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 人力除草の歩掛 (1,000㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="378 1072 922 1251"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、鎌、砥石等の費用であり、労務費の合計額を上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	機 械 名 ・ 規 格					大 型 自 走 式		遠隔操縦式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 管・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔操縦式 (刈幅120cm)	肩掛式 (刈幅カッタ 径255mm)	ロングリーチ式	履帯式	世 話 役	人	0.029	0.021	0.029	0.038	0.066	運転手(特殊)	〃	0.095	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.095	0.10	0.14	0.18	1.10	普通作業員	〃	0.045	0.036	0.070	0.075	—	運 転 時 間 又 は 日 数	h又は日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日	諸 雑 費 率	%	2 (7)	3 (8)	8 (23)	19	5 (9)	4	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.13	普 通 作 業 員	〃	3.5	諸 雑 費 率	%	5	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
名 称	単 位			機 械 名 ・ 規 格																																																																					
				大 型 自 走 式		遠隔操縦式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 管・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔操縦式 (刈幅120cm)	肩掛式 (刈幅カッタ 径255mm)																																																																
		ロングリーチ式	履帯式																																																																						
世 話 役	人	0.029	0.021	0.029	0.038	0.066																																																																			
運転手(特殊)	〃	0.095	—	—	—	—																																																																			
特殊作業員	〃	0.095	0.10	0.14	0.18	1.10																																																																			
普通作業員	〃	0.045	0.036	0.070	0.075	—																																																																			
運 転 時 間 又 は 日 数	h又は日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日																																																																			
諸 雑 費 率	%	2 (7)	3 (8)	8 (23)	19	5 (9)	4																																																																		
名 称	単 位	数 量																																																																							
世 話 役	人	0.13																																																																							
普 通 作 業 員	〃	3.5																																																																							
諸 雑 費 率	%	5																																																																							

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																
標準歩掛 P401	<p>6. 集草、梱包、積込・荷卸、運搬 6-1 施工歩掛 集草、梱包、積込・荷卸、運搬の1,000㎡当りの歩掛は、次表とする。</p> <p>表6.1 集草、梱包、積込・荷卸 (1,000㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">集 草</th> <th rowspan="3">梱包 刈草梱包 機械</th> <th colspan="3">積込・荷卸</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大型自走式 〔履帯式〕</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (集草幅180 cm)</th> <th rowspan="2">ハンド ガイド 式</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (集草幅160 cm)</th> <th rowspan="2">人力</th> <th colspan="2">ダンプトラック 2t積</th> <th rowspan="2">バックカー車 8m³</th> </tr> <tr> <th>梱包なし</th> <th>梱包あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.019</td> <td>0.019</td> <td>0.019</td> <td>—</td> <td>0.014</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.10</td> <td>0.081</td> <td>0.10</td> <td>—</td> <td>0.087</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.11</td> <td>0.073</td> <td>0.11</td> <td>0.70</td> <td>—</td> <td>0.51</td> <td>0.16</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>集草機 運転時間 又は日数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.73h</td> <td>0.11日</td> <td>0.13日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>刈草梱包機 運 転</td> <td>日</td> <td colspan="4">—</td> <td>0.13</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>4(6)</td> <td>6(18)</td> <td>4(6)</td> <td>—</td> <td>4(6)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集草・梱包・積込・荷卸は、必要な工種のみ計上する。 2. 機械集草及び梱包は、機械の普及度・現場条件により使用できる場合に行う。 3. 集草機械は大型自走式〔履帯式〕、遠隔操縦式(刈幅185cm)、遠隔操縦式(刈幅120cm)、ハンドガイド式草刈機(刈幅150cm)の各除草機械のアタッチメントでレーキ式(タイン式)を標準とする。 なお、遠隔操縦式の集草幅180cmは刈幅185cm、集草幅160cmは刈幅120cmの除草機械アタッチメントである。 4. 諸雑費は、燃料費、梱包材料の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上し、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 5. 刈草梱包機械は梱包φ50cm×70cmを標準とする。 6. 運搬機械はダンプトラックを標準とし、処分場等受入れ側の指定機械がバックカー車のみに限られる場合には、バックカー車を選定する。 7. 廃棄、処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 8. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 9. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは別途考慮する。</p>	名 称	単 位	集 草				梱包 刈草梱包 機械	積込・荷卸			大型自走式 〔履帯式〕	遠隔操縦式 (集草幅180 cm)	ハンド ガイド 式	遠隔操縦式 (集草幅160 cm)	人力	ダンプトラック 2t積		バックカー車 8m ³	梱包なし	梱包あり	世 話 役	人	0.019	0.019	0.019	—	0.014	—	—	—	特殊作業員	〃	0.10	0.081	0.10	—	0.087	—	—	—	普通作業員	〃	0.11	0.073	0.11	0.70	—	0.51	0.16	0.18	集草機 運転時間 又は日数	h又は 日	0.73h	0.11日	0.13日	—	—	—			刈草梱包機 運 転	日	—				0.13	—			諸雑費率	%	4(6)	6(18)	4(6)	—	4(6)	—			<p>6. 集草、梱包、積込・荷卸、運搬 6-1 施工歩掛 集草、梱包、積込・荷卸、運搬の1,000㎡当りの歩掛は、次表とする。</p> <p>表6.1 集草、梱包、積込・荷卸 (1,000㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">集 草</th> <th rowspan="3">梱包 刈草梱包 機械</th> <th colspan="3">積込・荷卸</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大型自走式 〔履帯式〕</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (集草幅180 cm)</th> <th rowspan="2">ハンド ガイド 式</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (集草幅160 cm)</th> <th rowspan="2">人力</th> <th colspan="2">ダンプトラック 2t積</th> <th rowspan="2">バックカー車 8m³</th> </tr> <tr> <th>梱包なし</th> <th>梱包あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.019</td> <td>0.019</td> <td>0.019</td> <td>—</td> <td>0.014</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.10</td> <td>0.081</td> <td>0.10</td> <td>—</td> <td>0.087</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.11</td> <td>0.073</td> <td>0.11</td> <td>0.70</td> <td>—</td> <td>0.51</td> <td>0.16</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>集草機 運転時間 又は日数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.73h</td> <td>0.11日</td> <td>0.13日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>刈草梱包機 運 転</td> <td>日</td> <td colspan="4">—</td> <td>0.13</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>4(6)</td> <td>6(18)</td> <td>4(6)</td> <td>—</td> <td>4(6)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集草・梱包・積込・荷卸は、必要な工種のみ計上する。 2. 機械集草及び梱包は、機械の普及度・現場条件により使用出来る場合に行う。 3. 集草機械は大型自走式〔履帯式〕、遠隔操縦式(刈幅185cm)、遠隔操縦式(刈幅120cm)、ハンドガイド式草刈機(刈幅150cm)の各除草機械のアタッチメント〔レーキ式(タイン式)〕を標準とする。 なお、遠隔操縦式の集草幅180cmは刈幅185cm、集草幅160cmは刈幅120cmの除草機械アタッチメントである。 4. 諸雑費は、燃料費、梱包材料の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上し、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 5. 刈草梱包機械は、ハンドガイド式(梱包φ50cm×70cm)を標準とする。 6. 運搬機械はダンプトラックを標準とし、処分場等受入れ側の指定機械がバックカー車のみに限られる場合には、バックカー車を選定する。 7. 廃棄、処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 8. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 9. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは別途考慮する。</p>	名 称	単 位	集 草				梱包 刈草梱包 機械	積込・荷卸			大型自走式 〔履帯式〕	遠隔操縦式 (集草幅180 cm)	ハンド ガイド 式	遠隔操縦式 (集草幅160 cm)	人力	ダンプトラック 2t積		バックカー車 8m ³	梱包なし	梱包あり	世 話 役	人	0.019	0.019	0.019	—	0.014	—	—	—	特殊作業員	〃	0.10	0.081	0.10	—	0.087	—	—	—	普通作業員	〃	0.11	0.073	0.11	0.70	—	0.51	0.16	0.18	集草機 運転時間 又は日数	h又は 日	0.73h	0.11日	0.13日	—	—	—			刈草梱包機 運 転	日	—				0.13	—			諸雑費率	%	4(6)	6(18)	4(6)	—	4(6)	—			
名 称	単 位			集 草					梱包 刈草梱包 機械	積込・荷卸																																																																																																																																																									
				大型自走式 〔履帯式〕	遠隔操縦式 (集草幅180 cm)	ハンド ガイド 式	遠隔操縦式 (集草幅160 cm)			人力	ダンプトラック 2t積		バックカー車 8m ³																																																																																																																																																						
		梱包なし	梱包あり																																																																																																																																																																
世 話 役	人	0.019	0.019	0.019	—	0.014	—	—	—																																																																																																																																																										
特殊作業員	〃	0.10	0.081	0.10	—	0.087	—	—	—																																																																																																																																																										
普通作業員	〃	0.11	0.073	0.11	0.70	—	0.51	0.16	0.18																																																																																																																																																										
集草機 運転時間 又は日数	h又は 日	0.73h	0.11日	0.13日	—	—	—																																																																																																																																																												
刈草梱包機 運 転	日	—				0.13	—																																																																																																																																																												
諸雑費率	%	4(6)	6(18)	4(6)	—	4(6)	—																																																																																																																																																												
名 称	単 位	集 草				梱包 刈草梱包 機械	積込・荷卸																																																																																																																																																												
		大型自走式 〔履帯式〕	遠隔操縦式 (集草幅180 cm)	ハンド ガイド 式	遠隔操縦式 (集草幅160 cm)		人力	ダンプトラック 2t積		バックカー車 8m ³																																																																																																																																																									
								梱包なし	梱包あり																																																																																																																																																										
世 話 役	人	0.019	0.019	0.019	—	0.014	—	—	—																																																																																																																																																										
特殊作業員	〃	0.10	0.081	0.10	—	0.087	—	—	—																																																																																																																																																										
普通作業員	〃	0.11	0.073	0.11	0.70	—	0.51	0.16	0.18																																																																																																																																																										
集草機 運転時間 又は日数	h又は 日	0.73h	0.11日	0.13日	—	—	—																																																																																																																																																												
刈草梱包機 運 転	日	—				0.13	—																																																																																																																																																												
諸雑費率	%	4(6)	6(18)	4(6)	—	4(6)	—																																																																																																																																																												

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																								
標準歩掛 P401	<p>6-2 運 搬 (1) ダンプトラックによる運搬 (梱包なし) ダンプトラック (2t積) による, 除草1,000m²当り運転時間は, 次表による。 表6.2 1,000m²当り運転時間</p> <table border="1" data-bbox="255 311 1043 730"> <tr> <td>運 搬 機 種</td> <td colspan="7">ダンプトラック 2t積</td> </tr> <tr> <td colspan="8">D I D区間:無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>1.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>4.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.5以下</td> <td>9.5以下</td> <td>11.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>13.0以下</td> <td>17.0以下</td> <td>22.0以下</td> <td>25.0以下</td> <td>32.5以下</td> <td>40.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">D I D区間:有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>1.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>4.0以下</td> <td>5.5以下</td> <td>7.0以下</td> <td>8.5以下</td> <td>10.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>12.0以下</td> <td>15.5以下</td> <td>19.0以下</td> <td>21.5以下</td> <td>26.0以下</td> <td>40.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり, 往路と復路が異なる場合は, 平均値とする。 2. D I D (人口集中地区) は, 総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 3. 自動車専用道路を利用する場合は, 別途考慮する。 4. 運搬距離が40kmを超える場合は, 別途考慮する。 5. 集積物の処分費は, 別途計上する。</p>	運 搬 機 種	ダンプトラック 2t積							D I D区間:無し								運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	6.0以下	7.5以下	9.5以下	11.0以下	運転時間(h)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	運搬距離(km)	13.0以下	17.0以下	22.0以下	25.0以下	32.5以下	40.0以下		運転時間(h)	1.3	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2		D I D区間:有り								運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	5.5以下	7.0以下	8.5以下	10.0以下	運転時間(h)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	運搬距離(km)	12.0以下	15.5以下	19.0以下	21.5以下	26.0以下	40.0以下		運転時間(h)	1.3	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2		<p>現行どおり</p>	
運 搬 機 種	ダンプトラック 2t積																																																																																										
D I D区間:無し																																																																																											
運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	6.0以下	7.5以下	9.5以下	11.0以下																																																																																				
運転時間(h)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2																																																																																				
運搬距離(km)	13.0以下	17.0以下	22.0以下	25.0以下	32.5以下	40.0以下																																																																																					
運転時間(h)	1.3	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2																																																																																					
D I D区間:有り																																																																																											
運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	5.5以下	7.0以下	8.5以下	10.0以下																																																																																				
運転時間(h)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2																																																																																				
運搬距離(km)	12.0以下	15.5以下	19.0以下	21.5以下	26.0以下	40.0以下																																																																																					
運転時間(h)	1.3	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2																																																																																					
標準歩掛 P402	<p>(2) ダンプトラックによる運搬 (梱包あり) ダンプトラック (2t積) による, 除草1,000m²当り運転時間は, 次表による。 表6.3 1,000m²当り運転時間</p> <table border="1" data-bbox="246 965 1057 1305"> <tr> <td>運 搬 機 種</td> <td colspan="7">ダンプトラック 2t積</td> </tr> <tr> <td colspan="8">D I D区間:無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>1.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>4.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.5以下</td> <td>9.5以下</td> <td>11.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.23</td> <td>0.26</td> <td>0.29</td> <td>0.33</td> <td>0.37</td> <td>0.41</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>13.0以下</td> <td>17.0以下</td> <td>22.0以下</td> <td>25.0以下</td> <td>32.5以下</td> <td>40.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.48</td> <td>0.53</td> <td>0.60</td> <td>0.65</td> <td>0.71</td> <td>0.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">D I D区間:有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>1.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>4.0以下</td> <td>5.5以下</td> <td>7.0以下</td> <td>8.5以下</td> <td>10.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.23</td> <td>0.26</td> <td>0.30</td> <td>0.34</td> <td>0.37</td> <td>0.41</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>12.0以下</td> <td>15.5以下</td> <td>19.0以下</td> <td>21.5以下</td> <td>26.0以下</td> <td>40.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.48</td> <td>0.53</td> <td>0.60</td> <td>0.65</td> <td>0.71</td> <td>0.83</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり, 往路と復路が異なる場合は, 平均値とする。 2. D I D (人口集中地区) は, 総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 3. 自動車専用道路を利用する場合は, 別途考慮する。 4. 運搬距離が40kmを超える場合は, 別途考慮する。 5. 集積物の処分費は, 別途計上する。</p>	運 搬 機 種	ダンプトラック 2t積							D I D区間:無し								運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	6.0以下	7.5以下	9.5以下	11.0以下	運転時間(h)	0.23	0.26	0.29	0.33	0.37	0.41	0.44	運搬距離(km)	13.0以下	17.0以下	22.0以下	25.0以下	32.5以下	40.0以下		運転時間(h)	0.48	0.53	0.60	0.65	0.71	0.76		D I D区間:有り								運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	5.5以下	7.0以下	8.5以下	10.0以下	運転時間(h)	0.23	0.26	0.30	0.34	0.37	0.41	0.44	運搬距離(km)	12.0以下	15.5以下	19.0以下	21.5以下	26.0以下	40.0以下		運転時間(h)	0.48	0.53	0.60	0.65	0.71	0.83			
運 搬 機 種	ダンプトラック 2t積																																																																																										
D I D区間:無し																																																																																											
運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	6.0以下	7.5以下	9.5以下	11.0以下																																																																																				
運転時間(h)	0.23	0.26	0.29	0.33	0.37	0.41	0.44																																																																																				
運搬距離(km)	13.0以下	17.0以下	22.0以下	25.0以下	32.5以下	40.0以下																																																																																					
運転時間(h)	0.48	0.53	0.60	0.65	0.71	0.76																																																																																					
D I D区間:有り																																																																																											
運搬距離(km)	1.0以下	2.5以下	4.0以下	5.5以下	7.0以下	8.5以下	10.0以下																																																																																				
運転時間(h)	0.23	0.26	0.30	0.34	0.37	0.41	0.44																																																																																				
運搬距離(km)	12.0以下	15.5以下	19.0以下	21.5以下	26.0以下	40.0以下																																																																																					
運転時間(h)	0.48	0.53	0.60	0.65	0.71	0.83																																																																																					

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																										
標準歩掛 P402	<p>(3) バックカー車による運搬 バックカー車8m³による、除草1,000m²当り運転時間は、次表による。</p> <p>表6.4 1,000m²当り運転時間</p> <table border="1" data-bbox="226 293 1070 619"> <thead> <tr> <th>運搬機種</th> <th colspan="6">バックカー車 8m³</th> </tr> <tr> <td colspan="7">D I D区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.5以下</td> <td>8.0以下</td> <td>10.0以下</td> <td>12.0以下</td> <td>14.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>16.0以下</td> <td>18.0以下</td> <td>20.5以下</td> <td>26.5以下</td> <td>35.0以下</td> <td>40.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td colspan="7">D I D区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.5以下</td> <td>9.0以下</td> <td>11.0以下</td> <td>12.5以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>14.5以下</td> <td>16.0以下</td> <td>18.0以下</td> <td>22.0以下</td> <td>27.0以下</td> <td>40.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> </thead></table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 3. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 4. 運搬距離が40kmを超える場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上する。</p>	運搬機種	バックカー車 8m ³						D I D区間：無し							運搬距離(km)	5.0以下	6.5以下	8.0以下	10.0以下	12.0以下	14.0以下	運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	運搬距離(km)	16.0以下	18.0以下	20.5以下	26.5以下	35.0以下	40.0以下	運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9	D I D区間：有り							運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.5以下	9.0以下	11.0以下	12.5以下	運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	運搬距離(km)	14.5以下	16.0以下	18.0以下	22.0以下	27.0以下	40.0以下	運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9	<p>(3) バックカー車による運搬 バックカー車8m³による、除草1,000m²当り運転時間は、次表による。</p> <p>表6.4 1,000m²当り運転時間</p> <table border="1" data-bbox="1128 293 1973 619"> <thead> <tr> <th>運搬機種</th> <th colspan="6">バックカー車 <u>回転式</u>8m³</th> </tr> <tr> <td colspan="7">D I D区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.5以下</td> <td>8.0以下</td> <td>10.0以下</td> <td>12.0以下</td> <td>14.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>16.0以下</td> <td>18.0以下</td> <td>20.5以下</td> <td>26.5以下</td> <td>35.0以下</td> <td>40.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td colspan="7">D I D区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.5以下</td> <td>9.0以下</td> <td>11.0以下</td> <td>12.5以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>14.5以下</td> <td>16.0以下</td> <td>18.0以下</td> <td>22.0以下</td> <td>27.0以下</td> <td>40.0以下</td> </tr> <tr> <td>運転時間(h)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> </thead></table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 3. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 4. 運搬距離が40kmを超える場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上する。</p>	運搬機種	バックカー車 <u>回転式</u> 8m ³						D I D区間：無し							運搬距離(km)	5.0以下	6.5以下	8.0以下	10.0以下	12.0以下	14.0以下	運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	運搬距離(km)	16.0以下	18.0以下	20.5以下	26.5以下	35.0以下	40.0以下	運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9	D I D区間：有り							運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.5以下	9.0以下	11.0以下	12.5以下	運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	運搬距離(km)	14.5以下	16.0以下	18.0以下	22.0以下	27.0以下	40.0以下	運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9	
運搬機種	バックカー車 8m ³																																																																																																																																																												
D I D区間：無し																																																																																																																																																													
運搬距離(km)	5.0以下	6.5以下	8.0以下	10.0以下	12.0以下	14.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0																																																																																																																																																							
運搬距離(km)	16.0以下	18.0以下	20.5以下	26.5以下	35.0以下	40.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9																																																																																																																																																							
D I D区間：有り																																																																																																																																																													
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.5以下	9.0以下	11.0以下	12.5以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0																																																																																																																																																							
運搬距離(km)	14.5以下	16.0以下	18.0以下	22.0以下	27.0以下	40.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9																																																																																																																																																							
運搬機種	バックカー車 <u>回転式</u> 8m ³																																																																																																																																																												
D I D区間：無し																																																																																																																																																													
運搬距離(km)	5.0以下	6.5以下	8.0以下	10.0以下	12.0以下	14.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0																																																																																																																																																							
運搬距離(km)	16.0以下	18.0以下	20.5以下	26.5以下	35.0以下	40.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9																																																																																																																																																							
D I D区間：有り																																																																																																																																																													
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.5以下	9.0以下	11.0以下	12.5以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0																																																																																																																																																							
運搬距離(km)	14.5以下	16.0以下	18.0以下	22.0以下	27.0以下	40.0以下																																																																																																																																																							
運転時間(h)	1.1	1.2	1.3	1.5	1.7	1.9																																																																																																																																																							
標準歩掛 P403	<p>7. 総合歩掛 7-1 総合歩掛 (除草、集草 (人力)、積込・荷卸) 除草から積込・荷卸 (梱包なし) までを一連の作業として行う場合の歩掛は、次表とする。</p> <p>表7.1 総合歩掛 (除草、集草 (人力)、積込・荷卸) (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="226 938 1070 1248"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">機 械 名 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <th>大型自走式 ロングリーチ式</th> <th>履帯式</th> <th>遠隔機純式 (刈幅185cm)</th> <th>ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)</th> <th>遠隔機純式 (刈幅120cm)</th> <th>肩掛式 (刈幅カット 径255mm)</th> <th>人 力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>0.029</td> <td>0.021</td> <td>0.029</td> <td>0.038</td> <td>0.066</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>〃</td> <td>0.095</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.095</td> <td>0.10</td> <td>0.14</td> <td>0.18</td> <td>1.10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>1.3 [0.93]</td> <td>1.2 [0.92]</td> <td>1.3 [0.95]</td> <td>1.3 [0.96]</td> <td>1.2 [0.88]</td> <td>4.7 [4.4]</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h 又は 日</td> <td>0.75h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> <td>1.3日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>1(2) [1(2)]</td> <td>1(1) [1(2)]</td> <td>3(4) [3(5)]</td> <td>5 [7]</td> <td>2(2) [2(3)]</td> <td>2 [2]</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補助刈は、上表に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし、無償貸付機械を使用する場合は () 内の率とする。 3. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 4. 運搬機械はダンプトラックを標準とし、処分場等受入れ側の指定機械がバックカー車のみに限られる場合には、バックカー車を選定する。 5. 普通作業員・諸雑費については、バックカー車を使用する場合は [] 内の数値とする。 6. 運搬機械が現地 (天端や法尻等) に入れない場合の積込みは、別途考慮する。 7. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	機 械 名 ・ 規 格						大型自走式 ロングリーチ式	履帯式	遠隔機純式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔機純式 (刈幅120cm)	肩掛式 (刈幅カット 径255mm)	人 力	世話役	人	0.029	0.021	0.029	0.038	0.066	0.13	運転手(特殊)	〃	0.095	—	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.095	0.10	0.14	0.18	1.10	—	普通作業員	〃	1.3 [0.93]	1.2 [0.92]	1.3 [0.95]	1.3 [0.96]	1.2 [0.88]	4.7 [4.4]	運 転 時 間 又 は 日 数	h 又は 日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日	—	諸 雑 費 率	%	1(2) [1(2)]	1(1) [1(2)]	3(4) [3(5)]	5 [7]	2(2) [2(3)]	2 [2]	<p>現行どおり</p>																																																																																												
名 称	単 位			機 械 名 ・ 規 格																																																																																																																																																									
		大型自走式 ロングリーチ式	履帯式	遠隔機純式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔機純式 (刈幅120cm)	肩掛式 (刈幅カット 径255mm)	人 力																																																																																																																																																					
世話役	人	0.029	0.021	0.029	0.038	0.066	0.13																																																																																																																																																						
運転手(特殊)	〃	0.095	—	—	—	—	—																																																																																																																																																						
特殊作業員	〃	0.095	0.10	0.14	0.18	1.10	—																																																																																																																																																						
普通作業員	〃	1.3 [0.93]	1.2 [0.92]	1.3 [0.95]	1.3 [0.96]	1.2 [0.88]	4.7 [4.4]																																																																																																																																																						
運 転 時 間 又 は 日 数	h 又は 日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日	—																																																																																																																																																						
諸 雑 費 率	%	1(2) [1(2)]	1(1) [1(2)]	3(4) [3(5)]	5 [7]	2(2) [2(3)]	2 [2]																																																																																																																																																						

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																											
標準歩掛 P403	<p>7-2 総合歩掛 (除草, 集草 (機械), 積込・荷卸) 除草から積込・荷卸 (梱包なし) までを一連作業として行う場合の歩掛は, 次表とする。</p> <p>表7.2 総合歩掛 (除草, 集草 (機械), 積込・荷卸) (1,000m²当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">機 械 名 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <th>大型自走式 履 帯 式</th> <th>遠隔操縦式 (刈幅185cm)</th> <th>ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)</th> <th>遠隔操縦式 (刈幅120cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.040</td> <td>0.040</td> <td>0.048</td> <td>0.057</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.20</td> <td>0.18</td> <td>0.24</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.66 [0.33]</td> <td>0.62[0.29]</td> <td>0.69 [0.36]</td> <td>0.70 [0.37]</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.70h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> </tr> <tr> <td>集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>〃</td> <td>0.73h</td> <td>0.11日</td> <td>0.13日</td> <td>0.13日</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2(3) [3(5)]</td> <td>5(9) [6(14)]</td> <td>7[10]</td> <td>3(4) [4(6)]</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補助刈は, 上表に含まれている。 2. 諸雑費は, 燃料費, 補助刈に使用する機械経費等の費用であり, 労務費, 機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上し, 無償貸付機械を使用する場合は () 内の率とする。 3. 集草機械は, 各々の除草機械のアタッチメント [レーキ式 (タイン式)] とする。 4. 危険物, 空き缶, ビニール, 流木, 石等の除去は, 別途計上する。 5. 運搬機械はダンプトラックを標準とし, 処分場等受入れ側の指定機械がパッカー車のみに限られる場合には, パッカー車を選定する。 6. 普通作業員・諸雑費については, パッカー車を使用する場合は [] 内の数値とする。 7. 運搬機械が現地 (天端や法尻等) に入れない場合の積込みは, 別途考慮する。 8. 飛散防止措置が必要な場合は, 別途計上する。</p>	名 称	単 位	機 械 名 ・ 規 格				大型自走式 履 帯 式	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔操縦式 (刈幅120cm)	世 話 役	人	0.040	0.040	0.048	0.057	運転手 (特殊)	〃	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.20	0.18	0.24	0.28	普通作業員	〃	0.66 [0.33]	0.62[0.29]	0.69 [0.36]	0.70 [0.37]	運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日	集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日	諸 雑 費 率	%	2(3) [3(5)]	5(9) [6(14)]	7[10]	3(4) [4(6)]	<p>現行どおり</p>																								
名 称	単 位			機 械 名 ・ 規 格																																																																										
		大型自走式 履 帯 式	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅150cm)	遠隔操縦式 (刈幅120cm)																																																																									
世 話 役	人	0.040	0.040	0.048	0.057																																																																									
運転手 (特殊)	〃	—	—	—	—																																																																									
特殊作業員	〃	0.20	0.18	0.24	0.28																																																																									
普通作業員	〃	0.66 [0.33]	0.62[0.29]	0.69 [0.36]	0.70 [0.37]																																																																									
運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日																																																																									
集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日																																																																									
諸 雑 費 率	%	2(3) [3(5)]	5(9) [6(14)]	7[10]	3(4) [4(6)]																																																																									
標準歩掛 P404	<p>7-3 総合歩掛 (除草, 集草 (人力), 梱包, 積込・荷卸) 除草から積込・荷卸 (梱包あり) までを一連作業として行う場合の歩掛は, 次表とする。</p> <p>表7.3 総合歩掛 (除草, 集草 (人力), 梱包, 積込・荷卸) (1,000 m²当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="7">機械名・規格</th> </tr> <tr> <th colspan="2">大型自走式</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅 185 cm)</th> <th rowspan="2">ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅 150 cm)</th> <th rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅 120 cm)</th> <th rowspan="2">肩掛式 (刈幅カッタ 径 255mm)</th> <th rowspan="2">人 力</th> </tr> <tr> <th>ロングリー チ式</th> <th>履帯式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.043</td> <td>0.035</td> <td>0.043</td> <td>0.052</td> <td>0.080</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>〃</td> <td>0.095</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.18</td> <td>0.19</td> <td>0.23</td> <td>0.27</td> <td>1.2</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.91</td> <td>0.90</td> <td>0.93</td> <td>0.94</td> <td>0.86</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.75h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> <td>1.3日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>刈草梱包機械 運 転</td> <td>日</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2(2)</td> <td>1(2)</td> <td>3(5)</td> <td>6(7)</td> <td>3(3)</td> <td>2(2)</td> <td>4(4)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	機械名・規格							大型自走式		遠隔操縦式 (刈幅 185 cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅 150 cm)	遠隔操縦式 (刈幅 120 cm)	肩掛式 (刈幅カッタ 径 255mm)	人 力	ロングリー チ式	履帯式	世 話 役	人	0.043	0.035	0.043	0.052	0.080	0.14	運転手 (特殊)	〃	0.095	—	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.18	0.19	0.23	0.27	1.2	0.087	普通作業員	〃	0.91	0.90	0.93	0.94	0.86	4.4	運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日	—	刈草梱包機械 運 転	日	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	諸 雑 費 率	%	2(2)	1(2)	3(5)	6(7)	3(3)	2(2)	4(4)		
名称	単位			機械名・規格																																																																										
				大型自走式		遠隔操縦式 (刈幅 185 cm)	ハンドガイド式 笹・ヨシ等用 (刈幅 150 cm)	遠隔操縦式 (刈幅 120 cm)	肩掛式 (刈幅カッタ 径 255mm)	人 力																																																																				
		ロングリー チ式	履帯式																																																																											
世 話 役	人	0.043	0.035	0.043	0.052	0.080	0.14																																																																							
運転手 (特殊)	〃	0.095	—	—	—	—	—																																																																							
特殊作業員	〃	0.18	0.19	0.23	0.27	1.2	0.087																																																																							
普通作業員	〃	0.91	0.90	0.93	0.94	0.86	4.4																																																																							
運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.75h	0.70h	0.16日	0.21日	1.3日	—																																																																							
刈草梱包機械 運 転	日	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13																																																																							
諸 雑 費 率	%	2(2)	1(2)	3(5)	6(7)	3(3)	2(2)	4(4)																																																																						

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																				
標準歩掛 P404	<p>(注) 1. 補助刈は上表に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 3. 刈草梱包機械は、梱包φ50cm×70cmを標準とする。 4. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 5. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは、別途考慮する。 6. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>7-4 総合歩掛(除草、集草(機械)、梱包、積込・荷卸) 除草から積込・荷卸(梱包あり)までを一連の作業として行う場合の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 7.4 総合歩掛(除草、集草(機械)、梱包、積込・荷卸) (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="217 533 1079 1085"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">機械名・規格</th> </tr> <tr> <th>大型自走式履帯式</th> <th>遠隔操縦式(刈幅185cm)</th> <th>ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)</th> <th>遠隔操縦式(刈幅120cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.054</td> <td>0.054</td> <td>0.062</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.27</td> <td>0.33</td> <td>0.37</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.31</td> <td>0.27</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.70h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> </tr> <tr> <td>集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>〃</td> <td>0.73h</td> <td>0.11日</td> <td>0.13日</td> <td>0.13日</td> </tr> <tr> <td>刈草梱包機械運</td> <td>日</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>3(5)</td> <td>6(13)</td> <td>9(9)</td> <td>4(6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補助刈は上表に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 3. 集草機械は、各々の除草機械のアタッチメント[レーキ式(タイン式)]とする。 4. 刈草梱包機械は梱包φ50cm×70cmを標準とする。 5. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 6. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは、別途考慮する。 7. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p>	名称	単位	機械名・規格				大型自走式履帯式	遠隔操縦式(刈幅185cm)	ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)	遠隔操縦式(刈幅120cm)	世 話 役	人	0.054	0.054	0.062	0.071	運転手(特殊)	〃	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.29	0.27	0.33	0.37	普通作業員	〃	0.31	0.27	0.34	0.35	運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日	集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日	刈草梱包機械運	日	0.13	0.13	0.13	0.13	諸 雑 費 率	%	3(5)	6(13)	9(9)	4(6)	<p>(注) 1. 補助刈は上表に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 3. 刈草梱包機械は、<u>ハンドガイド式(梱包φ50cm×70cm)</u>を標準とする。 4. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 5. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは、別途考慮する。 6. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>7-4 総合歩掛(除草、集草(機械)、梱包、積込・荷卸) 除草から積込・荷卸(梱包あり)までを一連の作業として行う場合の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 7.4 総合歩掛(除草、集草(機械)、梱包、積込・荷卸) (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1120 533 1982 1085"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">機械名・規格</th> </tr> <tr> <th>大型自走式履帯式</th> <th>遠隔操縦式(刈幅185cm)</th> <th>ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)</th> <th>遠隔操縦式(刈幅120cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.054</td> <td>0.054</td> <td>0.062</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.27</td> <td>0.33</td> <td>0.37</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.31</td> <td>0.27</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>h又は 日</td> <td>0.70h</td> <td>0.70h</td> <td>0.16日</td> <td>0.21日</td> </tr> <tr> <td>集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数</td> <td>〃</td> <td>0.73h</td> <td>0.11日</td> <td>0.13日</td> <td>0.13日</td> </tr> <tr> <td>刈草梱包機械運</td> <td>日</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>3(5)</td> <td>6(13)</td> <td>9(9)</td> <td>4(6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補助刈は上表に含まれている。 2. 諸雑費は、燃料費、補助刈に使用する機械経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし、無償貸付機械を使用する場合は()内の率とする。 3. 集草機械は、各々の除草機械のアタッチメント[レーキ式(タイン式)]とする。 4. 刈草梱包機械は、<u>ハンドガイド式(梱包φ50cm×70cm)</u>を標準とする。 5. 危険物、空き缶、ビニール、流木、石等の除去は、別途計上する。 6. 運搬機械が現地(天端や法尻等)に入れない場合の積込みは、別途考慮する。 7. 飛散防止措置が必要な場合は、別途計上する。</p>	名称	単位	機械名・規格				大型自走式履帯式	遠隔操縦式(刈幅185cm)	ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)	遠隔操縦式(刈幅120cm)	世 話 役	人	0.054	0.054	0.062	0.071	運転手(特殊)	〃	—	—	—	—	特殊作業員	〃	0.29	0.27	0.33	0.37	普通作業員	〃	0.31	0.27	0.34	0.35	運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日	集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日	刈草梱包機械運	日	0.13	0.13	0.13	0.13	諸 雑 費 率	%	3(5)	6(13)	9(9)	4(6)	
名称	単位			機械名・規格																																																																																																																			
		大型自走式履帯式	遠隔操縦式(刈幅185cm)	ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)	遠隔操縦式(刈幅120cm)																																																																																																																		
世 話 役	人	0.054	0.054	0.062	0.071																																																																																																																		
運転手(特殊)	〃	—	—	—	—																																																																																																																		
特殊作業員	〃	0.29	0.27	0.33	0.37																																																																																																																		
普通作業員	〃	0.31	0.27	0.34	0.35																																																																																																																		
運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日																																																																																																																		
集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日																																																																																																																		
刈草梱包機械運	日	0.13	0.13	0.13	0.13																																																																																																																		
諸 雑 費 率	%	3(5)	6(13)	9(9)	4(6)																																																																																																																		
名称	単位	機械名・規格																																																																																																																					
		大型自走式履帯式	遠隔操縦式(刈幅185cm)	ハンドガイド式 筐・ヨシ等用(刈幅150cm)	遠隔操縦式(刈幅120cm)																																																																																																																		
世 話 役	人	0.054	0.054	0.062	0.071																																																																																																																		
運転手(特殊)	〃	—	—	—	—																																																																																																																		
特殊作業員	〃	0.29	0.27	0.33	0.37																																																																																																																		
普通作業員	〃	0.31	0.27	0.34	0.35																																																																																																																		
運 転 時 間 又 は 日 数	h又は 日	0.70h	0.70h	0.16日	0.21日																																																																																																																		
集 草 機 運 転 時 間 又 は 日 数	〃	0.73h	0.11日	0.13日	0.13日																																																																																																																		
刈草梱包機械運	日	0.13	0.13	0.13	0.13																																																																																																																		
諸 雑 費 率	%	3(5)	6(13)	9(9)	4(6)																																																																																																																		

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																	
標準歩掛 P405	<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 大型自走式(ロングリーチ式) 1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="253 256 1043 549"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>運 転 手 (特 殊)</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>大型自走式 (ロングリーチ式)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大型自走式(履帯式)又は遠隔操作式(刈幅185cm) 1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="253 596 1043 877"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>大型自走式(履帯式) 又は遠隔操作式(刈幅 185cm)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ハンドガイド式1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="253 925 1043 1166"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>ハンドガイド式</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 遠隔操作式(刈幅120cm) 1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="253 1214 1043 1473"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>遠隔操作式 (刈幅120cm)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	運 転 手 (特 殊)		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	大型自走式 (ロングリーチ式)	h		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	大型自走式(履帯式) 又は遠隔操作式(刈幅 185cm)	h		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	ハンドガイド式	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	遠隔操作式 (刈幅120cm)	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																
運 転 手 (特 殊)		〃		〃																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
機 械 損 料	大型自走式 (ロングリーチ式)	h		〃																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
機 械 損 料	大型自走式(履帯式) 又は遠隔操作式(刈幅 185cm)	h		〃																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
機 械 損 料	ハンドガイド式	日		〃																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																
機 械 損 料	遠隔操作式 (刈幅120cm)	日		〃																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																				
標準歩掛 P406	<p>(5) 肩掛式1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>肩掛式</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	肩掛式	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現行どおり</p>																																							
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																		
	世 話 役		人		表4.1																																																																		
	特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																		
	機 械 損 料	肩掛式	日		〃																																																																		
	諸 雑 費		式	1	〃																																																																		
	計																																																																						
	<p>(6) 人力除草1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表5.1	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計																																																	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																		
	世 話 役		人		表5.1																																																																		
	普 通 作 業 員		〃		〃																																																																		
	諸 雑 費		式	1	〃																																																																		
計																																																																							
<p>(7) 集草(機械)1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td></td> <td>h又は日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料		h又は日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>(7) 集草(機械)1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>集草機械</td> <td>h又は日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	集草機械	h又は日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人		表6.1																																																																			
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																			
機 械 損 料		h又は日		〃																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																			
計																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人		表6.1																																																																			
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																			
機 械 損 料	集草機械	h又は日		〃																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																			
計																																																																							
<p>(8) 集草(人力)1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表6.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
普 通 作 業 員		人		表6.1																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																				
計																																																																							

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																								
標準歩掛 P406	<p>(9) 梱包1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表6.1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>機 械 損 料</td><td>刈草梱包機械</td><td>日</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(10) 積込・荷卸1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表6.1</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	機 械 損 料	刈草梱包機械	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表6.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
世 話 役		人		表6.1																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																							
機 械 損 料	刈草梱包機械	日		〃																																																																																							
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																							
計																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
普 通 作 業 員		人		表6.1																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											
標準歩掛 P407	<p>(11) ダンプトラック運転1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>ダンプトラック運転</td><td>2 t積</td><td>h</td><td></td><td>表6.2, 6.3</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(12) バッカー車運転1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>バッカー車運転</td><td>8 m²積</td><td>h</td><td></td><td>表6.4</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	2 t積	h		表6.2, 6.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バッカー車運転	8 m ² 積	h		表6.4	諸 雑 費		式	1		計					<p>(12) バッカー車運転1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>バッカー車運転</td><td>回転式8 m²</td><td>h</td><td></td><td>表6.4</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バッカー車運転	回転式8 m ²	h		表6.4	諸 雑 費		式	1		計																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
ダンプトラック運転	2 t積	h		表6.2, 6.3																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
バッカー車運転	8 m ² 積	h		表6.4																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
バッカー車運転	回転式8 m ²	h		表6.4																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											
	<p>(13) 総合歩掛1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td rowspan="7">} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4</td></tr> <tr><td>運 転 手 (特 殊)</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>機 械 損 料</td><td></td><td>h又は日</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>集草機</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>刈草梱包機械</td><td>日</td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4	運 転 手 (特 殊)		〃		特 殊 作 業 員		〃		普 通 作 業 員		〃		機 械 損 料		h又は日		〃	集草機	〃		〃	刈草梱包機械	日		諸 雑 費		式	1		計					<p>(13) 総合歩掛1,000m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td rowspan="7">} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4</td></tr> <tr><td>運 転 手 (特 殊)</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>機 械 損 料</td><td>除草機械</td><td>h又は日</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>集草機械</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>刈草梱包機械</td><td>日</td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4	運 転 手 (特 殊)		〃		特 殊 作 業 員		〃		普 通 作 業 員		〃		機 械 損 料	除草機械	h又は日		〃	集草機械	〃		〃	刈草梱包機械	日		諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
世 話 役		人		} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4																																																																																							
運 転 手 (特 殊)		〃																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃																																																																																									
普 通 作 業 員		〃																																																																																									
機 械 損 料		h又は日																																																																																									
〃	集草機	〃																																																																																									
〃	刈草梱包機械	日																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
世 話 役		人		} 表7.1, 表7.2 表7.3, 表7.4																																																																																							
運 転 手 (特 殊)		〃																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃																																																																																									
普 通 作 業 員		〃																																																																																									
機 械 損 料	除草機械	h又は日																																																																																									
〃	集草機械	〃																																																																																									
〃	刈草梱包機械	日																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																								
計																																																																																											

一部改正工種
堤防除草工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																								
標準歩掛 P407	<p>(14) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2 t積</td> <td>機-7</td> <td>運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>パ ッ カ ー 車</td> <td>8m³積</td> <td>機-6</td> <td>運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ダンプトラック	2 t積	機-7	運転労務数量→0.14	パ ッ カ ー 車	8m ³ 積	機-6	運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2	<p>(14) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2 t積</td> <td>機-7</td> <td>運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>パ ッ カ ー 車</td> <td>8m³積 回転式8m³</td> <td>機-6</td> <td>運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ダンプトラック	2 t積	機-7	運転労務数量→0.14	パ ッ カ ー 車	8m³積 回転式8m ³	機-6	運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2	
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																								
ダンプトラック	2 t積	機-7	運転労務数量→0.14																								
パ ッ カ ー 車	8m ³ 積	機-6	運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2																								
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																								
ダンプトラック	2 t積	機-7	運転労務数量→0.14																								
パ ッ カ ー 車	8m³積 回転式8m ³	機-6	運転労務数量→0.22 燃料消費量→9.2																								

一部改正工種
堤防芝養生工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																				
標準歩掛 P410	<p>8章 河川維持</p> <p>③ 堤防芝養生工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、主に芝の繁茂している河川堤防及び高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工のうち、施肥工、抜根工、集草・積込運搬に適用する。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。必要な工種のみ計上する。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 抜根工</p> <p>3-1-1 抜根工</p> <p>抜根歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 抜根歩掛 (10,000㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>27.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1-2 集草、積込運搬</p> <p>集草、積込運搬歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 集草、積込運搬歩掛 (10,000㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">工 種</th> </tr> <tr> <th>集 草</th> <th>積込運搬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.5</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>2 t積</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集草、積込運搬は、必要な工種のみ計上する。 2. 廃棄、処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 3. 危険物、空き缶、流木、石等の除去は、別途計上する。 4. 運搬は、運搬距離15km (片道) 以下に適用し、15km (片道) を超える場合は、別途考慮する。</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	2.0	軽 作 業 員	〃	27.2	名 称	規 格	単 位	工 種		集 草	積込運搬	普 通 作 業 員		人	5.5	4.3	ダンプトラック運転	2 t積	日	—	4.3	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 抜根工</p> <p>3-1-1 抜根工</p> <p>抜根歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 抜根歩掛 (10,000㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>27.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1-2 集草、積込運搬</p> <p>集草、積込運搬歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 集草、積込運搬歩掛 (10,000㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">工 種</th> </tr> <tr> <th>集 草</th> <th>積込運搬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.5</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>2 t積</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集草、積込運搬は、必要な工種のみ計上する。 2. 廃棄、処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 3. 危険物、空き缶、流木、石等の除去は、別途計上する。 4. 運搬は、運搬距離15km (片道) 以下に適用し、15km (片道) を超える場合は、別途考慮する。</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	2.0	軽 作 業 員	〃	27.2	名 称	規 格	単 位	工 種		集 草	積込運搬	普 通 作 業 員		人	5.5	4.3	ダンプトラック運転	2 t積	日	—	4.3	
名 称	単 位	数 量																																																					
世 話 役	人	2.0																																																					
軽 作 業 員	〃	27.2																																																					
名 称	規 格	単 位	工 種																																																				
			集 草	積込運搬																																																			
普 通 作 業 員		人	5.5	4.3																																																			
ダンプトラック運転	2 t積	日	—	4.3																																																			
名 称	単 位	数 量																																																					
世 話 役	人	2.0																																																					
軽 作 業 員	〃	27.2																																																					
名 称	規 格	単 位	工 種																																																				
			集 草	積込運搬																																																			
普 通 作 業 員		人	5.5	4.3																																																			
ダンプトラック運転	2 t積	日	—	4.3																																																			

一部改正工種
堤防芝養生工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																				
標準歩掛 P411	<p>3-2 施肥工 施肥歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 施肥歩掛 (10,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="228 304 1072 520"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>2 t積</td> <td>日</td> <td>0.98</td> <td>肥料の現場内運搬用</td> </tr> <tr> <td>肥 料 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>47</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は化学肥料の散布量が300~1,000kg/10,000m²の場合に適用し、これにより難い場合は、別途考慮する。 2. 肥料費は肥料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 按根10,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="217 727 1084 943"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 集草、積込運搬10,000m²単価表</p> <table border="1" data-bbox="217 995 1084 1211"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>2 t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.5		普 通 作 業 員		〃	2.2		ト ラ ッ ク 運 転	2 t積	日	0.98	肥料の現場内運搬用	肥 料 費 率		%	47		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	軽 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表3.2	ダンプトラック運転	2 t積	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>3-2 施肥工 施肥歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 施肥歩掛 (10,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1124 304 1968 520"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>2 t積</td> <td>日</td> <td>0.98</td> <td>肥料の現場内運搬用</td> </tr> <tr> <td>肥 料 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>47</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は化学肥料の散布量が300~1,000kg/10,000m²の場合に適用し、これにより難い場合は、別途考慮する。 2. 肥料費は肥料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.5		普 通 作 業 員		〃	2.2		ト ラ ッ ク 運 転	2 t積	日	0.98	肥料の現場内運搬用	肥 料 費 率		%	47		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	0.5																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2.2																																																																																																				
ト ラ ッ ク 運 転	2 t積	日	0.98	肥料の現場内運搬用																																																																																																			
肥 料 費 率		%	47																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人		表3.1																																																																																																			
軽 作 業 員		〃		〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
普 通 作 業 員		人		表3.2																																																																																																			
ダンプトラック運転	2 t積	日		〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	0.5																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2.2																																																																																																				
ト ラ ッ ク 運 転	2 t積	日	0.98	肥料の現場内運搬用																																																																																																			
肥 料 費 率		%	47																																																																																																				

一部改正工種
堤防芝養生工

現行基準 のページ	現 行				改 正	摘 要	
標準歩掛 P411	(3) 施肥10,000m ² 当り単価表				現行どおり		
	名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
	世 話 役		人				表3.3
	普 通 作 業 員		"				"
	ト ラ ッ ク 運 転	2 t積	日				"
	肥 料 費		式	1			"
	計						
	(4) 機械運転単価表						
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項			
	ト ラ ッ ク	2 t積	機-19	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→ 1.00			
ダ ンプ ト ラ ッ ク	2 t積	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 0.87				

一部改正工種
護岸基礎ブロック工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要										
標準歩掛 P435	<p>8章 河川維持</p> <p>⑧ 護岸基礎ブロック工</p> <p>I 護岸基礎ブロック工(1)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、護岸工のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長2m、3.3m、5m）のうち、表1.1以外のものに適用する。</p> <p>なお、表1.1の護岸基礎ブロックは、護岸基礎ブロック工(2)を適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 護岸基礎ブロック工(2)の適用範囲</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中詰作業を行わないもの(ただし連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む) ・中詰材料にコンクリート以外のものを使ったもの ・目地材の施工がされていないもの </div> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A[掘り] --> B[プレキャスト据付] B --> C[目地材設置] C --> D[基礎ブロック連結] D --> E[中詰コンクリート投入] E --> F[戻し] style A stroke-dasharray: 5 5 style F stroke-dasharray: 5 5 </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定</p> <p>護岸基礎ブロック据付及び中詰コンクリート打設に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮シブ型25 t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、上表により難い場合は、現場条件に適合した機械・規格を別途考慮する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮シブ型25 t吊	台	1		現行どおり	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要									
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮シブ型25 t吊	台	1										

一部改正工種
護岸基礎ブロック工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
標準歩掛 P436	<p>4. 護岸基礎ブロック据付工 4-1 護岸基礎ブロック工歩掛 護岸基礎ブロック工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 護岸基礎ブロック総合歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック製品長 (mm)</th> <th colspan="5">2,000</th> <th colspan="5">3,300</th> <th colspan="5">5,000</th> </tr> <tr> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロック下幅 (mm)</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>規 格</td> <td>単 位</td> <td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td> <td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.7</td><td>0.9</td><td>1.1</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2 (5)</td><td>5 (12)</td><td>8 (19)</td><td>11 (25)</td><td>12 (27)</td><td>3 (6)</td><td>6 (14)</td><td>9 (22)</td><td>12 (28)</td><td>14 (31)</td><td>4 (8)</td><td>7 (16)</td><td>10 (24)</td><td>13 (30)</td><td>14 (32)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、ブロックの据付け、連結、目地材設置、中詰コンクリート打設、養生を含むものである。 2. 中詰コンクリート工はクレーン車打設とする。 3. 諸雑費は、目地の材料費、パイプレタ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費及び養生に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものであり、特殊養生を必要とする場合は練炭養生とし、()内の率を使用する。 5. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-2 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量 = 設計量 × (1+K) ……式 4.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック製品長 (mm)	2,000					3,300					5,000					500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	ブロック下幅 (mm)	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	名 称	規 格	単 位	未満	世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	特殊作業員		〃	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	普通作業員		〃	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	0.3	0.4	0.6	0.9	1.0	0.3	0.4	0.6	0.8	0.9	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.4	0.4	0.6	0.7	0.8	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.2	0.3	0.4	0.6	0.6	諸 雑 費 率		%	2 (5)	5 (12)	8 (19)	11 (25)	12 (27)	3 (6)	6 (14)	9 (22)	12 (28)	14 (31)	4 (8)	7 (16)	10 (24)	13 (30)	14 (32)	材 料	ロ ス 率	レディーミクストコンクリート	+0.05	<p>4. 護岸基礎ブロック据付工 4-1 護岸基礎ブロック工歩掛 護岸基礎ブロック工の施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 護岸基礎ブロック総合歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック製品長 (mm)</th> <th colspan="5">2,000</th> <th colspan="5">3,300</th> <th colspan="5">5,000</th> </tr> <tr> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> <th>500</th><th>600</th><th>700</th><th>900</th><th>1100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロック下幅 (mm)</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> <td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>以上</td><td>1100</td> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>規 格</td> <td>単 位</td> <td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td> <td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td><td>未満</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.7</td><td>0.9</td><td>1.1</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.6</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2 (5)</td><td>5 (12)</td><td>8 (19)</td><td>11 (25)</td><td>12 (27)</td><td>3 (6)</td><td>6 (14)</td><td>9 (22)</td><td>12 (28)</td><td>14 (31)</td><td>4 (8)</td><td>7 (16)</td><td>10 (24)</td><td>13 (30)</td><td>14 (32)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、ブロックの据付け、連結、目地材設置、中詰コンクリート打設、養生を含むものである。 2. 中詰コンクリート工はクレーン車打設とする。 3. 諸雑費は、目地の材料費、パイプレタ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費及び養生に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものであり、特殊養生を必要とする場合は練炭養生とし、()内の率を使用する。 5. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-2 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量 <u>(m)</u> = 設計量 <u>(m)</u> × (1+K) ……式 4.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック製品長 (mm)	2,000					3,300					5,000					500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	ブロック下幅 (mm)	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	名 称	規 格	単 位	未満	世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	特殊作業員		〃	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	普通作業員		〃	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	0.3	0.4	0.6	0.9	1.0	0.3	0.4	0.6	0.8	0.9	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.4	0.4	0.6	0.7	0.8	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.2	0.3	0.4	0.6	0.6	諸 雑 費 率		%	2 (5)	5 (12)	8 (19)	11 (25)	12 (27)	3 (6)	6 (14)	9 (22)	12 (28)	14 (31)	4 (8)	7 (16)	10 (24)	13 (30)	14 (32)	材 料	ロ ス 率	レディーミクストコンクリート	+0.05																									
ブロック製品長 (mm)	2,000					3,300					5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ブロック下幅 (mm)	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		〃	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		〃	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	0.3	0.4	0.6	0.9	1.0	0.3	0.4	0.6	0.8	0.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.4	0.4	0.6	0.7	0.8	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.2	0.3	0.4	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費 率		%	2 (5)	5 (12)	8 (19)	11 (25)	12 (27)	3 (6)	6 (14)	9 (22)	12 (28)	14 (31)	4 (8)	7 (16)	10 (24)	13 (30)	14 (32)																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材 料	ロ ス 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
レディーミクストコンクリート	+0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ブロック製品長 (mm)	2,000					3,300					5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100	500	600	700	900	1100																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ブロック下幅 (mm)	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100	以上	以上	以上	以上	1100																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		〃	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		〃	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	0.3	0.4	0.6	0.9	1.0	0.3	0.4	0.6	0.8	0.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.4	0.4	0.6	0.7	0.8	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.2	0.3	0.4	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費 率		%	2 (5)	5 (12)	8 (19)	11 (25)	12 (27)	3 (6)	6 (14)	9 (22)	12 (28)	14 (31)	4 (8)	7 (16)	10 (24)	13 (30)	14 (32)																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材 料	ロ ス 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
レディーミクストコンクリート	+0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

一部改正工種
護岸基礎ブロック工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																													
標準歩掛 P436	<p>5. 単 価 表</p> <p>5-1 護岸基礎ブロック工 (総合) 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="241 256 1055 608"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮シブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1	護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク		個			ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮シブ型25 t吊	日		表4.1	諸 雑 費		式		〃	計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																												
世 話 役		人		表4.1																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1																																												
護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク		個																																														
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮シブ型25 t吊	日		表4.1																																												
諸 雑 費		式		〃																																												
計																																																
標準歩掛 P437	<p>II 護岸基礎ブロック工 (2)</p> <p>1. 適用範囲 本歩掛は、護岸基礎ブロック工(1)の適用範囲を外れた護岸工のプレキャスト基礎ブロック (ブロック長2m, 3.3m, 4m, 5m) の施工に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 護岸基礎ブロック据付及び中詰コンクリート打設に使用する機械の機械・規格は、護岸基礎ブロック工(1)3による。</p> <p>3. 護岸基礎ブロック据付工</p> <p>3-1 日当り施工量 護岸基礎ブロック据付作業における日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ブロック据付の日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="376 890 925 1077"> <thead> <tr> <th>ブロック製品長 (mm)</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000mm</td> <td>m</td> <td>30 (32)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> <td>〃</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> <td>〃</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> <td>〃</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表にはブロックの連結、目地材の設置等を含む。 中詰材の投入は含まない。 2. ブロック製品長2,000mmで、中詰材の投入の必要がないブロックについては () 内の数値を使用する。</p> <p>3-2 編成人員 護岸基礎ブロック据付作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="340 1289 958 1377"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック製品長 (mm)	単 位	施 工 量	2,000mm	m	30 (32)	3,300mm	〃	38	4,000mm	〃	42	5,000mm	〃	48	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	1	<p>現行どおり</p>																									
ブロック製品長 (mm)	単 位	施 工 量																																														
2,000mm	m	30 (32)																																														
3,300mm	〃	38																																														
4,000mm	〃	42																																														
5,000mm	〃	48																																														
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																														
1	1	1																																														

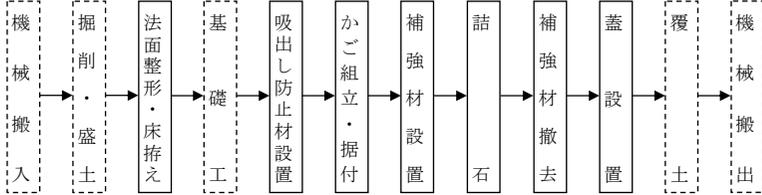
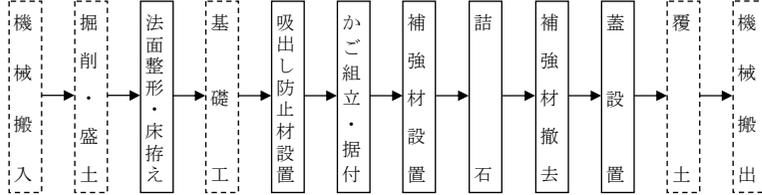
一部改正工種
護岸基礎ブロック工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																						
<p>標準歩掛 P437</p> <p>標準歩掛 P438</p>	<p>3-3 諸雑費 諸雑費は、目地材の材料費であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ブロック製品長 (mm)</td> <td>2,000</td> <td>3,300</td> <td>4,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td colspan="3">2</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>(注) 目地を使用しない場合は諸雑費を計上しないものとする。</p> <p>4. 中詰コンクリート工 4-1 施工歩掛 中詰コンクリートクレーン車打設及び養生の施工歩掛は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 中詰コンクリート工 (10m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.94</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>日</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>19(47)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バケツ容量は0.6m³を標準とする。 2. 諸雑費は、パイプレータ、コンクリートバケツ損料、電力に関する経費及び養生に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものであり、特殊養生を必要とする場合は練炭養生とし、()内の率を使用する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-2 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量 = 設計量 × (1 + K) ……………式 4.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック製品長 (mm)	2,000	3,300	4,000	5,000	諸雑费率	2			3	名 称	単 位	数 量	世 話 役 人	人	0.28	特 殊 作 業 員	〃	0.45	普 通 作 業 員	〃	0.94	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	0.58	諸 雑 費 率	%	19(47)	材 料	ロ ス 率	レディーミクストコンクリート	+0.05	<p>現行どおり</p> <p>4. 中詰コンクリート工 4-1 施工歩掛 中詰コンクリートクレーン車打設及び養生の施工歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 中詰コンクリート工 (10m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.94</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>日</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>19(47)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートバケツ容量は0.6m³を標準とする。 2. 諸雑費は、パイプレータ、コンクリートバケツ損料、電力に関する経費及び養生に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生は、養生材の被覆、散水養生の被覆養生程度のものであり、特殊養生を必要とする場合は練炭養生とし、()内の率を使用する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-2 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量 <u>(m³)</u> = 設計量 <u>(m³)</u> × (1 + K) ……………式 4.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	世 話 役 人	人	0.28	特 殊 作 業 員	〃	0.45	普 通 作 業 員	〃	0.94	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	0.58	諸 雑 費 率	%	19(47)	材 料	ロ ス 率	レディーミクストコンクリート	+0.05	
ブロック製品長 (mm)	2,000	3,300	4,000	5,000																																																					
諸雑费率	2			3																																																					
名 称	単 位	数 量																																																							
世 話 役 人	人	0.28																																																							
特 殊 作 業 員	〃	0.45																																																							
普 通 作 業 員	〃	0.94																																																							
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	0.58																																																							
諸 雑 費 率	%	19(47)																																																							
材 料	ロ ス 率																																																								
レディーミクストコンクリート	+0.05																																																								
名 称	単 位	数 量																																																							
世 話 役 人	人	0.28																																																							
特 殊 作 業 員	〃	0.45																																																							
普 通 作 業 員	〃	0.94																																																							
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	0.58																																																							
諸 雑 費 率	%	19(47)																																																							
材 料	ロ ス 率																																																								
レディーミクストコンクリート	+0.05																																																								

一部改正工種
護岸基礎ブロック工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																
標準歩掛 P438	<p>5. 単 価 表</p> <p>5-1 護岸基礎ブロック据付工100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>5-2 中詰コンクリート工10 m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.1, 表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃, 〃	普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃, 〃	護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク		個			ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	1×100/D	表3.1	諸 雑 費		式	1	表3.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表4.1	諸 雑 費		式		〃	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
世 話 役		人	1×100/D	表3.1, 表3.2																																																																															
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃, 〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃, 〃																																																																															
護 岸 基 礎 ブ ロ ッ ク		個																																																																																	
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	1×100/D	表3.1																																																																															
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
世 話 役		人		表4.1																																																																															
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1																																																																															
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表4.1																																																																															
諸 雑 費		式		〃																																																																															
計																																																																																			

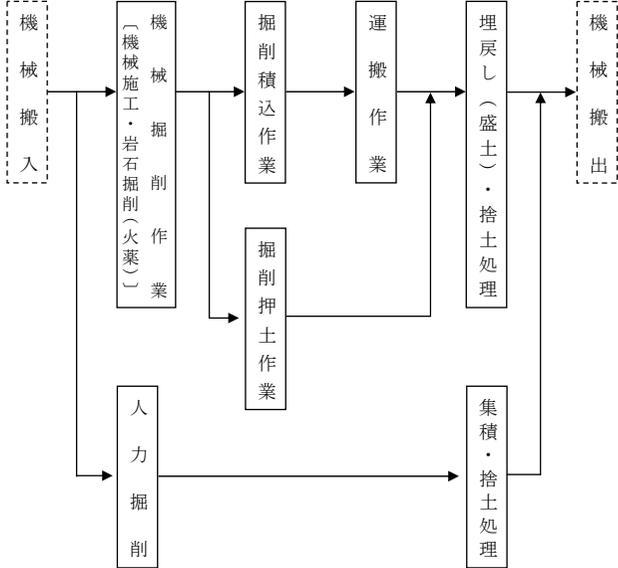
一部改正工種
かごマット工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																												
標準歩掛 P439	<p>8章 河川維持</p> <p>⑨ かごマット工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鉄線かごを使用した護岸で法勾配1：2.0以上の施工に適用する。なお、多段積には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="275 778 1081 874"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第一次基準値） ・クローラ型山積積0.8㎡（平積0.6㎡）</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 かごマットの施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表4.1 かごマット施工歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="230 1018 1070 1161"> <thead> <tr> <th>厚さ (cm)</th> <th>世 話 役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>8.0</td> <td>6.3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>0.8</td> <td>1.2</td> <td>9.9</td> <td>8.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、次の条件に該当する場合の歩掛である。 ①中詰用石材は、栗石、割栗石であること。 ②栗石、割栗石の径は、かご厚さ30cmの場合は概ね5～15cm、かご厚さ50cmの場合は概ね15～20cmであること。 2. 上表には、かごマット据付のための法面整形（床拵え含む）、吸出し防止材設置、かご組立・据付、補強材設置撤去、詰石、蓋設置及び現場内小運搬（運搬距離20m程度）を含む。 3. 吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 4. 諸雑費は、補強材料（単管パイプ、鉄筋等）の損料、消耗材料の費用であり、労務費、機械損料及び運搬経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第一次基準値） ・クローラ型山積積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1		厚さ (cm)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	諸雑費率 (%)	30	0.7	0.9	8.0	6.3	4	50	0.8	1.2	9.9	8.2	<p>8章 河川維持</p> <p>⑨ かごマット工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鉄線かごを使用した護岸で中詰用石材が、栗石、割栗石で石径がかご厚さ30cmの場合概ね5～15cm、かご厚さ50cmの場合概ね15～20cmの法勾配1：2.0以上の施工に適用する。なお、多段積には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>現行どおり</p> <p>4. 施工歩掛 かごマットの施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 かごマット施工歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="1126 1018 1966 1161"> <thead> <tr> <th>厚さ (cm)</th> <th>世 話 役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>バックホウ運転 (h)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>8.0</td> <td>6.3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>0.8</td> <td>1.2</td> <td>9.9</td> <td>8.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、かごマット据付のための法面整形（床拵え含む）、吸出し防止材設置、かご組立・据付、補強材設置撤去、詰石、蓋設置及び現場内小運搬（運搬距離20m程度）を含む。 2. 吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 3. 諸雑費は、補強材料（単管パイプ、鉄筋等）の損料、消耗材料の費用であり、労務費、機械損料及び運搬経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	厚さ (cm)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	諸雑費率 (%)	30	0.7	0.9	8.0	6.3	4	50	0.8	1.2	9.9	8.2	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																											
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第一次基準値） ・クローラ型山積積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1																																												
厚さ (cm)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	諸雑費率 (%)																																										
30	0.7	0.9	8.0	6.3	4																																										
50	0.8	1.2	9.9	8.2																																											
厚さ (cm)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	諸雑費率 (%)																																										
30	0.7	0.9	8.0	6.3	4																																										
50	0.8	1.2	9.9	8.2																																											

一部改正工種
かごマット工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																									
標準歩掛 P439	<p>5. 材料使用量</p> <p>材料の使用量は次式による。</p> <p>中詰用石材の使用量 (m³) = 設計量 (m³) × (1 + K) ……………式5.1</p> <p>K : ロス率</p> <p>吸出し防止材の使用量 (m²) = 設計量 (m²) × (1 + K) ……………式5.2</p> <p>K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.1 ロス率 (K)</p> <table border="1" data-bbox="400 451 900 539"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>中詰用石材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.08</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	中詰用石材	吸出し防止材	ロス率	+0.08	+0.07	<p>現行どおり</p>																																																				
名 称	中詰用石材	吸出し防止材																																																										
ロス率	+0.08	+0.07																																																										
標準歩掛 P440	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) かごマット100㎡当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="275 651 1081 1086"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>かごマット (スロープ式)</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中 詰 用 石 材</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>式5.1</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>㎡</td> <td></td> <td>式5.2</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="275 1150 1081 1262"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)</td> <td>機-1</td> <td>機械労務数量→0.14</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	かごマット (スロープ式)		㎡	100		中 詰 用 石 材		㎡		式5.1	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		式5.2	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)	h		表4.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)	機-1	機械労務数量→0.14	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																								
世 話 役		人		表4.1																																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																								
かごマット (スロープ式)		㎡	100																																																									
中 詰 用 石 材		㎡		式5.1																																																								
吸 出 し 防 止 材	t=10mm	㎡		式5.2																																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)	h		表4.1																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																								
計																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																									
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積0.8㎡ (平積0.6㎡)	機-1	機械労務数量→0.14																																																									

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P447	<p>9章 砂 防 ① 土 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、砂防工（本ダム、副ダム、床固、帯工、水叩、側壁、護岸）の施工に適用する。</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p>	<p>9章 砂 防 ① 土 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）の施工に適用する。</p> <p>現行どおり</p>	

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																						
標準歩掛 P448	<p data-bbox="215 215 510 260">3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p data-bbox="577 272 723 293">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="215 304 1084 805"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削 床掘 切崩</td> <td rowspan="2">機械施工</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>台</td> <td>1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岩石掘削 （機械）</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>積 込 み</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ダンプトラック使用時に適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td rowspan="2">土運搬作業の機種選定は、表3.2を標準とする</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋戻・敷均し</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="237 817 712 837">（注）現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p data-bbox="533 884 768 904">表3.2 土運搬作業の機種選定</p> <table border="1" data-bbox="215 916 1084 1045"> <thead> <tr> <th>運 搬 距 離</th> <th>標 準 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m以下</td> <td>ブルドーザが標準</td> </tr> <tr> <td>60mを超える</td> <td>バックホウ+ダンプトラックが標準</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="237 1059 577 1080">（注）上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削 床掘 切崩	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	台	1		ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1	岩石掘削 （機械）	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1	積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	〃	1	ダンプトラック使用時に適用	運 搬	ダンプトラック	10t積	〃	1	土運搬作業の機種選定は、表3.2を標準とする	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1	埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	〃	1		ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1	運 搬 距 離	標 準 工 法	60m以下	ブルドーザが標準	60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準	<p data-bbox="1261 695 1346 716">現行どおり</p>	
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要																																																				
掘削 床掘 切崩	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	台	1																																																				
		ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1																																																				
	岩石掘削 （機械）	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1																																																				
積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	〃	1	ダンプトラック使用時に適用																																																				
運 搬	ダンプトラック	10t積	〃	1	土運搬作業の機種選定は、表3.2を標準とする																																																				
	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1																																																					
埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	〃	1																																																					
	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通15t級	〃	1																																																					
運 搬 距 離	標 準 工 法																																																								
60m以下	ブルドーザが標準																																																								
60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準																																																								

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																										
標準歩掛 P448	<p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量（地山土量）をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第2章② 機械土工」4.(1)の土量換算係数 f を乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 440 1088 740"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>220</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>180</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td colspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込（現場条件の内容） 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業ができる場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩（中硬岩以上）の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻し作業に適用できる。</p>	作業の種類	土質名	単位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160	岩塊玉石	〃	180	120	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240		岩塊玉石	〃	200		破碎岩	〃	160		<p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量（地山土量）をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第2章② 機械土工」4.(1)の土量換算係数 f を乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1115 440 1989 740"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>220</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>180</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td colspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込（現場条件の内容） 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩（中硬岩以上）の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻し作業に適用出来る。</p>	作業の種類	土質名	単位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160	岩塊玉石	〃	180	120	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240		岩塊玉石	〃	200		破碎岩	〃	160		
作業の種類	土質名				単位	数 量																																																							
		障害なし	障害あり																																																										
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160																																																									
	岩塊玉石	〃	180	120																																																									
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																										
	岩塊玉石	〃	200																																																										
	破碎岩	〃	160																																																										
作業の種類	土質名	単位	数 量																																																										
			障害なし	障害あり																																																									
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160																																																									
	岩塊玉石	〃	180	120																																																									
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																										
	岩塊玉石	〃	200																																																										
	破碎岩	〃	160																																																										
標準歩掛 P449	<p>4-2 ブルドーザの掘削押土作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="215 1078 1088 1337"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土質名</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ブルドーザは、作業ヤードが広く、転石の混入等による作業妨害が少ない現場作業に適用する。 2. 上記の施工量は、運搬距離60mまでの押土作業を含んだ値である。 3. 上記の施工量は、転圧を伴わない敷均しを含んだ作業にも適用できる。ただし、転圧を伴う場合は、別途計上する。 4. 破碎岩（中硬岩以上）の押土は機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。</p>	作業の種類	土質名	単位	数 量	地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230	岩塊玉石	〃	190	ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240	岩塊玉石	〃	210	破碎岩	〃	110	<p>4-2 ブルドーザの掘削押土作業能力 運転日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1115 1078 1989 1337"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土質名</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ブルドーザは、作業ヤードが広く、転石の混入等による作業妨害が少ない現場作業に適用する。 2. 上記の施工量は、運搬距離60mまでの押土作業を含んだ値である。 3. 上記の施工量は、転圧を伴わない敷均しを含んだ作業にも適用出来る。ただし、転圧を伴う場合は、別途計上する。 4. 破碎岩（中硬岩以上）の押土は機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。</p>	作業の種類	土質名	単位	数 量	地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230	岩塊玉石	〃	190	ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240	岩塊玉石	〃	210	破碎岩	〃	110																	
作業の種類	土質名	単位	数 量																																																										
地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230																																																										
	岩塊玉石	〃	190																																																										
ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																										
	岩塊玉石	〃	210																																																										
	破碎岩	〃	110																																																										
作業の種類	土質名	単位	数 量																																																										
地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230																																																										
	岩塊玉石	〃	190																																																										
ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																										
	岩塊玉石	〃	210																																																										
	破碎岩	〃	110																																																										

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																
標準歩掛 P449	<p>4-3 ダンプトラックの運搬作業能力 (1) ダンプトラック（10t積）による河床路の土砂100m³当り運搬日数は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 100m³当り運搬日数（土砂） (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種</td> <td colspan="7">バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>運搬機種</td> <td colspan="7">ダンプトラック 10t積</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>0.5以下</td> <td>0.9以下</td> <td>1.5以下</td> <td>2.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>3.0以下</td> <td>4.0以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.0以下</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。 3. 運搬路に一般道路を含む場合で、一般道路の走行距離が河床路より長い場合は、「第2章土工②機械土工4-4(1)」による。 4. 破碎岩（中硬岩以上）の運搬は、機械損料の割増を行う（専用ダンプは除く）岩石作業の補正は、+0.25とする。</p> <p>(2) 100m³当り運搬日数（軟岩・硬岩） 軟岩及び硬岩の運搬日数の補正は、「第2章土工②機械土工（土砂）4-4(2)」による。</p>	積込機種	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）							運搬機種	ダンプトラック 10t積							運搬距離(km)	0.5以下	0.9以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下	運搬日数(日)	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6	運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下					運搬日数(日)	1.8	2.0	2.2					<p>4-3 ダンプトラックの運搬作業能力 (1) ダンプトラック（10t積）による河床路の土砂100m³当り運搬日数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 100m³当り運搬日数（土砂） (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種</td> <td colspan="7">バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>運搬機種</td> <td colspan="7">ダンプトラック 10t積</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>0.5以下</td> <td>0.9以下</td> <td>1.5以下</td> <td>2.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>3.0以下</td> <td>4.0以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.0以下</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。 3. 運搬路に一般道路を含む場合で、一般道路の走行距離が河床路より長い場合は、「第2章土工②機械土工4-4(1)」による。 4. 破碎岩（中硬岩以上）の運搬は、機械損料の割増を行う（専用ダンプは除く）岩石作業の補正は、+0.25とする。</p> <p>(2) 100m³当り運搬日数（軟岩・硬岩） 軟岩及び硬岩の運搬日数の補正は、「第2章土工②機械土工（土砂）4-4(2)」による。</p>	積込機種	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）							運搬機種	ダンプトラック 10t積							運搬距離(km)	0.5以下	0.9以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下	運搬日数(日)	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6	運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下					運搬日数(日)	1.8	2.0	2.2					
積込機種	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																																		
運搬機種	ダンプトラック 10t積																																																																																																		
運搬距離(km)	0.5以下	0.9以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下																																																																																												
運搬日数(日)	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6																																																																																												
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下																																																																																																
運搬日数(日)	1.8	2.0	2.2																																																																																																
積込機種	バックホウ 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																																		
運搬機種	ダンプトラック 10t積																																																																																																		
運搬距離(km)	0.5以下	0.9以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下																																																																																												
運搬日数(日)	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6																																																																																												
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下																																																																																																
運搬日数(日)	1.8	2.0	2.2																																																																																																
標準歩掛 P450	<p>5. 岩石工</p> <p>5-1 破碎を要する転石粒径 破碎を要する転石粒径は、0.5m以上とする。</p> <p>5-2 施工歩掛 軟岩は軟岩（Ⅰ）と軟岩（Ⅱ）を含む。硬岩は中硬岩と硬岩（Ⅰ）を含む。</p> <p>5-2-1 岩石掘削（機械）歩掛 大型ブレーカ使用の岩石掘削歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 岩石掘削（機械）日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>1日当り掘削歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 岩石掘削（機械）日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単位	施工量	軟 岩	m ³	51	硬 岩	〃	29	転 石	〃	31	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0	諸 雑 費 率		%	10	29	13	<p>5. 岩石工</p> <p>5-1 破碎を要する転石粒径 破碎を要する転石粒径は、0.5m以上とする。</p> <p>5-2 施工歩掛 軟岩は軟岩（Ⅰ）と軟岩（Ⅱ）を含む。硬岩は中硬岩と硬岩（Ⅰ）を含む。</p> <p>5-2-1 岩石掘削（機械）歩掛 大型ブレーカ使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 岩石掘削（機械）日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 岩石掘削（機械）日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単位	施工量	軟 岩	m ³	51	硬 岩	〃	29	転 石	〃	31	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0	諸 雑 費 率		%	10	29	13																															
土質・岩分類	単位	施工量																																																																																																	
軟 岩	m ³	51																																																																																																	
硬 岩	〃	29																																																																																																	
転 石	〃	31																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																														
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0																																																																																														
諸 雑 費 率		%	10	29	13																																																																																														
土質・岩分類	単位	施工量																																																																																																	
軟 岩	m ³	51																																																																																																	
硬 岩	〃	29																																																																																																	
転 石	〃	31																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																														
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0																																																																																														
諸 雑 費 率		%	10	29	13																																																																																														

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																						
<p>標準歩掛 P450</p> <p>標準歩掛 P451</p>	<p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内とする。</p> <p>2. 上表には、破砕片除去、法面整形は含まない。</p> <p>3. 大型ブレーカのベスマシンは、バックホウ排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）とする。</p> <p>4. 転石歩掛は、粒径50cm程度の大きさに破砕するものである。</p> <p>5. 大型ブレーカ用バックホウの岩石作業の損料の補正係数は、+0.25とする。ただし、軟岩を掘削する場合の補正係数は、+0.10とする。</p> <p>6. 諸雑費は大型ブレーカ用チゼル損耗費であり、機械損料及び運転経費に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>7. 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>5-2-2 岩石掘削（火薬） 火薬使用の岩石掘削歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 岩石掘削（火薬）日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="367 624 936 774"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>1日当り掘削歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 岩石掘削（火薬）日当り歩掛（1日当り）</p> <table border="1" data-bbox="253 866 1048 1083"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>1.9</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛には、仕上掘削を含む。</p> <p>2. 表土除去、伐根、爆破後の岩破砕片の集積、積込み、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）、削岩機の運転労務を含む。</p> <p>4. 諸雑費は、火薬・雷管の費用、レッグハンマ損料、ロッド・ビット等の損料費及び空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5. 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	37	硬 岩	〃	21	転 石	〃	9	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.7	0.6	0.3	削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4	特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7	普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3	諸 雑 費 率		%	18	23	26	<p>現行どおり</p> <p>5-2-2 岩石掘削（火薬） 火薬使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 岩石掘削（火薬）日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="1263 624 1832 774"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 岩石掘削（火薬）日当り歩掛（1日当り）</p> <table border="1" data-bbox="1149 866 1944 1083"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>1.9</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛には、仕上掘削を含む。</p> <p>2. 表土除去、伐根、爆破後の岩破砕片の集積、積込み、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）、削岩機の運転労務を含む。</p> <p>4. 諸雑費は、火薬・雷管の費用、レッグハンマ損料、ロッド・ビット等の損料費及び空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5. 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	37	硬 岩	〃	21	転 石	〃	9	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.7	0.6	0.3	削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4	特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7	普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3	諸 雑 費 率		%	18	23	26	
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																																																																							
軟 岩	m ³	37																																																																																																							
硬 岩	〃	21																																																																																																							
転 石	〃	9																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																						
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																				
世 話 役		人	0.7	0.6	0.3																																																																																																				
削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	18	23	26																																																																																																				
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																																																																							
軟 岩	m ³	37																																																																																																							
硬 岩	〃	21																																																																																																							
転 石	〃	9																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																						
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																				
世 話 役		人	0.7	0.6	0.3																																																																																																				
削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	18	23	26																																																																																																				

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																										
標準歩掛 P451	<p>5-2-3 人力掘削歩掛</p> <p>機械施工ができない箇所及び火薬による破砕ができない箇所の人力掘削歩掛は、次表とする。 なお、粘性土、砂及び砂質土、レキ質土、岩塊・玉石は、「第2章土工⑥人力土工」による。</p> <p>表5.5 人力掘削 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="353 331 949 488"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	9	硬 岩	〃	7	転 石	〃	12	<p>5-2-3 人力掘削歩掛</p> <p>機械施工が出来ない箇所及び火薬による破砕が出来ない箇所の人力掘削歩掛は、次表とする。 なお、粘性土、砂及び砂質土、レキ質土、岩塊・玉石は、「第2章土工⑥人力土工」による。</p> <p>表5.5 人力掘削 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="1249 331 1845 488"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	9	硬 岩	〃	7	転 石	〃	12																																																																																			
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																																																																											
軟 岩	m ³	9																																																																																																											
硬 岩	〃	7																																																																																																											
転 石	〃	12																																																																																																											
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																																																																											
軟 岩	m ³	9																																																																																																											
硬 岩	〃	7																																																																																																											
転 石	〃	12																																																																																																											
標準歩掛 P452	<p>1日当り掘削歩掛は、次表とする。</p> <p>表5.6 岩石掘削（人力）歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="241 584 1057 823"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の硬岩は、硬岩（I）は含まないものとする。 2. 伐根、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 歩掛には、仕上掘削を含む。 4. 対象土量は、地山土量とする。 5. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）、削岩機の運転労務を含む。 6. 歩掛には、掘り起こし及び切崩し作業のほか投棄を含む。 7. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）運転経費、削岩機損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) バックホウ掘削積込100 m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="241 1118 1057 1315"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.9	1.0	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9	普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0	諸 雑 費 率		%	7	7	7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					<p><u>日当り</u>掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.6 岩石掘削（人力）歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1144 584 1960 823"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の硬岩は、硬岩（I）は含まないものとする。 2. 伐根、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 歩掛には、仕上掘削を含む。 4. 対象土量は、地山土量とする。 5. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）、削岩機の運転労務を含む。 6. 歩掛には、掘り起こし及び切崩し作業のほか投棄を含む。 7. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型(第1次基準値)）運転経費、削岩機損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) バックホウ掘削・積込・床掘100 m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1144 1118 1960 1315"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.9	1.0	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9	普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0	諸 雑 費 率		%	7	7	7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格				単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																							
		軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																									
世 話 役		人	0.9	1.0	1.0																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	7	7	7																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.1																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																										
計																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																										
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																								
世 話 役		人	0.9	1.0	1.0																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	7	7	7																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	日	100/D	表4.1																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																										
計																																																																																																													

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																				
標準歩掛 P452	<p>(2) ブルドーザ掘削押土100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(3) 岩石掘削(機械)10m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t	日	100/D	表4.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1	表5.2	計					<p>(2) ブルドーザ掘削押土100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t 級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(3) ダンプトラック運搬100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t 級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(4) 岩石掘削(機械)10m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t 級	日	100/D	表4.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック	10t 級	日		表 4.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1	表5.2	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t	日	100/D	表4.2																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.2																																																																																																			
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t 級	日	100/D	表4.2																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
ダンプトラック	10t 級	日		表 4.3																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.2																																																																																																			
計																																																																																																							
標準歩掛 P453	<p>(4) 岩石掘削(火薬)10m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>表5.3, 表5.4</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4	削 岩 工		〃	〃	〃	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<p>(5) 岩石掘削(火薬)10m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>表5.3, 表5.4</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4	削 岩 工		〃	〃	〃	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	諸 雑 費		式	1	表5.4	計																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4																																																																																																			
削 岩 工		〃	〃	〃																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																			
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4																																																																																																			
削 岩 工		〃	〃	〃																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																			
計																																																																																																							

一部改正工種
砂防工（土工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																						
標準歩掛 P453	<p>(5) 岩石掘削（人力）10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="241 248 1057 491"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>表5.5, 表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="241 584 1057 1117"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大型ブレーカ (バックホウ装着)</td> <td rowspan="2">油圧式1,300kg級</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30</td> </tr> <tr> <td>機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16	ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23	大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30	機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30	<p>(6) 岩石掘削（人力）10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1137 248 1953 491"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>表5.5, 表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1137 584 1953 1117"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大型ブレーカ (バックホウ装着)</td> <td rowspan="2">油圧式1,300kg級</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30</td> </tr> <tr> <td>機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t 級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16	ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23	大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30	機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																					
世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																					
計																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16																																																																																																						
ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23																																																																																																						
大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30																																																																																																						
			機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																					
世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																					
計																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.67																																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t 級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 2.16																																																																																																						
ダンプトラック	10t積	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 92 機械損料数量→ 1.23																																																																																																						
大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機械損料 1→バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 95 機械損料数量→ 1.30																																																																																																						
			機械損料 2→大型ブレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→ 1.30																																																																																																						

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																					
標準歩掛 P454	<p>9章 砂 防 ② コンクリート工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工（本ダム、副ダム、床固、帯工、水叩、側壁、護岸）における平均打設高 30m 以下のコンクリート打設の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td rowspan="2">ラフテレーンクレーン</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td rowspan="2">台</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>型枠設置・撤去</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難い場合は、現場条件にあった機械・規格を別途考慮する。</p> <p>4. 材料使用量 コンクリートの使用量の補正は、次式とする。 使用量＝設計量×(1+K) ……式 4.1 K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td>+0.04</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリート打設	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	台	1		型枠設置・撤去	種 別	ロ ス 率	コ ン ク リ ー ト	+0.04	<p>9章 砂 防 ② コンクリート工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固、帯工、水叩、側壁、護岸）における平均打設高 30m以下のコンクリート打設の施工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">(注) 現行どおり</p> <p>4. 材料使用量 コンクリートの使用量の補正は、次式とする。 使用量 (m) = 設計量 (m) × (1+K) ……式 4.1 K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td>+0.04</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	ロ ス 率	コ ン ク リ ー ト	+0.04	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																			
コンクリート打設	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	台	1																				
型枠設置・撤去																								
種 別	ロ ス 率																							
コ ン ク リ ー ト	+0.04																							
種 別	ロ ス 率																							
コ ン ク リ ー ト	+0.04																							

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												
標準歩掛 P454	<p>5. 型 枠 工 (1) 適用範囲 外部型枠、内部型枠に適用する。 (2) 型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 鋼製型枠100㎡当り施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 鋼製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、メタルフォーム、木製型枠、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、はく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	2.0		型 枠 工		〃	13.0		普 通 作 業 員		〃	13.0		ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	2.0		諸 雑 費 率		%	9		<p>5. 型 枠 工 (1) 適用範囲 外部型枠、内部型枠に適用する。 (2) 型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 鋼製型枠100㎡当り施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 鋼製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、メタルフォーム、木製型枠、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、はく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	2.0		型 枠 工		〃	13.0		普 通 作 業 員		〃	13.0		ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	2.0		諸 雑 費 率		%	9		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
世 話 役		人	2.0																																																												
型 枠 工		〃	13.0																																																												
普 通 作 業 員		〃	13.0																																																												
ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	2.0																																																												
諸 雑 費 率		%	9																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
世 話 役		人	2.0																																																												
型 枠 工		〃	13.0																																																												
普 通 作 業 員		〃	13.0																																																												
ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	2.0																																																												
諸 雑 費 率		%	9																																																												
標準歩掛 P455	<p>6. 足 場 工 (1) 適用範囲 高さ2m以上で、外部型枠、内部型枠の設置・撤去用足場（キャットウォーク）を設置する場合に適用する。 (2) 設置及び撤去歩掛 足場設置及び撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 足場設置及び撤去歩掛 (設置延長10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、キャットウォーク、丸パイプ、直交クランプ、板付布枠、番線等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 高さ方向の標準設置間隔は、1.8mとする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.1	と び 工		〃	0.3	普 通 作 業 員		〃	0.3	諸 雑 費 率		%	15	<p>6. 足 場 工 (1) 適用範囲 高さ2m以上で、外部型枠、内部型枠の設置・撤去用足場（キャットウォーク）を設置する場合に適用する。 (2) 設置及び撤去歩掛 足場設置及び撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 足場設置及び撤去歩掛 (設置延長10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、キャットウォーク、丸パイプ、直交クランプ、板付布枠、養生シート、番線等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 高さ方向の標準設置間隔は、1.8mとする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.1	と び 工		〃	0.3	普 通 作 業 員		〃	0.3	諸 雑 費 率		%	18																					
名 称	規 格	単 位	数 量																																																												
世 話 役		人	0.1																																																												
と び 工		〃	0.3																																																												
普 通 作 業 員		〃	0.3																																																												
諸 雑 費 率		%	15																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量																																																												
世 話 役		人	0.1																																																												
と び 工		〃	0.3																																																												
普 通 作 業 員		〃	0.3																																																												
諸 雑 費 率		%	18																																																												

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																				
標準歩掛 P455	<p>7. 砂防コンクリート打設歩掛 7-1 一般部コンクリート打設歩掛 一般部コンクリート打設にかかる施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 一般部コンクリート打設歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">日打設量(m³/日)</th> </tr> <tr> <th>50未満</th> <th>50以上 150未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.4 (4.4)</td> <td>2.7 (2.7)</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8 (4.9)</td> <td>4.1 (3.2)</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>1.7 (1.7)</td> <td>0.9 (0.9)</td> </tr> <tr> <td>雑種</td> <td>チ ッ ピ ン グ</td> <td>%</td> <td>19 (20)</td> <td>28 (32)</td> </tr> <tr> <td>工率</td> <td>岩 盤 清 掃</td> <td>〃</td> <td>19 (21)</td> <td>29 (32)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費 率</td> <td>〃</td> <td>23 (13)</td> <td>30 (15)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、コンクリート打設・養生・打継面清掃・チッピング・岩盤清掃等を含むものである。 2. 雑工種、諸雑費は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、雑工種、諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。 [雑工種(チッピング)] チッピング労務、空気圧縮機損料、削岩機損料、削岩機運転経費及び電力に関する経費。 [雑工種(岩盤清掃)] 岩盤清掃労務、高圧洗浄機損料、工事用水中ポンプ損料、電力に関する経費。 [諸雑費] 養生マット、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、水中ポンプ損料、高圧洗浄機損料、電力に関する経費。 3. バケット容量は、1.0m³を標準とし、これにより難い場合は、別途考慮する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 特殊養生を必要とする場合は()内の数値を適用し、養生にかかる費用は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /日)		50未満	50以上 150未満	世 話 役		人	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	特 殊 作 業 員		〃	4.4 (4.4)	2.7 (2.7)	普 通 作 業 員		〃	5.8 (4.9)	4.1 (3.2)	ラフテレーンクレーン 運	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.7 (1.7)	0.9 (0.9)	雑種	チ ッ ピ ン グ	%	19 (20)	28 (32)	工率	岩 盤 清 掃	〃	19 (21)	29 (32)	諸	雑 費 率	〃	23 (13)	30 (15)	<p>7. 砂防コンクリート打設歩掛 7-1 一般部コンクリート打設歩掛 一般部コンクリート打設にかかる施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 一般部コンクリート打設歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">日打設量(m³/日)</th> </tr> <tr> <th>50未満</th> <th>50以上 150未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.4 (4.4)</td> <td>2.7 (2.7)</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8 (4.9)</td> <td>4.1 (3.2)</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>1.7 (1.7)</td> <td>0.9 (0.9)</td> </tr> <tr> <td>雑種</td> <td>チ ッ ピ ン グ</td> <td>%</td> <td>19 (20)</td> <td>28 (32)</td> </tr> <tr> <td>工率</td> <td>岩 盤 清 掃</td> <td>〃</td> <td>19 (21)</td> <td>29 (32)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費 率</td> <td>〃</td> <td>23 (13)</td> <td>30 (15)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、コンクリート打設・養生・打継面清掃・チッピング・岩盤清掃等を含むものである。 2. 雑工種、諸雑費は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、雑工種、諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。 [雑工種(チッピング)] チッピング労務、空気圧縮機損料、さく岩機損料、さく岩機運転経費及び電力に関する経費。 [雑工種(岩盤清掃)] 岩盤清掃労務、高圧洗浄機損料、工事用水中ポンプ損料、電力に関する経費。 [諸雑費] 養生マット、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、水中ポンプ損料、高圧洗浄機損料、電力に関する経費。 3. コンクリートバケット容量は、1.0m³を標準とし、これにより難い場合は、別途考慮する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 特殊養生を必要とする場合は()内の数値を適用し、養生にかかる費用は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /日)		50未満	50以上 150未満	世 話 役		人	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	特 殊 作 業 員		〃	4.4 (4.4)	2.7 (2.7)	普 通 作 業 員		〃	5.8 (4.9)	4.1 (3.2)	ラフテレーンクレーン 運	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.7 (1.7)	0.9 (0.9)	雑種	チ ッ ピ ン グ	%	19 (20)	28 (32)	工率	岩 盤 清 掃	〃	19 (21)	29 (32)	諸	雑 費 率	〃	23 (13)	30 (15)	
名 称	規 格				単 位	日打設量(m ³ /日)																																																																																	
		50未満	50以上 150未満																																																																																				
世 話 役		人	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	4.4 (4.4)	2.7 (2.7)																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	5.8 (4.9)	4.1 (3.2)																																																																																			
ラフテレーンクレーン 運	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.7 (1.7)	0.9 (0.9)																																																																																			
雑種	チ ッ ピ ン グ	%	19 (20)	28 (32)																																																																																			
工率	岩 盤 清 掃	〃	19 (21)	29 (32)																																																																																			
諸	雑 費 率	〃	23 (13)	30 (15)																																																																																			
名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /日)																																																																																				
			50未満	50以上 150未満																																																																																			
世 話 役		人	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	4.4 (4.4)	2.7 (2.7)																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	5.8 (4.9)	4.1 (3.2)																																																																																			
ラフテレーンクレーン 運	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.7 (1.7)	0.9 (0.9)																																																																																			
雑種	チ ッ ピ ン グ	%	19 (20)	28 (32)																																																																																			
工率	岩 盤 清 掃	〃	19 (21)	29 (32)																																																																																			
諸	雑 費 率	〃	23 (13)	30 (15)																																																																																			

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																						
標準歩掛 P456	<p>7-2 堤冠コンクリート打設歩掛 堤冠コンクリート打設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-2 堤冠コンクリート打設歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">日打設量(m³/ブロック)</th> </tr> <tr> <th>鉄 3</th> <th>材 未 満</th> <th>グラノリシッ ク 20</th> <th>富 配 30</th> <th>合 未 満</th> <th>合 満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.3 (3.3)</td> <td></td> <td>0.6 (0.6)</td> <td></td> <td></td> <td>0.3 (0.3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.7 (5.7)</td> <td></td> <td>2.7 (2.7)</td> <td></td> <td></td> <td>1.3 (1.3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12.5 (12.0)</td> <td></td> <td>1.6 (1.1)</td> <td></td> <td></td> <td>1.0 (0.5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td colspan="6">0.2 (0.2)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7 (4)</td> <td></td> <td>21 (11)</td> <td></td> <td></td> <td>32 (12)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、コンクリート打設・養生等を含むものである。 2. 諸雑費は、養生マット、コンクリートバケツ損料、パイプレータ損料、水中ポンプ損料、高圧洗浄機損料、電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. バケツ容量は、1.0m³を標準とし、これにより難い場合は、別途考慮する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 特殊養生が必要な場合は（ ）内の数値を適用し、養生にかかる費用は別途計上する。</p> <p>8. 止水板設置</p> <p>8-1 止水板（塩化ビニル製止水板）設置歩掛 10m当りの止水板設置歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 止水板設置歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>8-2 止水板使用量 使用量 (m) = 設計量 (m) × (1 + K) ……式 8.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表8.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>止 水 板</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /ブロック)						鉄 3	材 未 満	グラノリシッ ク 20	富 配 30	合 未 満	合 満	世 話 役		人	3.3 (3.3)		0.6 (0.6)			0.3 (0.3)		特殊作業員		〃	5.7 (5.7)		2.7 (2.7)			1.3 (1.3)		普通作業員		〃	12.5 (12.0)		1.6 (1.1)			1.0 (0.5)		ラフテレーン クレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2 (0.2)						諸 雑 費 率		%	7 (4)		21 (11)			32 (12)		名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.3	普 通 作 業 員	〃	0.7	種 別	ロス率	止 水 板	+0.07	<p>7-2 堤冠コンクリート打設歩掛 堤冠コンクリート打設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-2 堤冠コンクリート打設歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">日打設量(m³/ブロック)</th> </tr> <tr> <th>鉄 3</th> <th>材 未 満</th> <th>グラノリシッ ク 20</th> <th>富 配 30</th> <th>合 未 満</th> <th>合 満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.3 (3.3)</td> <td></td> <td>0.6 (0.6)</td> <td></td> <td></td> <td>0.3 (0.3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.7 (5.7)</td> <td></td> <td>2.7 (2.7)</td> <td></td> <td></td> <td>1.3 (1.3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12.5 (12.0)</td> <td></td> <td>1.6 (1.1)</td> <td></td> <td></td> <td>1.0 (0.5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td colspan="6">0.2 (0.2)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7 (4)</td> <td></td> <td>21 (11)</td> <td></td> <td></td> <td>32 (12)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、コンクリート打設・養生等を含むものである。 2. 諸雑費は、養生マット、コンクリートバケツ損料、パイプレータ損料、水中ポンプ損料、高圧洗浄機損料、電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. コンクリートバケツ容量は、1.0m³を標準とし、これにより難い場合は、別途考慮する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 特殊養生が必要な場合は（ ）内の数値を適用し、養生にかかる費用は別途計上する。</p> <p>8. 止水板設置</p> <p>8-1 止水板（塩化ビニル製止水板）設置歩掛 10m当りの止水板設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 止水板設置歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">} 現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /ブロック)						鉄 3	材 未 満	グラノリシッ ク 20	富 配 30	合 未 満	合 満	世 話 役		人	3.3 (3.3)		0.6 (0.6)			0.3 (0.3)		特殊作業員		〃	5.7 (5.7)		2.7 (2.7)			1.3 (1.3)		普通作業員		〃	12.5 (12.0)		1.6 (1.1)			1.0 (0.5)		ラフテレーン クレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2 (0.2)						諸 雑 費 率		%	7 (4)		21 (11)			32 (12)		名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.3	普 通 作 業 員	〃	0.7	
名 称	規 格				単 位	日打設量(m ³ /ブロック)																																																																																																																																																			
		鉄 3	材 未 満	グラノリシッ ク 20		富 配 30	合 未 満	合 満																																																																																																																																																	
世 話 役		人	3.3 (3.3)		0.6 (0.6)			0.3 (0.3)																																																																																																																																																	
特殊作業員		〃	5.7 (5.7)		2.7 (2.7)			1.3 (1.3)																																																																																																																																																	
普通作業員		〃	12.5 (12.0)		1.6 (1.1)			1.0 (0.5)																																																																																																																																																	
ラフテレーン クレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2 (0.2)																																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	7 (4)		21 (11)			32 (12)																																																																																																																																																	
名 称	単 位	数 量																																																																																																																																																							
世 話 役	人	0.3																																																																																																																																																							
普 通 作 業 員	〃	0.7																																																																																																																																																							
種 別	ロス率																																																																																																																																																								
止 水 板	+0.07																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	日打設量(m ³ /ブロック)																																																																																																																																																						
			鉄 3	材 未 満	グラノリシッ ク 20	富 配 30	合 未 満	合 満																																																																																																																																																	
世 話 役		人	3.3 (3.3)		0.6 (0.6)			0.3 (0.3)																																																																																																																																																	
特殊作業員		〃	5.7 (5.7)		2.7 (2.7)			1.3 (1.3)																																																																																																																																																	
普通作業員		〃	12.5 (12.0)		1.6 (1.1)			1.0 (0.5)																																																																																																																																																	
ラフテレーン クレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2 (0.2)																																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	7 (4)		21 (11)			32 (12)																																																																																																																																																	
名 称	単 位	数 量																																																																																																																																																							
世 話 役	人	0.3																																																																																																																																																							
普 通 作 業 員	〃	0.7																																																																																																																																																							

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																		
標準歩掛 P457	<p>9. 単 価 表</p> <p>(1) 型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布作業 100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 足場設置及び撤去・設置延長 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 一般部コンクリート打設 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">雑 工 種</td> <td>チ ッ ピ ン グ</td> <td>式</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>岩 盤 清 掃</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表5.1	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.1	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表7.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表7.1	雑 工 種	チ ッ ピ ン グ	式		〃 必要に応じて計上	岩 盤 清 掃	〃		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
世 話 役		人		表5.1																																																																																																																	
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
世 話 役		人		表6.1																																																																																																																	
と び 工		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
世 話 役		人		表7.1																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表7.1																																																																																																																	
雑 工 種	チ ッ ピ ン グ	式		〃 必要に応じて計上																																																																																																																	
	岩 盤 清 掃	〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
計																																																																																																																					

一部改正工種
砂防工（コンクリート工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																								
標準歩掛 P457	<p>(4) 堤冠コンクリート打設 10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 賃</td> <td>排出ガス対策型（第1 次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表7.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1	ラフテレーンクレーン 賃	排出ガス対策型（第1 次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		表7.2	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																							
世 話 役		人		表7.2																																							
特 殊 作 業 員		〃		〃																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																							
コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1																																							
ラフテレーンクレーン 賃	排出ガス対策型（第1 次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		表7.2																																							
諸 雑 費		式	1	〃																																							
計																																											
標準歩掛 P458	<p>(5) 止水板設置 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>止 水 板</td> <td>塩化ビニル製</td> <td>m</td> <td></td> <td>式8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表8.1	普 通 作 業 員		〃		〃	止 水 板	塩化ビニル製	m		式8.1	諸 雑 費		式	1		計																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																							
世 話 役		人		表8.1																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																							
止 水 板	塩化ビニル製	m		式8.1																																							
諸 雑 費		式	1																																								
計																																											

一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要														
標準歩掛 P461	<p>9章 砂 防 ④ 砂防ソイルセメント工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工（本ダム、副ダム、床固、帯工、水叩、側壁、護岸）の基礎及び中詰において施工位置周辺ヤードにて現地発生土とセメントをバックホウにて攪拌混合し、運搬、敷均し、締固めを行い、構造物を構築する砂防ソイルセメント工の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 施工歩掛 3-1 粒径処理 3-1-1 施工内容 粒径処理は、バックホウ（スケルトンバケット付）を使用して、骨材の最大寸法以上の土砂をふるい分ける作業とする。 3-1-2 機種を選定 粒径処理作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 値</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1-3 日当り編成人員 粒径処理作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	台	1		世 話 役	普通作業員	1	1	<p>9章 砂 防 ④ 砂防ソイルセメント工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）の基礎及び中詰において施工位置周辺ヤードにて現地発生土とセメントをバックホウにて攪拌混合し、運搬、敷均し、締固めを行い、構造物を構築する砂防ソイルセメント工の施工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要													
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	台	1														
世 話 役	普通作業員																
1	1																

一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																														
標準歩掛 P462	<p>3-1-4 日当り施工量 粒径処理作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 日当り施工量 (m³/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">粒径処理率 (%)</th> <th style="width: 15%;">40を超え45ま で</th> <th style="width: 15%;">45を超え50ま で</th> <th style="width: 15%;">50を超え60ま で</th> <th style="width: 15%;">60を超え80ま で</th> <th style="width: 15%;">80を超え100ま で</th> </tr> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>47</td> <td>68</td> <td>96</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 対象土質は、砂質土及びレキ質土であり、土質条件が異なる場合は別途考慮する。 2. 日当り施工量は、粒径処理後土量を示す。 3. 粒径処理率は次式による。 粒径処理率(%)=(粒径処理後土量)/(粒径処理前土量) 2</p> <p>3-1-5 諸 雑 費 諸雑費は、スケルトンバケットの損料であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 70%;">諸 雑 費 率</th> <th style="width: 30%;">5</th> </tr> </table> <p>3-2 粒径処理土積込 粒径処理土の積込は、「第9章砂防 ①土工」による。</p> <p>3-3 粒径処理土運搬 粒径処理土の運搬は、「第9章砂防 ①土工」による。</p> <p>3-4 攪拌混合 3-4-1 機種を選定 攪拌混合作業に使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 値</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m³（平積0.6m³）吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4-2 日当り編成人員 攪拌混合作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 33%;">世 話 役</th> <th style="width: 33%;">特 殊 作 業 員</th> <th style="width: 33%;">普 通 作 業 員</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	粒径処理率 (%)	40を超え45ま で	45を超え50ま で	50を超え60ま で	60を超え80ま で	80を超え100ま で	日当り施工量	30	37	47	68	96	諸 雑 費 率	5	機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）吊能力2.9t	台	1		世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	1	<p>現行どおり</p>	
粒径処理率 (%)	40を超え45ま で	45を超え50ま で	50を超え60ま で	60を超え80ま で	80を超え100ま で																												
日当り施工量	30	37	47	68	96																												
諸 雑 費 率	5																																
機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要																													
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）吊能力2.9t	台	1																														
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																															
1	1	1																															

一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																				
標準歩掛 P462	<p>3-4-3 日当り施工量</p> <p>攪拌混合作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.7 日当り施工量 (m³/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">日当り施工量</td> <td style="text-align: center;">171</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、粒径処理土投入、セメント投入、攪拌混合、混合材料積込までを含む。 2. 日当り施工量は、製造する混合材料量とする。 3. 混合材料量は、締固め状態における量で表示する。</p> <p>3-4-4 諸雑費</p> <p>諸雑費は、用水及び電力に関する経費であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.8 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table>	日当り施工量	171	諸 雑 費 率	7	現行どおり																	
日当り施工量	171																						
諸 雑 費 率	7																						
標準歩掛 P463	<p>3-5 混合材料運搬</p> <p>混合材料の運搬は、「第9章砂防 ①土工」による。</p> <p>3-6 混合材料投入</p> <p>混合材料の投入は、「第9章砂防 ①土工」による。</p> <p>3-7 混合材料敷均し・締固め</p> <p>3-7-1 機種を選定</p> <p>混合材料敷均し・締固め作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 値</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28m³（平積0.2m³）</td> <td style="text-align: center;">台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型3～4 t</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ及び振動ローラは賃料とする。</p> <p>3-7-2 日当り編成人員</p> <p>混合材料敷均し・締固め作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">世 話 役</th> <th style="text-align: center;">特 殊 作 業 員</th> <th style="text-align: center;">普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	台	1		振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型3～4 t	"	1		世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	2	
機 械 名	規 格	単 位	数 値	摘 要																			
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	台	1																				
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型3～4 t	"	1																				
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																					
1	1	2																					

一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要						
標準歩掛 P463	<p>3-7-3 日当り施工量 混合材料敷均し・締固め作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.11 日当り施工量 (m³/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">128</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、敷均し、締固め、養生、打継面処理までを含む。 2. 混合材料量は、締固め状態における量で表示する。 3. 養生は、施工箇所をシートで覆うことを標準とするが、これにより難しい場合は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. 打継面処理は、打継面の清掃のみを標準とし、セメント散布が必要な場合は、材料費を別途計上する。</p> <p>3-7-4 諸雑費 諸雑費は、タンバ及びランマの運転経費及び養生の材料費、打継面処理の労務に関する費用であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">5(4)</td> </tr> </table> <p>(注) 施工箇所をシートで覆う養生が不要な場合は（ ）内の数値を使用する。</p> <p>4. 材料使用量 4-1 セメント使用量 セメントの使用量は次式による。 使用量(t)=設計量(t)×(1+K) ……式 4.1 K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> </table>	日 当 り 施 工 量	128	諸 雑 費 率	5(4)	ロ ス 率	+0.06	<p>現行どおり</p>	
日 当 り 施 工 量	128								
諸 雑 費 率	5(4)								
ロ ス 率	+0.06								

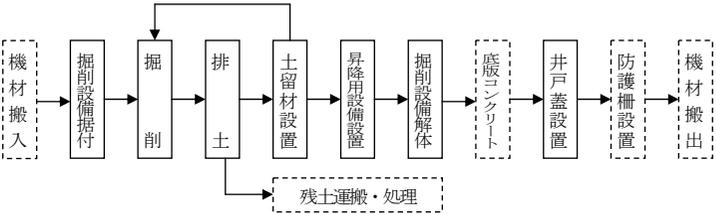
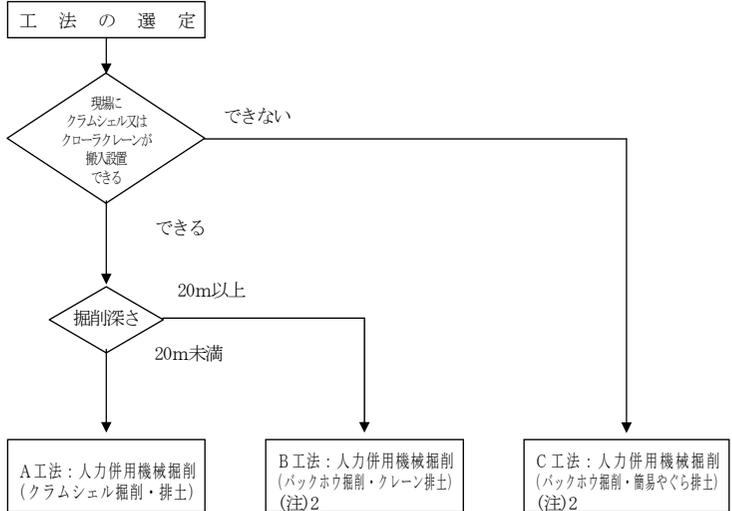
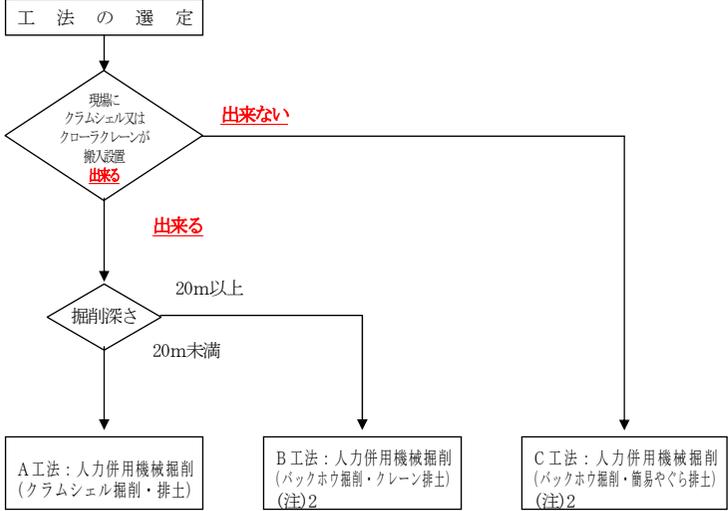
一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																														
標準歩掛 P464	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 粒径処理 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>(2) 攪拌混合 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m³ (平積0.6m³) 吊能 力2.9 t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セ メ ン ト</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>(3) 混合材料敷均し・締固め 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.10</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4 t</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m³/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.2	普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	1×100/D		諸 雑 費		式	1	表3.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.6	特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能 力2.9 t	日	1×100/D		セ メ ン ト		t		式4.1	諸 雑 費		式	1	表3.8	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.10	特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	1×100/D		振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4 t	〃	1×100/D		諸 雑 費		式	1	表3.12	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	1×100/D	表3.2																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	1×100/D																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	1×100/D	表3.6																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	1×100/D	〃																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能 力2.9 t	日	1×100/D																																																																																																														
セ メ ン ト		t		式4.1																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.8																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	1×100/D	表3.10																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	1×100/D																																																																																																														
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4 t	〃	1×100/D																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.12																																																																																																													
計																																																																																																																	

一部改正工種
砂防工（砂防ソイルセメント工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要		
標準歩掛 P464	(4) 機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適用単価表		指 定 事 項
	バックホウ (粒 径 処 理)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→ 1.71
	バックホウ (攪 拌 混 合)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9 t	機-18		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→116 機械損料数量→ 1.71
	バックホウ (敷 均 し)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 22 賃料数量→ 1.52
振 動 ロ ー ラ (締 固 め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3～4 t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 10 賃料数量→ 1.45		
		現行どおり			

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
<p>標準歩掛 P465</p>	<p>10章 地すべり防止工 ① 地すべり防止工 1. 集水井工 1-1 適用範囲 本資料は、人力併用機械掘削、ライナープレート土留工法による径3.5mで深さ40mまでの集水井工に適用する。 なお、径はライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とする。</p> <p>1-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 1-1 施工フロー</p> <p>1-3 工法の選定 工法の選定は、図1-1による。</p>  <p>(注) 1. 現場条件等により上図により難しい場合は、別途考慮する。 2. 全掘削深をB工法又はC工法で施工する。</p> <p>図 1-2 工法の選定</p>	<p>現行どおり</p> <p>1-3 工法の選定 工法の選定は、<u>下表を標準とする。</u></p>  <p>(注) 1. 現場条件等により上図により難しい場合は、別途考慮する。 2. 全掘削深をB工法又はC工法で施工する。</p> <p>図 1-2 工法の選定</p>	

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																									
標準歩掛 P466	<p>1-4 機種を選定</p> <p>1-4-1 掘削土留作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th colspan="3">工 法</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び土</td> <td>クラムシェル</td> <td>油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型平積0.4m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排土及び土留材・機材の吊込み</td> <td>クローラクレーン</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>簡易やぐら</td> <td>鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘削</td> <td>小型バックホウ</td> <td>電動式・クローラ型山積0.022m³(平積0.015m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の機械は、掘削土を集水井の井戸脇に仮置きする場合である。 2. クラムシェル及びクローラクレーンは、賃料とする。</p> <p>1-4-2 土留材 土留材は、ライナープレートとし、使用規格は、土圧計算等によって決定する。</p> <p>1-5 編成人員 掘削土留作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">A・B・C工法</th> <th>世話役</th> <th>トンネル特殊工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-6 施工歩掛</p> <p>1-6-1 集水井1基当り施工日数</p> <p>掘削土留作業1基当り施工歩掛は次式とする。なお、土留材(ライナープレート、補強材等)及び工事用昇降梯子、安全ネットの取付けを含む歩掛である。</p> $D = \frac{\ell_1}{d_1} + \frac{\ell_2}{d_2} \dots\dots\dots \text{式 1.1}$ <p>D: 集水井1基当り施工日数(日/基) d₁: 砂・砂質土、粘性土、レキ質土の日掘削量 (m/日) d₂: 岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩の日掘削量 (m/日) ℓ₁: 砂・砂質土、粘性土、レキ質土の掘削延長 (m) ℓ₂: 岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩の掘削延長 (m) (注) 岩掘削で火薬等を使用する場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	工 法			摘 要	A	B	C	掘削及び土	クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型平積0.4m ³	台	1	○				排土及び土留材・機材の吊込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	1	○	○			簡易やぐら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	〃	1			○		掘削	小型バックホウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	〃	1		○	○		A・B・C工法	世話役	トンネル特殊工	特殊作業員	普通作業員		1	3	1	1	現行どおり	
作業種別	機 械 名						規 格	単位	数量		工 法			摘 要																																														
		A	B	C																																																								
掘削及び土	クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型平積0.4m ³	台	1	○																																																							
排土及び土留材・機材の吊込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	1	○	○																																																						
	簡易やぐら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	〃	1			○																																																					
掘削	小型バックホウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	〃	1		○	○																																																					
A・B・C工法	世話役	トンネル特殊工	特殊作業員	普通作業員																																																								
		1	3	1	1																																																							

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																						
標準歩掛 P466	<p>(1) 掘削1日当り施工量 (d_n) 掘削1日当り施工量は、次表とする。</p> <p>表1.3 掘削1日当り施工量 d_n (m/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">土 質</th> <th colspan="4">掘削深さ</th> </tr> <tr> <th>10未満</th> <th>10以上～ 20未満</th> <th>20以上～ 30未満</th> <th>30以上～ 40以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td>2.55</td> <td>2.30</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td>1.55</td> <td>1.38</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td colspan="2">—</td> <td>1.10</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td colspan="2">—</td> <td>0.66</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td>1.54</td> <td>1.26</td> <td>0.99</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td>0.92</td> <td>0.76</td> <td>0.59</td> <td>0.43</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 日掘削量の算出における掘削深さは、全土質の総掘削延長とする。</p>	工法	土 質	掘削深さ				10未満	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 40以下	A工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	2.55	2.30	—		岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	1.55	1.38	—		B工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	—		1.10	0.99	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	—		0.66	0.59	C工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	1.54	1.26	0.99	0.72	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	0.92	0.76	0.59	0.43	<p>(1) 掘削日当り施工量 (d_n) 掘削日当り施工量は、次表とする。</p> <p>表1.3 掘削日当り施工量 d_n (m/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">土 質</th> <th colspan="4">掘削深さ</th> </tr> <tr> <th>10未満</th> <th>10以上～ 20未満</th> <th>20以上～ 30未満</th> <th>30以上～ 40以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td>2.55</td> <td>2.30</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td>1.55</td> <td>1.38</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td colspan="2">—</td> <td>1.10</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td colspan="2">—</td> <td>0.66</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C工法</td> <td>砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)</td> <td>1.54</td> <td>1.26</td> <td>0.99</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)</td> <td>0.92</td> <td>0.76</td> <td>0.59</td> <td>0.43</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 日掘削量の算出における掘削深さは、全土質の総掘削延長とする。</p>	工法	土 質	掘削深さ				10未満	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 40以下	A工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	2.55	2.30	—		岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	1.55	1.38	—		B工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	—		1.10	0.99	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	—		0.66	0.59	C工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	1.54	1.26	0.99	0.72	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	0.92	0.76	0.59	0.43	
工法	土 質			掘削深さ																																																																																					
		10未満	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 40以下																																																																																				
A工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	2.55	2.30	—																																																																																					
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	1.55	1.38	—																																																																																					
B工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	—		1.10	0.99																																																																																				
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	—		0.66	0.59																																																																																				
C工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	1.54	1.26	0.99	0.72																																																																																				
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	0.92	0.76	0.59	0.43																																																																																				
工法	土 質	掘削深さ																																																																																							
		10未満	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 40以下																																																																																				
A工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	2.55	2.30	—																																																																																					
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	1.55	1.38	—																																																																																					
B工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	—		1.10	0.99																																																																																				
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	—		0.66	0.59																																																																																				
C工法	砂・砂質土、粘性土、レキ質土 (d_1)	1.54	1.26	0.99	0.72																																																																																				
	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩 (d_2)	0.92	0.76	0.59	0.43																																																																																				
標準歩掛 P467	<p>(2) 諸雑費 諸雑費は、ファン（軸流式）、水中ポンプ、ビックハンマ、コンクリートブレーカ、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値）・運転経費及び排土バケット、工事用昇降梯子、安全ネット、電力に関する経費であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、水中ポンプの有無に関係なく同率とする。</p> <p>表1.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>1-6-2 コンクリート工 底版コンクリート及び固定基礎コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>1-6-3 井戸蓋工 1-6-3-1 機種を選定 井戸蓋工に使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p>表1.5 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) クローラクレーンは、賃料とする。</p>	諸 雑 費 率	14	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	台	1		<p>現行どおり</p>																																																																											
諸 雑 費 率	14																																																																																								
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																					
クローラクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	台	1																																																																																						

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																						
標準歩掛 P467	<p>1-6-3-2 編成人員 井戸蓋工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-6-3-3 日当り施工量 井戸蓋工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.7 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>井 戸 蓋 設 置</td> <td>基</td> <td style="text-align: center;">4.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) コンクリート製蓋及び鉄網製蓋に適用する。</p> <p>1-6-4 昇降用設備設置工 1-6-4-1 機種を選定 昇降用設備設置工に使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.8 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td style="text-align: center;">台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) クローラクレーンは、賃料とする。</p>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	2	1	名 称	単 位	数 量	井 戸 蓋 設 置	基	4.5	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	台	1		<p>現行どおり</p>	
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																							
1	2	1																							
名 称	単 位	数 量																							
井 戸 蓋 設 置	基	4.5																							
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																					
クローラクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） ・油圧伸縮ジブ型4.9t吊	台	1																						

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																								
標準歩掛 P468	<p>1-6-4-2 編成人員 昇降用設備設置工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.9 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-6-4-3 日当り施工量 昇降用設備設置工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.10 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昇 降 用 設 備</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 螺旋型梯子及び直梯子に適用する。</p> <p>1-6-4-4 諸雑費 諸雑費は、ファン（軸流式）の運転経費、電力に関する経費であり、労務費と機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.11 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-6-5 掘削作業設備の据付・解体 1-6-5-1 機種を選定 簡易やぐらの据付・解体に使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.12 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付2 t積2.9 t吊</td> <td style="text-align: center;">台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	2	1	名 称	単 位	数 量	昇 降 用 設 備	m	18	諸 雑 費 率	5	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ト ラ ッ ク	クレーン装置付2 t積2.9 t吊	台	1		<p>現行どおり</p>	
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																									
1	2	1																									
名 称	単 位	数 量																									
昇 降 用 設 備	m	18																									
諸 雑 費 率	5																										
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																							
ト ラ ッ ク	クレーン装置付2 t積2.9 t吊	台	1																								

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																	
標準歩掛 P468	<p>1-6-5-2 編成人員 簡易やぐらの据付・解体作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.13 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">世 話 役</td> <td style="text-align: center;">特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table> <p>1-6-5-3 日当り施工量 簡易やぐらの据付・解体日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.14 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">名 称</td> <td style="text-align: center;">単 位</td> <td style="text-align: center;">数 量</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">掘削作業設備の据付・解体</td> <td style="text-align: center;">基</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> </table> <p>(注) 据付及び解体を含めた日当り施工量である。</p>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	2	1	名 称	単 位	数 量	掘削作業設備の据付・解体	基	1.7	<p>現行どおり</p>																																						
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																		
1	2	1																																																		
名 称	単 位	数 量																																																		
掘削作業設備の据付・解体	基	1.7																																																		
標準歩掛 P469	<p>1-7 内訳書、単価表 (1) 集水井（ライナープレート土留壁）1基当り内訳書</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削土留</td> <td></td> <td>基</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>単価表(2)</td> </tr> <tr> <td>底版コンクリート工</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>井戸蓋工</td> <td></td> <td>基</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>単価表(3)</td> </tr> <tr> <td>昇降用設備工</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>〃 (4)</td> </tr> <tr> <td>掘削作業設備据付・解体工</td> <td>簡易やぐら</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>※C工法のみ計上 単価表(5)</td> </tr> <tr> <td>土留材</td> <td>ライナープレート、補強材等</td> <td>t又はm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>井戸蓋材</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昇降用設備材</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘削土留		基	1	単価表(2)	底版コンクリート工		m ³			井戸蓋工		基	1	単価表(3)	昇降用設備工		m		〃 (4)	掘削作業設備据付・解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上 単価表(5)	土留材	ライナープレート、補強材等	t又はm			井戸蓋材		式	1		昇降用設備材		〃	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																
掘削土留		基	1	単価表(2)																																																
底版コンクリート工		m ³																																																		
井戸蓋工		基	1	単価表(3)																																																
昇降用設備工		m		〃 (4)																																																
掘削作業設備据付・解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上 単価表(5)																																																
土留材	ライナープレート、補強材等	t又はm																																																		
井戸蓋材		式	1																																																	
昇降用設備材		〃	1																																																	
計																																																				

一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																
標準歩掛 P469	<p>(2) 掘削土留1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×D</td> <td rowspan="4">表1.2, 式1.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×D</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×D</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×D</td> </tr> <tr> <td>クラムシエル運転</td> <td>油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m³</td> <td>日</td> <td>D</td> <td>式1.1※A工法のみ計上</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>〃</td> <td>D</td> <td>式1.1※A・B工法のみ計上</td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ運転</td> <td>電動式クローラ型山積0.022m³ （平積0.015m³）</td> <td>〃</td> <td>D</td> <td>式1.1※B・C工法のみ計上</td> </tr> <tr> <td>簡易やぐら損料</td> <td>鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊モータウインチ付</td> <td>〃</td> <td>D</td> <td>式1.1※C工法のみ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：集水井1基当り施工日数（日/基）</p> <p>(3) 井戸蓋1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×1/D</td> <td rowspan="3">表1.6</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×1/D</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×1/D</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>1×1/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日施工量（基/日）</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×D	表1.2, 式1.1	トンネル特殊工		〃	3×D	特殊作業員		〃	1×D	普通作業員		〃	1×D	クラムシエル運転	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	日	D	式1.1※A工法のみ計上	クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	D	式1.1※A・B工法のみ計上	小型バックホウ運転	電動式クローラ型山積0.022m ³ （平積0.015m ³ ）	〃	D	式1.1※B・C工法のみ計上	簡易やぐら損料	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊モータウインチ付	〃	D	式1.1※C工法のみ計上	諸 雑 費		式	1	表1.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×1/D	表1.6	特殊作業員		〃	2×1/D	普通作業員		〃	1×1/D	クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×1/D		計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
世 話 役		人	1×D	表1.2, 式1.1																																																																															
トンネル特殊工		〃	3×D																																																																																
特殊作業員		〃	1×D																																																																																
普通作業員		〃	1×D																																																																																
クラムシエル運転	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	日	D	式1.1※A工法のみ計上																																																																															
クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	D	式1.1※A・B工法のみ計上																																																																															
小型バックホウ運転	電動式クローラ型山積0.022m ³ （平積0.015m ³ ）	〃	D	式1.1※B・C工法のみ計上																																																																															
簡易やぐら損料	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊モータウインチ付	〃	D	式1.1※C工法のみ計上																																																																															
諸 雑 費		式	1	表1.4																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
世 話 役		人	1×1/D	表1.6																																																																															
特殊作業員		〃	2×1/D																																																																																
普通作業員		〃	1×1/D																																																																																
クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×1/D																																																																																
計																																																																																			

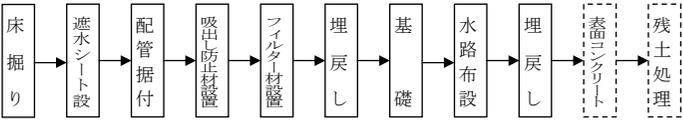
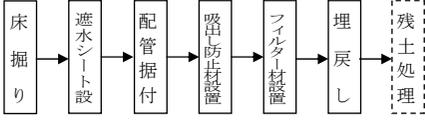
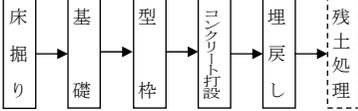
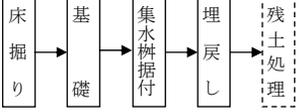
一部改正工種
地すべり防止工（集水井工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																	
標準歩掛 P469	<p>(4) 昇降用設備設置10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td rowspan="3">表1.9</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日施工量（m/日）</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表1.9	特 殊 作 業 員		〃	2×10/D	普 通 作 業 員		〃	1×10/D	クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×10/D		諸 雑 費		式	1	表1.11	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																
世 話 役		人	1×10/D	表1.9																																
特 殊 作 業 員		〃	2×10/D																																	
普 通 作 業 員		〃	1×10/D																																	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×10/D																																	
諸 雑 費		式	1	表1.11																																
計																																				
標準歩掛 P470	<p>(5) 掘削作業設備据付・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×1/D</td> <td rowspan="3">表1.13</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×1/D</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×1/D</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>クレーン装置付2t積 2.9t吊</td> <td>日</td> <td>1×1/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日施工量（基/日）</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×1/D	表1.13	特 殊 作 業 員		〃	2×1/D	普 通 作 業 員		〃	1×1/D	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付2t積 2.9t吊	日	1×1/D		計											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																
世 話 役		人	1×1/D	表1.13																																
特 殊 作 業 員		〃	2×1/D																																	
普 通 作 業 員		〃	1×1/D																																	
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付2t積 2.9t吊	日	1×1/D																																	
計																																				
	<p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル</td> <td>油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41</td> </tr> <tr> <td>ク ロ ー ラ ク レ ー ン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ</td> <td>電動式・クローラ型山積0.022m³ (平積0.015m³)</td> <td>機-25</td> <td>(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>簡 易 や ぐ ら</td> <td>鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 2t積 2.9t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41	ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47	小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40	簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20											
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																	
ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41																																	
ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47																																	
小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40																																	
簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43																																	
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20																																	

土木工事標準歩掛の一部見直し
地すべり防止工（集排水ボーリング工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																						
標準歩掛 P474	<p>2-3-5 足場工 (1) 足場設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 足場設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th colspan="2">地 表</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>平 地</th> <th>傾 斜 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.7</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>26</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業面の足場幅は、4.5mとする。 2. トラッククレーンの規格は、現場条件にあった規格を別途選定する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	施 工 場 所			地 表		名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地	世 話 役		人	2.4	3.1	と び 工		〃	2.4	3.1	普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊	日	0.3	0.5	諸 雑 費 率		%	26	18	<p>2-3-5 足場工 (1) 足場設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 足場設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th colspan="2">地 表</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>平 地</th> <th>傾 斜 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.7</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>29</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業面の足場幅は、4.5mとする。 2. トラッククレーンの規格は、現場条件にあった規格を別途選定する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	施 工 場 所			地 表		名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地	世 話 役		人	2.4	3.1	と び 工		〃	2.4	3.1	普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊	日	0.3	0.5	諸 雑 費 率		%	29	20	
施 工 場 所			地 表																																																																						
名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地																																																																					
世 話 役		人	2.4	3.1																																																																					
と び 工		〃	2.4	3.1																																																																					
普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2																																																																					
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊	日	0.3	0.5																																																																					
諸 雑 費 率		%	26	18																																																																					
施 工 場 所			地 表																																																																						
名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地																																																																					
世 話 役		人	2.4	3.1																																																																					
と び 工		〃	2.4	3.1																																																																					
普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2																																																																					
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊	日	0.3	0.5																																																																					
諸 雑 費 率		%	29	20																																																																					

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P477	<p>10章 地すべり防止工 ① 地すべり防止工 3. 山腹水路工</p> <p>3-1 適用範囲 本資料は地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設の水路工に適用する。各工種における適用範囲は以下のとおりとする。</p> <p>3-1-1 山腹集水路・排水路工，山腹明暗渠工，山腹暗渠工</p> <p>(1) 機械据付 プレキャストU型側溝の製品質量100kg/個を超え450kg/個以下に適用する。</p> <p>(2) 人力据付 プレキャストU型側溝，コルゲートフレューム，暗渠管の製品質量100kg/個以下に適用する。</p> <p>3-1-2 集水樹工</p> <p>(1) 集水樹設置 内空積1m³/基以下の現場打ち集水樹の設置に適用する。</p> <p>(2) プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹の製品質量150kg/個を超え1,700kg/個以下の機械据付に適用する。</p> <p>3-2 施工概要 施工フローは，下記を標準とする。</p> <p>(1) 山腹集水路・排水路の場合</p>  <p>(2) 山腹明暗渠の場合</p>  <p>(3) 山腹暗渠の場合</p>  <p>(4) 集水樹の場合</p>  <p>(5) プレキャスト集水樹の場合</p>  <p>(注) 本歩掛に対応しているのは，実線部分のみである。</p> <p>図 3-1 施工フロー</p>	<p>現行どおり</p>	

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																				
標準歩掛 P478	<p>3-3 機種を選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び据付け</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³）吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 材 運 搬</td> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p>3-4 編 成 人 員 山腹水路工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山腹集水路・排水路工 山腹明暗渠工 山腹暗渠工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 施 工 歩 掛 3-5-1 山腹集水路・排水路工 3-5-1-1 山腹U型側溝（機械据付）歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積 (m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を超え 1.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td style="text-align: center;">14.7</td> <td style="text-align: center;">10.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合には、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 70%;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力2.9t	台	1		資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	〃	1	必要に応じて計上	工 種	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	山腹集水路・排水路工 山腹明暗渠工 山腹暗渠工	1	1	2	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	日当り施工量	14.7	10.4	諸 雑 費 率	0.4	<p>3-3 機種を選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び据付け</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³）吊能力1.7t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 材 運 搬</td> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力 1.7t	台	1		資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	〃	1	必要に応じて計上	摘 要
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																		
掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力2.9t	台	1																																																			
資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	〃	1	必要に応じて計上																																																		
工 種	世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																				
山腹集水路・排水路工 山腹明暗渠工 山腹暗渠工	1	1	2																																																				
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下																																																					
日当り施工量	14.7	10.4																																																					
諸 雑 費 率	0.4																																																						
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																		
掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力 1.7t	台	1																																																			
資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	〃	1	必要に応じて計上																																																		

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																		
標準歩掛 P479	<p>3-5-1-2 山腹U型側溝（人力据付）歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="text-align: center;">0.5m²以下</td> <td style="text-align: center;">0.5を超え 1.0m²以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日当り施工量</td> <td style="text-align: center;">15.1</td> <td style="text-align: center;">13.3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> </table> <p>3-5-1-3 山腹コルゲートフリューム歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="text-align: center;">0.5m²以下</td> <td style="text-align: center;">0.5を超え 1.0m²以下</td> <td style="text-align: center;">1.0を超え 2.0m²以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日当り施工量</td> <td style="text-align: center;">24.3</td> <td style="text-align: center;">19.1</td> <td style="text-align: center;">14.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. ポリエチレン製角型U字溝据付の場合も本歩掛を適用できる。 4. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.8 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> </tr> </table>	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	日当り施工量	15.1	13.3	諸 雑 費 率	0.4	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	日当り施工量	24.3	19.1	14.1	諸 雑 費 率	0.3	<p>現行どおり</p>	
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下																			
日当り施工量	15.1	13.3																			
諸 雑 費 率	0.4																				
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下																		
日当り施工量	24.3	19.1	14.1																		
諸 雑 費 率	0.3																				

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																												
<p>標準歩掛 P479</p> <p>標準歩掛 P480</p>	<p>3-5-2 山腹明暗渠 3-5-2-1 山腹U型側溝明暗渠（機械掘付）歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="width: 15%;">0.5m²以下</td> <td style="width: 15%;">0.5を超え 1.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">1.0を超え 2.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">2.0を超え 3.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">3.0を超え 4.0m²以下</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>12.4</td> <td>9.4</td> <td>7.0</td> <td>5.2</td> <td>4.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 70%;">諸 雑 費 率</td> <td style="width: 30%;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p> <p>3-5-2-2 山腹U型側溝明暗渠（人力掘付）歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="width: 15%;">0.5m²以下</td> <td style="width: 15%;">0.5を超え 1.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">1.0を超え 2.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">2.0を超え 3.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">3.0を超え 4.0m²以下</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>12.5</td> <td>11.0</td> <td>9.4</td> <td>7.6</td> <td>5.9</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 70%;">諸 雑 費 率</td> <td style="width: 30%;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p>	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下	日当り施工量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1	諸 雑 費 率	4	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下	日当り施工量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9	諸 雑 費 率	4	<p>現行どおり</p>	
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下																										
日当り施工量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1																										
諸 雑 費 率	4																														
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下																										
日当り施工量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9																										
諸 雑 費 率	4																														

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要														
標準歩掛 P480	<p>3-5-2-3 山腹コルゲートフリーム明暗渠歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="width: 15%;">0.5m²以下</td> <td style="width: 15%;">0.5を超え 1.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">1.0を超え 2.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">2.0を超え 3.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">3.0を超え 4.0m²以下</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>20.0</td> <td>17.3</td> <td>12.4</td> <td>8.8</td> <td>6.8</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. ポリエチレン製角型U字溝据付の場合も本歩掛を適用できる。 4. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運搬経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 60%;">諸 雑 費 率</td> <td style="width: 40%;">6</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p>	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下	日当り施工量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8	諸 雑 費 率	6	<p>現行どおり</p>	
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下												
日当り施工量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8												
諸 雑 費 率	6																
標準歩掛 P481	<p>3-5-3 山腹暗渠工 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘削断面積 (m²)</td> <td style="width: 15%;">0.5m²以下</td> <td style="width: 15%;">0.5を超え 1.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">1.0を超え 2.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">2.0を超え 3.0m²以下</td> <td style="width: 15%;">3.0を超え 4.0m²以下</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>23.9</td> <td>19.6</td> <td>15.5</td> <td>12.1</td> <td>9.9</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運搬経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.16 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 60%;">諸 雑 費 率</td> <td style="width: 40%;">6</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p>	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下	日当り施工量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9	諸 雑 費 率	6		
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	1.0を超え 2.0m ² 以下	2.0を超え 3.0m ² 以下	3.0を超え 4.0m ² 以下												
日当り施工量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9												
諸 雑 費 率	6																

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																												
標準歩掛 P481	<p>3-5-4 集水樹工 3-5-4-1 集水樹設置歩掛 集水樹設置の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 集水樹設置歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">内 空 積</th> <th>0.4 m³以下</th> <th>0.4を超え 0.8 m³以下</th> <th>0.8を超え 1.0 m³以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³） 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械、締固め機械に要する費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運搬経費の合計額を上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。 6. 養生工が必要な場合は別途計上する。</p>	内 空 積			0.4 m ³ 以下	0.4を超え 0.8 m ³ 以下	0.8を超え 1.0 m ³ 以下	摘 要	名 称	規 格	単位				世 話 役		人	0.7	0.8	1.0		特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4		型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4		バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力2.9t	h	3.4	4.2	4.8		不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	7				<p>3-5-4 集水樹工 3-5-4-1 集水樹設置歩掛 集水樹設置の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 集水樹設置歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">内 空 積</th> <th>0.4 m³以下</th> <th>0.4を超え 0.8 m³以下</th> <th>0.8を超え 1.0 m³以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³） 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械、締固め機械に要する費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運搬経費の合計額を上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。 6. 養生工が必要な場合は別途計上する。</p>	内 空 積			0.4 m ³ 以下	0.4を超え 0.8 m ³ 以下	0.8を超え 1.0 m ³ 以下	摘 要	名 称	規 格	単位				世 話 役		人	0.7	0.8	1.0		特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4		型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4		バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力 1.7t	h	3.4	4.2	4.8		不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	7				
内 空 積			0.4 m ³ 以下	0.4を超え 0.8 m ³ 以下	0.8を超え 1.0 m ³ 以下	摘 要																																																																																																																									
名 称	規 格	単位																																																																																																																													
世 話 役		人	0.7	0.8	1.0																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4																																																																																																																										
型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4																																																																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力2.9t	h	3.4	4.2	4.8																																																																																																																										
不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	7																																																																																																																												
内 空 積			0.4 m ³ 以下	0.4を超え 0.8 m ³ 以下	0.8を超え 1.0 m ³ 以下	摘 要																																																																																																																									
名 称	規 格	単位																																																																																																																													
世 話 役		人	0.7	0.8	1.0																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4																																																																																																																										
型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4																																																																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力 1.7t	h	3.4	4.2	4.8																																																																																																																										
不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	7																																																																																																																												
標準歩掛 P482	<p>3-5-4-2 プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 集水樹据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">集 水 樹 製 品 質 量</th> <th>150を超え 500 kg以下</th> <th>500を超え 1000 kg以下</th> <th>1000を超え 1500 kg以下</th> <th>1500を超え 1700 kg以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³） 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	集 水 樹 製 品 質 量			150を超え 500 kg以下	500を超え 1000 kg以下	1000を超え 1500 kg以下	1500を超え 1700 kg以下	摘 要	名 称	規 格	単位					世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3		特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4		普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6		バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力2.9t	h	2.2	2.7	3.2	3.5		不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	0.5				<p>3-5-4-2 プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 集水樹据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">集 水 樹 製 品 質 量</th> <th>150を超え 500 kg以下</th> <th>500を超え 1000 kg以下</th> <th>1000を超え 1500 kg以下</th> <th>1500を超え 1700 kg以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³） 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	集 水 樹 製 品 質 量			150を超え 500 kg以下	500を超え 1000 kg以下	1000を超え 1500 kg以下	1500を超え 1700 kg以下	摘 要	名 称	規 格	単位					世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3		特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4		普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6		バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力 1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5		不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	0.5						
集 水 樹 製 品 質 量			150を超え 500 kg以下	500を超え 1000 kg以下	1000を超え 1500 kg以下	1500を超え 1700 kg以下	摘 要																																																																																																																								
名 称	規 格	単位																																																																																																																													
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6																																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力2.9t	h	2.2	2.7	3.2	3.5																																																																																																																									
不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧ダンブ式クローラ型2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	0.5																																																																																																																												
集 水 樹 製 品 質 量			150を超え 500 kg以下	500を超え 1000 kg以下	1000を超え 1500 kg以下	1500を超え 1700 kg以下	摘 要																																																																																																																								
名 称	規 格	単位																																																																																																																													
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6																																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 吊能力 1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5																																																																																																																									
不整地運搬車運転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンブ式 2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	0.5																																																																																																																												

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																														
標準歩掛 P482	<p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50mを超え 200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。</p> <p>2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。</p> <p>3. 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>5. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p>3-6 材料使用量</p> <p>3-6-1 遮水シート、吸出し防止材使用量 遮水シート、吸出し防止材使用量は、次式による。 使用量 (m) = 設計量 (m) × (1+K)</p> <p style="text-align: center;">表 3.19 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>遮 水 シ ー ト</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.10</td> <td>+0.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6-2 砕石使用量 埋戻し、基礎、フィルター材等に使用する砕石の使用量は、次式による。 使用量 (m) = 設計量 (m) × (1+K)</p> <p style="text-align: center;">表 3.20 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>砕 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.20</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材	ロ ス 率	+0.10	+0.10	材 料 名	砕 石	ロ ス 率	+0.20	<p>現行どおり</p>																																																																																																					
材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材																																																																																																															
ロ ス 率	+0.10	+0.10																																																																																																															
材 料 名	砕 石																																																																																																																
ロ ス 率	+0.20																																																																																																																
標準歩掛 P483	<p>3-7 単 価 表</p> <p>(1) 山腹U形側溝 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油王ダンプ式・クローラ型 5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4, 表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油王ダンプ式・クローラ型 5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6	計					<p>3-7 単 価 表</p> <p>(1) 山腹U形側溝 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 L7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4, 表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 L7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																													
U 形 側 溝		個																																																																																																															
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																															
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 2.9t	日	1×10/D																																																																																																														
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油王ダンプ式・クローラ型 5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																													
U 形 側 溝		個																																																																																																															
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																															
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機附 山積 28m(平積 2m)吊能力 L7t	日	1×10/D																																																																																																														
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6																																																																																																													
計																																																																																																																	

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要								
標準歩掛 P483	(2) 山腹コルゲートフリューム10m当り単価表					(2) 山腹コルゲートフリューム10m当り単価表					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	
	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	
	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	
	コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			
	コンクリート		m ³			コンクリート		m ³			
	砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	
	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D		バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D		
	不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	〃		必要に応じて計上	不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	〃		必要に応じて計上	
諸 雑 費		式	1	表3.8	諸 雑 費		式	1	表3.8		
計					計						
	(注) D:日当り施工量(m/日)					(注) D:日当り施工量(m/日)					
標準歩掛 P484	(3) 山腹U型側溝明暗渠10m当り単価表					(3) 山腹U型側溝明暗渠10m当り単価表					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	
	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	
	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	
	U 形 側 溝		個			U 形 側 溝		個			
	暗 渠 管		m又は本			暗 渠 管		m又は本			
	コンクリート		m ³			コンクリート		m ³			
	砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	
	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上		
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D		バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D			
不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型5t積	〃		必要に応じて計上	不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 5t積	〃		必要に応じて計上		
諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12	諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12		
計					計						
	(注) D:日当り施工量(m/日)					(注) D:日当り施工量(m/日)					

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																											
標準歩掛 P484	(4) 山腹コルゲートフリューム明暗渠10m当り単価表	(4) 山腹コルゲートフリューム明暗渠10m当り単価表																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.14	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.14	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.14																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.14																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
標準歩掛 P485	(5) 山腹暗渠管10m当り単価表	(5) 山腹暗渠管10m当り単価表																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.16	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.16	計																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.16																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機 山積0.28m(平積0.2m)吊能力 1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.16																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要		
標準歩掛 P485	(6) 集水桝設置1基当り単価表				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
	世 話 役		人		表3.17
	特 殊 作 業 員		〃		〃
	普 通 作 業 員		〃		〃
	型 枠 工		〃		〃
	コ ン ク リ ー ト		m ³		
	砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)
	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	h		表3.17
	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上
	諸 雑 費		式	1	表3.17
	計				
	(7) プレキャスト集水桝設置1基当り単価表				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
	世 話 役		人		表3.18
	特 殊 作 業 員		〃		〃
	普 通 作 業 員		〃		〃
	集 水 桝		基	1	
	砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)
	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力2.9t	h		表3.18
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	
諸 雑 費		式	1	表3.18	
計					
	(6) 集水桝設置1基当り単価表				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
世 話 役		人		表3.17	
特 殊 作 業 員		〃		〃	
普 通 作 業 員		〃		〃	
型 枠 工		〃		〃	
コ ン ク リ ー ト		m ³			
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.17	
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	
諸 雑 費		式	1	表3.17	
計					
	(7) プレキャスト集水桝設置1基当り単価表				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
世 話 役		人		表3.18	
特 殊 作 業 員		〃		〃	
普 通 作 業 員		〃		〃	
集 水 桝		基	1		
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.18	
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	
諸 雑 費		式	1	表3.18	
計					

一部改正工種
地すべり防止工（山腹水路工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																
標準歩掛 P486	<p style="text-align: center;">(8) 機械運搬単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適用単価表</th> <th style="width: 35%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (集水榭工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m)吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m)吊能力2.9t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56</td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型5t積</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (集水榭工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力2.9t	機-1		バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56	不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66	<p style="text-align: center;">(8) 機械運搬単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適用単価表</th> <th style="width: 35%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (集水榭工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56</td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (集水榭工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力 1.7t	機-1		バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力 1.7t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56	不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																
バックホウ (集水榭工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力2.9t	機-1																																	
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56																																
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧ダンプ式・クローラ型5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66																																
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																
バックホウ (集水榭工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力 1.7t	機-1																																	
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m)吊能力 1.7t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 機械損料数量→1.56																																
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66																																

一部改正工種
地すべり防止工（かご工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																														
<p>標準歩掛 P487</p> <p>10章 地すべり防止工 ① 地すべり防止工 4. かご工 4-1 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における、ふとんかご（階段式、パネル式、高さ40～100cm、幅120cm、200cm）の施工に適用する。 4-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図 4-1 施工フロー</p> <p>4-3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="255 852 1061 995"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>油圧ダンプ式クローラ型2 t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	パ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1		不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式クローラ型2 t積	〃	1	必要に応じて計上	<p>現行どおり</p> <p>4-3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1151 847 1957 991"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>クローラ型・ダンプ式2 t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	パ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1		不 整 地 運 搬 車	クローラ型・ダンプ式 2 t積	〃	1	必要に応じて計上		
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																													
パ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1																														
不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式クローラ型2 t積	〃	1	必要に応じて計上																													
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																													
パ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型山積0.8㎡（平積0.6㎡）	台	1																														
不 整 地 運 搬 車	クローラ型・ダンプ式 2 t積	〃	1	必要に応じて計上																													

一部改正工種
地すべり防止工（かご工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																		
標準歩掛 P487	<p>4-4 施工歩掛 ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">ふとんかご規格</th> <th>高(cm)</th> <th colspan="2">40</th> <th colspan="2">50</th> <th colspan="2">60</th> <th colspan="2">100</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>幅(cm)</th> <th colspan="2">120</th> <th colspan="2">200</th> <th colspan="2">120</th> <th colspan="2">200</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td>4.6</td> <td>5.7</td> <td>9.5</td> <td>6.8</td> <td>11</td> <td>19</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>2.3</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.6</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>3.5</td> <td>2.5</td> <td>4.1</td> <td>7.0</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>h</td> <td>2.3</td> <td>2.9</td> <td>4.8</td> <td>3.4</td> <td>5.5</td> <td>9.6</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.5</td> <td>0.7</td> <td>1.3</td> <td colspan="2">必要に応じて 計上(注)1.</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付・詰石、埋戻し及び平均運搬距離30mまでの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 本歩掛は、階段式にのみ適用し、スロープ式には適用しない。 3. 詰石量は、式4.1にて補正済の数量である。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 吸出し防止材の設置の有無にかかわらず上表を適用することができる。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 6. 不整地運搬車は、賃料とする。</p>	ふとんかご規格		高(cm)	40		50		60		100		摘 要	幅(cm)	120		200		120		200		名 称	規 格	単 位										詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19				世 話 役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3				特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6				普 通 作 業 員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0				バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6				不整地運搬車運転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて 計上(注)1.			<p>4-4 施工歩掛 ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">ふとんかご規格</th> <th>高(cm)</th> <th colspan="2">40</th> <th colspan="2">50</th> <th colspan="2">60</th> <th colspan="2">100</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>幅(cm)</th> <th colspan="2">120</th> <th colspan="2">200</th> <th colspan="2">120</th> <th colspan="2">200</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td>4.6</td> <td>5.7</td> <td>9.5</td> <td>6.8</td> <td>11</td> <td>19</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>2.3</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.6</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>3.5</td> <td>2.5</td> <td>4.1</td> <td>7.0</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>h</td> <td>2.3</td> <td>2.9</td> <td>4.8</td> <td>3.4</td> <td>5.5</td> <td>9.6</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2t積</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.5</td> <td>0.7</td> <td>1.3</td> <td colspan="2">必要に応じて 計上(注)1.</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付・詰石、埋戻し及び平均運搬距離30mまでの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 本歩掛は、階段式にのみ適用し、スロープ式には適用しない。 3. 詰石量は、式4.1にて補正済の数量である。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 吸出し防止材の設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 6. 不整地運搬車は、賃料とする。</p>	ふとんかご規格		高(cm)	40		50		60		100		摘 要	幅(cm)	120		200		120		200		名 称	規 格	単 位										詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19				世 話 役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3				特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6				普 通 作 業 員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0				バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6				不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて 計上(注)1.			
ふとんかご規格				高(cm)	40		50		60		100			摘 要																																																																																																																																																																																																							
		幅(cm)	120		200		120		200																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																																																																																																			
詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0																																																																																																																																																																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6																																																																																																																																																																																																													
不整地運搬車運転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて 計上(注)1.																																																																																																																																																																																																												
ふとんかご規格		高(cm)	40		50		60		100		摘 要																																																																																																																																																																																																										
		幅(cm)	120		200		120		200																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																																																																																																			
詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0																																																																																																																																																																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ・クローラ型 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6																																																																																																																																																																																																													
不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて 計上(注)1.																																																																																																																																																																																																												
標準歩掛 P488	<p>4-5 材料使用量 詰石材、吸出し防止材の使用量は、次式による。 詰石材の使用数量 (m³) =かご容積 (m³) × (1+K) …式4.1 吸出し防止材の使用量 (m²) =設計数量 (m²) × (1+K) …式4.2 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.3 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>詰 石 材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>-0.05</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	詰 石 材	吸出し防止材	ロ ス 率	-0.05	+0.07	<p>4-5 材料使用量 詰石材、吸出し防止材の使用量は、次式による。 詰石材の使用数量 (m³) =かご容積 (m³) × (1+K) …式4.1 吸出し防止材の使用量 (m²) =設計数量 (m²) × (1+K) …式4.2 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.3 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>詰 石 材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>-0.05</td> <td>+0.07</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	詰 石 材	吸出し防止材	ロ ス 率	-0.05	+0.07																																																																																																																																																																																																							
名 称	詰 石 材	吸出し防止材																																																																																																																																																																																																																			
ロ ス 率	-0.05	+0.07																																																																																																																																																																																																																			
名 称	詰 石 材	吸出し防止材																																																																																																																																																																																																																			
ロ ス 率	-0.05	+0.07																																																																																																																																																																																																																			

一部改正工種
地すべり防止工（かご工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																														
標準歩掛 P488	4-6 単価表 (1) ふとんかご10m当り単価表	4-6 単価表 (1) ふとんかご10m当り単価表																																																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ふ と ん か ご</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>パネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>必要に応じて計上 式4.2</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2 t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ふ と ん か ご		m	10	パネル式とする	詰 石		m ³		表4.2	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		必要に応じて計上 式4.2	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	h		表4.2	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2 t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ふ と ん か ご</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>パネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>必要に応じて計上 式4.2</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2 t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ふ と ん か ご		m	10	パネル式とする	詰 石		m ³		表4.2	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		必要に応じて計上 式4.2	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	h		表4.2	不 整 地 運 搬 車 運 転	クローラ型・ダンプ式 2 t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1		計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
	世 話 役		人		表4.2																																																																																																												
	特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																												
	普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																												
	ふ と ん か ご		m	10	パネル式とする																																																																																																												
	詰 石		m ³		表4.2																																																																																																												
	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		必要に応じて計上 式4.2																																																																																																												
	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	h		表4.2																																																																																																												
	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2 t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																												
	諸 雑 費		式	1																																																																																																													
	計																																																																																																																
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
	世 話 役		人		表4.2																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
ふ と ん か ご		m	10	パネル式とする																																																																																																													
詰 石		m ³		表4.2																																																																																																													
吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		必要に応じて計上 式4.2																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	h		表4.2																																																																																																													
不 整 地 運 搬 車 運 転	クローラ型・ダンプ式 2 t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																														
計																																																																																																																	
	(2) 機械運転単価表	(2) 機械運転単価表																																																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2 t積</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	機-1		不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式 クローラ型2 t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2 t積</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	機-1		不 整 地 運 搬 車	クローラ型・ダンプ式 2 t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																														
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	機-1																																																																																																															
不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式 クローラ型2 t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																														
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） ・クローラ型 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	機-1																																																																																																															
不 整 地 運 搬 車	クローラ型・ダンプ式 2 t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.0 賃料数量→1.71																																																																																																														

とりまとめ工種（最終整備）
路盤工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																				
<p>標準歩掛 p.493</p>	<p>① 路盤工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工に適用する。 また、一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmまでとする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="414 438 869 630" style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機材搬入] --> B[不陸修正] B --> C[下層路盤工] C --> D[不陸修正] D --> E[上層路盤工] E --> F[機材搬出] </pre> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 不陸修正は、必要に応じて計上する。 3. 下層路盤工は、凍上抑制層の施工にも適用する。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 機種を選定 不陸修正及び路盤工における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="264 885 1037 1152"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">車道施工</td> <td rowspan="3">不陸修正 及び路盤工</td> <td>モータグレーダ</td> <td>3.1m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>歩道施工</td> <td>路盤工</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現道における車道での情報ボックス工事及びこれに類する工事は、歩道施工を適用する。</p> <p>3-2 日当り施工量 不陸修正及び路盤工における日当り施工量は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日当り施工量 (1日・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 1332 969 1505"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>工 種</th> <th>単位</th> <th>日当り施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車道施工</td> <td>不陸修正</td> <td>m²</td> <td>1,580</td> </tr> <tr> <td>路盤工</td> <td>〃</td> <td>1,110</td> </tr> <tr> <td>歩道施工</td> <td>路盤工</td> <td>〃</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	車道施工	不陸修正 及び路盤工	モータグレーダ	3.1m	台	1	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	1	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1	歩道施工	路盤工	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	1	施工区分	工 種	単位	日当り施工量	車道施工	不陸修正	m ²	1,580	路盤工	〃	1,110	歩道施工	路盤工	〃	180	<p style="text-align: center;">現行とおり</p> <p style="text-align: right;">表3.1 機種を選定 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1160 837 1933 1173"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">車道施工</td> <td rowspan="3">不陸修正 及び路盤工</td> <td>モータグレーダ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩道施工</td> <td rowspan="2">路盤工</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 1.6m³(1.1m³)(平積0.08m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現道における車道での情報ボックス工事及びこれに類する工事は、歩道施工を適用する。 2. <u>振動ローラ及び小型バックホウは賃料とする。</u></p> <p style="text-align: right;">表3.2 日当り施工量 (1日・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="1227 1316 1865 1489"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>工 種</th> <th>単位</th> <th>日当り施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車道施工</td> <td>不陸修正</td> <td>m²</td> <td>1,580</td> </tr> <tr> <td>路盤工</td> <td>〃</td> <td>1,110</td> </tr> <tr> <td>歩道施工</td> <td>路盤工</td> <td>〃</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	車道施工	不陸修正 及び路盤工	モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m	台	1	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	1	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1	歩道施工	路盤工	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	1	小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 1.6m ³ (1.1m ³)(平積0.08m ³)	〃	1	施工区分	工 種	単位	日当り施工量	車道施工	不陸修正	m ²	1,580	路盤工	〃	1,110	歩道施工	路盤工	〃	268	
作業種別	機械名	規 格	単位	数量																																																																																			
車道施工	不陸修正 及び路盤工	モータグレーダ	3.1m	台	1																																																																																		
		ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	1																																																																																		
		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1																																																																																		
歩道施工	路盤工	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	1																																																																																		
施工区分	工 種	単位	日当り施工量																																																																																				
車道施工	不陸修正	m ²	1,580																																																																																				
	路盤工	〃	1,110																																																																																				
歩道施工	路盤工	〃	180																																																																																				
作業種別	機械名	規 格	単位	数量																																																																																			
車道施工	不陸修正 及び路盤工	モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m	台	1																																																																																		
		ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	1																																																																																		
		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1																																																																																		
歩道施工	路盤工	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	1																																																																																		
		小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 1.6m ³ (1.1m ³)(平積0.08m ³)	〃	1																																																																																		
施工区分	工 種	単位	日当り施工量																																																																																				
車道施工	不陸修正	m ²	1,580																																																																																				
	路盤工	〃	1,110																																																																																				
歩道施工	路盤工	〃	268																																																																																				

とりまとめ工種（最終整備）
路盤工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																	
標準歩掛 p. 494	<p>3-3 労務歩掛 不陸整正及び路盤工における労務歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 労務歩掛 (100m²・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="250 331 1048 502"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>工 種</th> <th>単位</th> <th>普通作業員</th> <th>特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車 道 施 工</td> <td>不 陸 整 正</td> <td>人</td> <td>0.14</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>路 盤 工</td> <td>〃</td> <td>0.24</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歩 道 施 工</td> <td>路 盤 工</td> <td>〃</td> <td>1.77</td> <td>0.56</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通作業員は、車道における施工機械の補助的な作業及び歩道における路盤材の敷均し作業を行う。 2. 特殊作業員は、歩道における締め作業の補助的な作業（タンバ）を行う。</p> <p>3-4 諸雑費 諸雑費は、路盤工での散水及び歩道施工における補助機械に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、不陸整正には計上しない。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 諸 雑 費 率</p> <table border="1" data-bbox="394 774 907 903"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>単位</th> <th>諸雑费率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車 道 施 工</td> <td>%</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>歩 道 施 工</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 路盤材料の使用量 路盤材料の使用量は、次式による。 使用量 (m³) = 設計量 (m³) × (1+K) ……式4.1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" data-bbox="378 1098 922 1142"> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.27</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2</p>	施工区分	工 種	単位	普通作業員	特殊作業員	車 道 施 工	不 陸 整 正	人	0.14	—	路 盤 工	〃	0.24	—	歩 道 施 工	路 盤 工	〃	1.77	0.56	施工区分	単位	諸雑费率	車 道 施 工	%	9	歩 道 施 工	〃	3	ロ ス 率	+0.27	<p style="text-align: center;">表3.3 労務歩掛 (100m²・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="1146 331 1944 502"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>工 種</th> <th>単位</th> <th>普通作業員</th> <th>特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車 道 施 工</td> <td>不 陸 整 正</td> <td>人</td> <td>0.14</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>路 盤 工</td> <td>〃</td> <td>0.24</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歩 道 施 工</td> <td>路 盤 工</td> <td>〃</td> <td>1.00</td> <td>0.41</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通作業員は、車道における施工機械の補助的な作業及び歩道における路盤材の敷均し作業を行う。 2. 特殊作業員は、歩道における締め作業の補助的な作業（タンバ）を行う。</p> <p style="text-align: center;">現行とおり</p>	施工区分	工 種	単位	普通作業員	特殊作業員	車 道 施 工	不 陸 整 正	人	0.14	—	路 盤 工	〃	0.24	—	歩 道 施 工	路 盤 工	〃	1.00	0.41	
施工区分	工 種	単位	普通作業員	特殊作業員																																																
車 道 施 工	不 陸 整 正	人	0.14	—																																																
	路 盤 工	〃	0.24	—																																																
歩 道 施 工	路 盤 工	〃	1.77	0.56																																																
施工区分	単位	諸雑费率																																																		
車 道 施 工	%	9																																																		
歩 道 施 工	〃	3																																																		
ロ ス 率	+0.27																																																			
施工区分	工 種	単位	普通作業員	特殊作業員																																																
車 道 施 工	不 陸 整 正	人	0.14	—																																																
	路 盤 工	〃	0.24	—																																																
歩 道 施 工	路 盤 工	〃	1.00	0.41																																																

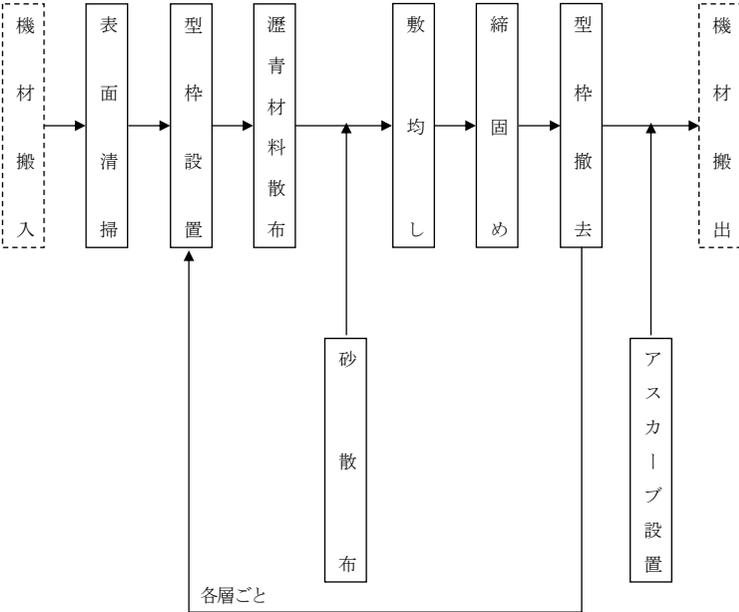
とりまとめ工種（最終整備）
路盤工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																															
標準歩掛 p.495	<p>5. 単 価 表 (1) 不陸整正又は路盤工(車道) 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ運転</td> <td>3.1m</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(2) 路盤工(歩道) 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>3.1m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 機械損料数量→1.52</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表3.3	路盤材		m ³		式4.1	モータグレーダ運転	3.1m	日	100/D	表3.1, 表3.2	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	100/D	〃 〃	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	100/D	〃 〃	諸 雑 費		式	1	表3.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特殊作業員		人		表3.3	普通作業員		〃		〃	路盤材		m ³		式4.1	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	日	100/D	表3.1, 表3.2	諸 雑 費		式	1	表3.4	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	モータグレーダ	3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 機械損料数量→1.52	<p>5. 単 価 表 (1) 不陸整正又は路盤工(車道) 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)マ カダム10~12t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~20t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(2) 路盤工(歩道) 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) カマ型 山積0.11m³(平積0.08m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表3.3	路盤材		m ³		式4.1	モータグレーダ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m	日	100/D	表3.1, 表3.2	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マ カダム10~12t	〃	100/D	〃 〃	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~20t	〃	100/D	〃 〃	諸 雑 費		式	1	表3.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特殊作業員		人		表3.3	普通作業員		〃		〃	路盤材		m ³		式4.1	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	日	100/D	表3.1, 表3.2	小型バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) カマ型 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	日	100/D	表3.1, 表3.2	諸 雑 費		式	1	表3.4	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表3.3																																																																																																																																																																														
路盤材		m ³		式4.1																																																																																																																																																																														
モータグレーダ運転	3.1m	日	100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																																																																														
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	〃	100/D	〃 〃																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	100/D	〃 〃																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
特殊作業員		人		表3.3																																																																																																																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																														
路盤材		m ³		式4.1																																																																																																																																																																														
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	日	100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																															
モータグレーダ	3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45																																																																																																																																																																															
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47																																																																																																																																																																															
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49																																																																																																																																																																															
振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 機械損料数量→1.52																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表3.3																																																																																																																																																																														
路盤材		m ³		式4.1																																																																																																																																																																														
モータグレーダ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 3.1m	日	100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																																																																														
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マ カダム10~12t	〃	100/D	〃 〃																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~20t	〃	100/D	〃 〃																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
特殊作業員		人		表3.3																																																																																																																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																														
路盤材		m ³		式4.1																																																																																																																																																																														
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4t	日	100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																																																																														
小型バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) カマ型 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	日	100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		

とりまとめ工種（最終整備）
路盤工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																								
		<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1111 260 1328 300">機 械 名</th> <th data-bbox="1328 260 1632 300">規 格</th> <th data-bbox="1632 260 1749 300">適用単価表</th> <th data-bbox="1749 260 1982 300">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1111 300 1328 379">モーターグレーダ</td> <td data-bbox="1328 300 1632 379"><u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 3.1m</td> <td data-bbox="1632 300 1749 379">機-18</td> <td data-bbox="1749 300 1982 379">運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1111 379 1328 459">ロードローラ</td> <td data-bbox="1328 379 1632 459">排出ガス対策型（第1次基準値） マカダム10～12 t</td> <td data-bbox="1632 379 1749 459">機-18</td> <td data-bbox="1749 379 1982 459">運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1111 459 1328 531">タイヤローラ</td> <td data-bbox="1328 459 1632 531">排出ガス対策型（第1次基準値） 8～20 t</td> <td data-bbox="1632 459 1749 531">機-18</td> <td data-bbox="1749 459 1982 531">運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1111 531 1328 611">振動ローラ</td> <td data-bbox="1328 531 1632 611">排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式コンバインド型3～4 t</td> <td data-bbox="1632 531 1749 611"><u>機-28</u></td> <td data-bbox="1749 531 1982 611">運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 <u>賃料</u>数量→1.52</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1111 611 1328 683"><u>小型バックホウ</u></td> <td data-bbox="1328 611 1632 683"><u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u> <u>カマ型 山積0.11m³（平積0.08m³）</u></td> <td data-bbox="1632 611 1749 683"><u>機-28</u></td> <td data-bbox="1749 611 1982 683"><u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→22</u> <u>賃料数量→1.80</u></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	モーターグレーダ	<u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45	ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） マカダム10～12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47	タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 8～20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49	振動ローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式コンバインド型3～4 t	<u>機-28</u>	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 <u>賃料</u> 数量→1.52	<u>小型バックホウ</u>	<u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u> <u>カマ型 山積0.11m³（平積0.08m³）</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→22</u> <u>賃料数量→1.80</u>	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																								
モーターグレーダ	<u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.45																								
ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） マカダム10～12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.47																								
タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 8～20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械損料数量→1.49																								
振動ローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式コンバインド型3～4 t	<u>機-28</u>	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 <u>賃料</u> 数量→1.52																								
<u>小型バックホウ</u>	<u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u> <u>カマ型 山積0.11m³（平積0.08m³）</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→22</u> <u>賃料数量→1.80</u>																								

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P496	<p>② アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装工事に適用する。なお、アスファルト混合物の積算は、購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 施工歩掛(機械施工) 機械施工は、型枠の設置・撤去、瀝青材料散布、敷均し及び締め作業であり、施工幅1.4m以上の舗装工に適用する。ただし、機械施工が困難な場合は人力施工による。</p> <p>3-1 機種を選定 機械施工における機械・規格は、次表を標準とする。</p>	<p>現行どおり</p>	

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																
P497	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">施工幅 b (m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道及び路肩</th> <th colspan="2">歩 道</th> </tr> <tr> <th>1.4 ≤ b ≤ 3.0</th> <th>3.0 < b</th> <th>1.4 ≤ b ≤ 3.0</th> <th>3.0 < b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト フィニッシャ</td> <td>ホイール型 1.4~3.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 2.4~4.5m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	施工幅 b (m)				車道及び路肩		歩 道		1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	アスファルト フィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	台	1	—	—	—	〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	—	1	—	—	〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	—	—	1	—	〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	—	—	—	1	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	—	1	—	—	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	—	1	—	—	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t	〃	1	—	1	1	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">施工幅 b (m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道及び路肩</th> <th colspan="2">歩 道</th> </tr> <tr> <th>1.4 ≤ b ≤ 3.0</th> <th>3.0 < b</th> <th>1.4 ≤ b ≤ 3.0</th> <th>3.0 < b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト フィニッシャ</td> <td>ホイール型 1.4~3.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 2.4~4.5m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; margin-top: 10px;">(注) 振動ローラは、賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	施工幅 b (m)				車道及び路肩		歩 道		1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	アスファルト フィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	台	1	—	—	—	〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	—	1	—	—	〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	—	—	1	—	〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	—	—	—	1	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	—	1	—	—	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	—	1	—	—	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t	〃	1	—	1	1	
	機 械 名				規 格	単 位	施工幅 b (m)																																																																																																																												
車道及び路肩							歩 道																																																																																																																												
1.4 ≤ b ≤ 3.0		3.0 < b	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b																																																																																																																															
アスファルト フィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	台	1	—	—	—																																																																																																																													
〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	—	—	1	—																																																																																																																													
〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	—	—	—	1																																																																																																																													
ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t	〃	1	—	1	1																																																																																																																													
機 械 名	規 格	単 位	施工幅 b (m)																																																																																																																																
			車道及び路肩		歩 道																																																																																																																														
			1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b																																																																																																																													
アスファルト フィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	台	1	—	—	—																																																																																																																													
〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	—	—	1	—																																																																																																																													
〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	—	—	—	1																																																																																																																													
ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	—	1	—	—																																																																																																																													
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンバインド型 3~4 t	〃	1	—	1	1																																																																																																																													
<p>3-2 日当り編成人員 舗設工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日当り編成人員 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">施 工 幅 b (m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車 道 及 び 路 肩</th> <th>歩 道</th> </tr> <tr> <th>1.4 ≤ b ≤ 3.0</th> <th>3.0 < b</th> <th>1.4 ≤ b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	施 工 幅 b (m)			車 道 及 び 路 肩		歩 道	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b	1.4 ≤ b	世 話 役	人	1	1	1	特殊作業員	〃	3	3	3	普通作業員	〃	5	6	5	<p style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</p> <p style="vertical-align: middle;">現行どおり</p>																																																																																																								
名 称			単 位	施 工 幅 b (m)																																																																																																																															
				車 道 及 び 路 肩		歩 道																																																																																																																													
	1.4 ≤ b ≤ 3.0	3.0 < b		1.4 ≤ b																																																																																																																															
世 話 役	人	1	1	1																																																																																																																															
特殊作業員	〃	3	3	3																																																																																																																															
普通作業員	〃	5	6	5																																																																																																																															

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																					
	<p>3-3 日当り施工量 舗設工における日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 日当り施工量 (1日・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="327 304 972 525"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 幅 b (m)</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車 道 及 び 路 肩</td> <td>1.4 ≤ b ≤ 3.0</td> <td>m²</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>3.0 < b</td> <td>〃</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩 道</td> <td>1.4 ≤ b ≤ 3.0</td> <td>〃</td> <td>940</td> </tr> <tr> <td>3.0 < b</td> <td>〃</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 使用材料</p> <p>3-4-1 アスファルト混合物 アスファルト混合物の使用量は、次式による。 車道及び路肩・歩道： 使用量(t) = 設計面積(m²) × 仕上り厚さ(mm) / 1,000 × 締固め後の密度(t/m³) × (1 + ロス率) アスカーブ： 使用量(t) = 設計物面積(cm²) / 10,000 × 施工延長(m) × 締固め後の密度(t/m³) × (1 + ロス率)</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="327 798 972 975"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>歩 車 道 区 分</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ア ス フ ァ ル ト 混 合 物</td> <td>車道及び路肩</td> <td>+0.07</td> </tr> <tr> <td>歩道</td> <td>+0.10</td> </tr> <tr> <td>アスカーブ</td> <td>+0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率は、材料ロスに対する材料補正である。 2. すりつけに使用する混合物は、ロス率に含まないので別途計上する。</p> <p>3-4-2 瀝青材料 瀝青材料の散布量は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 瀝青材料の散布量 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="360 1153 938 1284"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タ ッ ク コ ー ト</td> <td>L</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>プ ラ イ ム コ ー ト</td> <td>〃</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 基層にグースアスファルト混合物を使用する場合の瀝青材料は、タックコート(ゴム入り)を使用する。 2. 上記の散布量には、材料ロス分を含む。</p>	施 工 幅 b (m)		単 位	数 量	車 道 及 び 路 肩	1.4 ≤ b ≤ 3.0	m ²	1,300	3.0 < b	〃	2,300	歩 道	1.4 ≤ b ≤ 3.0	〃	940	3.0 < b	〃	1,000	種 別	歩 車 道 区 分	ロ ス 率	ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車道及び路肩	+0.07	歩道	+0.10	アスカーブ	+0.09	種 別	単 位	数 量	タ ッ ク コ ー ト	L	43	プ ラ イ ム コ ー ト	〃	126	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
施 工 幅 b (m)		単 位	数 量																																					
車 道 及 び 路 肩	1.4 ≤ b ≤ 3.0	m ²	1,300																																					
	3.0 < b	〃	2,300																																					
歩 道	1.4 ≤ b ≤ 3.0	〃	940																																					
	3.0 < b	〃	1,000																																					
種 別	歩 車 道 区 分	ロ ス 率																																						
ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車道及び路肩	+0.07																																						
	歩道	+0.10																																						
	アスカーブ	+0.09																																						
種 別	単 位	数 量																																						
タ ッ ク コ ー ト	L	43																																						
プ ラ イ ム コ ー ト	〃	126																																						

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																											
P498	<p>3-5 砂散布費 瀝青材料を散布後ヤミを得ず交通を解放する場合等、砂の散布が必要な場合は、砂散布の費用として、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 砂散布费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>タ ッ ク コ ー ト</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>プ ラ イ ム コ ー ト</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </table> <p>3-6 諸雑費 諸雑費は、瀝青材料(プライムコート・タックコート)の散布、飛散防護、舗装用器具、補助機械及び型枠材料、加熱燃料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.7 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工幅 b (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">車 道 及 び 路 肩</td> <td>1.4 ≤ b ≤ 3.0</td> <td style="text-align: center;">18(13)</td> </tr> <tr> <td>3.0 < b</td> <td style="text-align: center;">19(12)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩 道</td> <td>1.4 ≤ b ≤ 3.0</td> <td style="text-align: center;">12(5)</td> </tr> <tr> <td>3.0 < b</td> <td style="text-align: center;">11(5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 瀝青材料は、諸雑费率に含まないので別途計上する。 2. 瀝青材料の散布を行わない場合は、()内の数値を使用する。</p> <p>4. 施工歩掛(人力施工) 人力施工は、施工幅1.4m未満の舗設作業及び機械施工が困難な場合における舗設作業に適用する。</p> <p>4-1 機種の選定 人力施工における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道及び路肩</th> <th colspan="2">歩 道</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> <th>50 < t ≤ 70(100)</th> <th>t ≤ 50</th> <th>50 < t ≤ 70(100)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト</td> <td>40~60kg</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1層当り仕上り厚 t の()内は、瀝青安定処理路盤に適用する。</p>	タ ッ ク コ ー ト	9	プ ラ イ ム コ ー ト	10	施工幅 b (m)		諸 雑 費 率	車 道 及 び 路 肩	1.4 ≤ b ≤ 3.0	18(13)	3.0 < b	19(12)	歩 道	1.4 ≤ b ≤ 3.0	12(5)	3.0 < b	11(5)	機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)				車道及び路肩		歩 道		t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	台	1	1	1	1	振動コンパクト	40~60kg	〃	2	2	1	1	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道及び路肩</th> <th colspan="2">歩 道</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> <th>50 < t ≤ 70(100)</th> <th>t ≤ 50</th> <th>50 < t ≤ 70(100)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト</td> <td><u>前進型</u> 40~60kg</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1層当り仕上り厚 t の()内は、瀝青安定処理路盤に適用する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)				車道及び路肩		歩 道		t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	台	1	1	1	1	振動コンパクト	<u>前進型</u> 40~60kg	〃	2	2	1	1	
タ ッ ク コ ー ト	9																																																																													
プ ラ イ ム コ ー ト	10																																																																													
施工幅 b (m)		諸 雑 費 率																																																																												
車 道 及 び 路 肩	1.4 ≤ b ≤ 3.0	18(13)																																																																												
	3.0 < b	19(12)																																																																												
歩 道	1.4 ≤ b ≤ 3.0	12(5)																																																																												
	3.0 < b	11(5)																																																																												
機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)																																																																											
			車道及び路肩		歩 道																																																																									
			t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)																																																																								
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	台	1	1	1	1																																																																								
振動コンパクト	40~60kg	〃	2	2	1	1																																																																								
機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)																																																																											
			車道及び路肩		歩 道																																																																									
			t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)	t ≤ 50	50 < t ≤ 70(100)																																																																								
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	台	1	1	1	1																																																																								
振動コンパクト	<u>前進型</u> 40~60kg	〃	2	2	1	1																																																																								

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																
P499	<p>4-2 日当り編成人員 人力施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り編成人員 (1日・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="253 304 1048 571"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道及び路肩・歩道</th> </tr> <tr> <th>t ≤50</th> <th>50 < t ≤70(100)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 日当り施工量 人力施工における日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 日当り施工量 (1日・1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="253 691 1048 868"> <thead> <tr> <th>1層当り仕上り厚 t (mm)</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>車道 及び 路肩・歩道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t ≤50</td> <td>m2</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>50 < t ≤70(100)</td> <td>〃</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 使用材料 4-4-1 アスファルト混合物 「3-4-1 アスファルト混合物」による。 4-4-2 瀝青材料の散布量 「3-4-2 瀝青材料」による。</p> <p>4-5 砂散布費 瀝青材料を散布後やむを得ず交通を解放する場合等、砂の散布が必要な場合は、砂散布の費用として、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 砂散布费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="324 1166 976 1211"> <tr> <td>タックコート・プライムコート</td> <td>3</td> </tr> </table>	名 称	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)		車道及び路肩・歩道		t ≤50	50 < t ≤70(100)	世 話 役 人		1	1	特 殊 作 業 員	〃	2	3	普 通 作 業 員	〃	4	4	1層当り仕上り厚 t (mm)	単 位	数 量	車道 及び 路肩・歩道	t ≤50	m2	250	50 < t ≤70(100)	〃	230	タックコート・プライムコート	3	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
名 称	単 位			1層当り仕上り厚 t (mm)																															
				車道及び路肩・歩道																															
		t ≤50	50 < t ≤70(100)																																
世 話 役 人		1	1																																
特 殊 作 業 員	〃	2	3																																
普 通 作 業 員	〃	4	4																																
1層当り仕上り厚 t (mm)	単 位	数 量																																	
車道 及び 路肩・歩道																																			
t ≤50	m2	250																																	
50 < t ≤70(100)	〃	230																																	
タックコート・プライムコート	3																																		

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要											
	<p>4-6 諸 雑 費 諸雑費は、瀝青材料(プライムコート・タックコート)の散布、舗装用器具、補助機械及び型枠材料、加熱燃料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 4.5 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">歩 車 道 区 分</th> <th colspan="2">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> <th>50 < t ≤ 70 (100)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車 道 及 び 路 肩</td> <td>17 (6)</td> <td>15 (6)</td> </tr> <tr> <td>歩 道</td> <td>19 (7)</td> <td>16 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 瀝青材料は、諸雑費率に含まないので別途計上する。 2. 瀝青材料の散布を行わない場合は、()内の数値を使用する。</p>	歩 車 道 区 分	1層当り仕上り厚 t (mm)		t ≤ 50	50 < t ≤ 70 (100)	車 道 及 び 路 肩	17 (6)	15 (6)	歩 道	19 (7)	16 (6)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
歩 車 道 区 分	1層当り仕上り厚 t (mm)													
	t ≤ 50	50 < t ≤ 70 (100)												
車 道 及 び 路 肩	17 (6)	15 (6)												
歩 道	19 (7)	16 (6)												

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行					改 正	摘 要																																																																																
P500	<p>6. 単価表 (1) 舗装工 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="219 260 1084 1206"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表3.2×100/D</td> <td>表3.2, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後 密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 材 料</td> <td></td> <td>L</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>アスファルト フィニッシャ運転</td> <td>ホイール型 1.4~3.0m</td> <td>日</td> <td>表3.1×100/D</td> <td>表3.1, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 2.4~4.5m</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12 t</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式 コンパインド型 3~4 t</td> <td>〃</td> <td>〃 ×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>砂 散 布 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.6 必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表3.2×100/D	表3.2, 表3.3	特 殊 作 業 員		〃	〃 ×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	〃 ×100/D	〃 〃	アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後 密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	瀝 青 材 料		L		表3.5	アスファルト フィニッシャ運転	ホイール型 1.4~3.0m	日	表3.1×100/D	表3.1, 表3.3	〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	〃 ×100/D	〃 〃	〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	〃 ×100/D	〃 〃	〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	〃 ×100/D	〃 〃	ロードローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃	振動ローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式 コンパインド型 3~4 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃	砂 散 布 費		式	1	表3.6 必要に応じ計上	諸 雑 費		〃	1	表3.7	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
世 話 役		人	表3.2×100/D	表3.2, 表3.3																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後 密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4																																																																																			
瀝 青 材 料		L		表3.5																																																																																			
アスファルト フィニッシャ運転	ホイール型 1.4~3.0m	日	表3.1×100/D	表3.1, 表3.3																																																																																			
〃	ホイール型 2.4~6.0m	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
〃	クローラ型 1.4~3.0m	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
〃	クローラ型 2.4~4.5m	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
ロードローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
振動ローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式 コンパインド型 3~4 t	〃	〃 ×100/D	〃 〃																																																																																			
砂 散 布 費		式	1	表3.6 必要に応じ計上																																																																																			
諸 雑 費		〃	1	表3.7																																																																																			
計																																																																																							
<p>(注) D: 日当り施工量</p>																																																																																							

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行					改 正					摘 要
	(2) 人力施工 舗装工 100m ² ・1層当り単価表					(2) 人力施工 舗装工 100m ² ・1層当り単価表					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	世 話 役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3	世 話 役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3	
	特 殊 作 業 員		"	" ×100/D	" "	特 殊 作 業 員		"	" ×100/D	" "	
	普 通 作 業 員		"	" ×100/D	" "	普 通 作 業 員		"	" ×100/D	" "	
	アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×縮固め後 密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×縮固め後 密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	
	瀝 青 材 料		L		表3.5	瀝 青 材 料		L		表3.5	
	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3	
	振動コンパクト運転	40~60kg	"	" ×100/D	" "	振動コンパクト運転	前進型 40~60kg	"	" ×100/D	" "	
	砂 散 布 費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	砂 散 布 費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	
	諸 雑 費		"	1	表4.5	諸 雑 費		"	1	表4.5	
	計					計					
	(注) D: 日当り施工量					(注) D: 日当り施工量					

とりまとめ工種(最終整備)
アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																
P501	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用 単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>ホイール型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 2.4~4.5m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→2 機械損料数量→1.23</td> </tr> <tr> <td>振 動 コ ン パ ク タ</td> <td>40~60kg</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→3 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>ア ス フ ァ ル ト カ ー バ</td> <td>4~4.5m³/h</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→7 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td>2 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項	アスファルトフィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75	〃	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.75	〃	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75	〃	クローラ型 2.4~4.5m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75	ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63	タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23	振 動 コ ン パ ク タ	40~60kg	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.40	ア ス フ ァ ル ト カ ー バ	4~4.5m ³ /h	機-23	燃料消費量→7 機械損料数量→1.67	ダ ン プ ト ラ ッ ク	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用 単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>ホイール型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クローラ型 2.4~4.5m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t</td> <td>機-18 23</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 燃料損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→2 機械損料数量→1.23</td> </tr> <tr> <td>振 動 コ ン パ ク タ</td> <td>前記型 40~60kg</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→3 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>ア ス フ ァ ル ト カ ー バ</td> <td>4~4.5m³/h</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→7 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td>2 t積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項	アスファルトフィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75	〃	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 62 機械損料数量→1.75	〃	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75	〃	クローラ型 2.4~4.5m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75	ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63	タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t	機- 18 23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 燃料 損料数量→1.50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23	振 動 コ ン パ ク タ	前記型 40~60kg	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.40	ア ス フ ァ ル ト カ ー バ	4~4.5m ³ /h	機-23	燃料消費量→7 機械損料数量→1.67	ダ ン プ ト ラ ッ ク	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29	
機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項																																																																																																
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	クローラ型 2.4~4.5m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75																																																																																																
ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63																																																																																																
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23																																																																																																
振 動 コ ン パ ク タ	40~60kg	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.40																																																																																																
ア ス フ ァ ル ト カ ー バ	4~4.5m ³ /h	機-23	燃料消費量→7 機械損料数量→1.67																																																																																																
ダ ン プ ト ラ ッ ク	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29																																																																																																
機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項																																																																																																
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 62 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75																																																																																																
〃	クローラ型 2.4~4.5m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.75																																																																																																
ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械損料数量→1.63																																																																																																
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→41 機械損料数量→1.78																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4 t	機- 18 23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 燃料 損料数量→1.50																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23																																																																																																
振 動 コ ン パ ク タ	前記型 40~60kg	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.40																																																																																																
ア ス フ ァ ル ト カ ー バ	4~4.5m ³ /h	機-23	燃料消費量→7 機械損料数量→1.67																																																																																																
ダ ン プ ト ラ ッ ク	2 t積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.29																																																																																																

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
半たわみ性（コンポジット）舗装工

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																								
	<p>4-3-2 日当り施工量 セメントミルク浸透作業の1層当りの日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>作 業 区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> <tr> <td>浸 透 作 業</td> <td>m²</td> <td>1,050</td> </tr> </table> <p>4-4 諸 雑 費 諸雑費は、マスキング、浸透用セメントミルク敷き広げ作業等に必要なビニルシート、ゴムレキ等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> <th>率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> </tr> </table> <p>5. 単 価 表 (1) セメントミルク浸透工 100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>浸透用セメントミルク</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>散 水 車 運 転</td> <td>3,800 ℓ</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ運転</td> <td>上下2槽式200 ℓ × 2 エンジン付</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>4 t積2 t吊</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m²/日)</p>	作 業 区 分	単 位	数 量	浸 透 作 業	m ²	1,050	諸 雑 費 率	率		6	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	4×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	8×100/D	〃	浸透用セメントミルク		ℓ		表4.2	散 水 車 運 転	3,800 ℓ	日	100/D	表4.1	グラウトミキサ運転	上下2槽式200 ℓ × 2 エンジン付	〃	100/D	〃	トラック運転 (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	〃	100/D	〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t	〃	100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表4.5	計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. 単 価 表 (1) セメントミルク浸透工 100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>浸透用セメントミルク</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>散 水 車 運 転</td> <td>3,800 ℓ</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ運転</td> <td>上下2槽式200 ℓ × 2</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>4 t積2 t吊</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m²/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	4×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	8×100/D	〃	浸透用セメントミルク		ℓ		表4.2	散 水 車 運 転	3,800 ℓ	日	100/D	表4.1	グラウトミキサ運転	上下2槽式200 ℓ × 2	〃	100/D	〃	トラック運転 (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	〃	100/D	〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t	〃	100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表4.5	計					
作 業 区 分	単 位	数 量																																																																																																																									
浸 透 作 業	m ²	1,050																																																																																																																									
諸 雑 費 率	率																																																																																																																										
	6																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
世 話 役		人	1×100/D	表4.3																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃	4×100/D	〃																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	8×100/D	〃																																																																																																																							
浸透用セメントミルク		ℓ		表4.2																																																																																																																							
散 水 車 運 転	3,800 ℓ	日	100/D	表4.1																																																																																																																							
グラウトミキサ運転	上下2槽式200 ℓ × 2 エンジン付	〃	100/D	〃																																																																																																																							
トラック運転 (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	〃	100/D	〃																																																																																																																							
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t	〃	100/D	〃																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表4.5																																																																																																																							
計																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
世 話 役		人	1×100/D	表4.3																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃	4×100/D	〃																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	8×100/D	〃																																																																																																																							
浸透用セメントミルク		ℓ		表4.2																																																																																																																							
散 水 車 運 転	3,800 ℓ	日	100/D	表4.1																																																																																																																							
グラウトミキサ運転	上下2槽式200 ℓ × 2	〃	100/D	〃																																																																																																																							
トラック運転 (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	〃	100/D	〃																																																																																																																							
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式コンパインド型3~4 t	〃	100/D	〃																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表4.5																																																																																																																							
計																																																																																																																											

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
半たわみ性（コンポジット）舗装工

現行基準 のページ	現 行				改 正				摘 要
P507	(2) セメントミルク浸透用機械運転単価表				(2) セメントミルク浸透用機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
	散 水 車	3,800 ℓ	機-19	運転労務数量→0.95 燃料消費量→18 機械損料数量→1.00	散 水 車	3,800 ℓ	機-19	運転労務数量→0.95 燃料消費量→18 機械損料数量→1.00	
	グ ラ ウ ト ミ キ サ	上下2槽式200ℓ×2 エンジン付	機-24	燃 料 消 費 量→2 機械損料数量→1.81	グ ラ ウ ト ミ キ サ	上下2槽式200ℓ×2	機-24	燃 料 消 費 量→2 機械損料数量→1.81	
	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	機-18	運転労務数量→0.95 燃料消費量→25 機械損料数量→1.00	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4 t積2 t吊	機-18	運転労務数量→0.95 燃料消費量→25 機械損料数量→1.00	
	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型 3～4 t	機-18	運転労務数量→0.95 燃料消費量→11 機械損料数量→1.30	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型 3～4 t	機-18	運転労務数量→0.95 燃料消費量→11 機械損料数量→1.30	

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
排水性アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																							
P 5 1 1	<p>4-5 砂散布費 瀝青材料を散布後やむを得ず交通を解放する場合等、砂の散布が必要な場合は、砂散布の費用として、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 砂散布费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">タ ッ ク コ ー ト</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>4-6 諸 雑 費 諸雑費は、瀝青材料の散布、舗装用器具、補助機械及び型枠材料、加熱燃料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">1層当り仕上り厚 t (mm)</td> <td style="text-align: center;">諸雑费率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">t ≤ 50</td> <td style="text-align: center;">6 (5)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 瀝青材料は、別途計上する。 2. 瀝青材料の散布を行わない場合は、()内の数値を使用する。</p> <p>5. 単 価 表 (1) 舗装工 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.2, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>排水性アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>導 水 パ イ プ</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>必要長</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ運</td> <td>ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>砂 散 布 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.6 必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	タ ッ ク コ ー ト	2	1層当り仕上り厚 t (mm)	諸雑费率	t ≤ 50	6 (5)	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.2, 表3.3	特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	6×100/D	〃 〃	排水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	瀝 青 材 料		ℓ		表3.5	導 水 パ イ プ		m		必要長	アスファルトフィニッシャ運	ホイール型 2.4~6.0m	日	1×100/D	表3.1, 表3.3	ロードローラ運	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	〃	1×100/D	〃 〃	タイヤローラ運	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1×100/D	〃 〃	砂 散 布 費		式	1	表3.6 必要に応じ計上	諸 雑 費		〃	1	表3.7	計					<p>現行どおり</p>	
	タ ッ ク コ ー ト	2																																																																								
	1層当り仕上り厚 t (mm)	諸雑费率																																																																								
	t ≤ 50	6 (5)																																																																								
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
	世 話 役		人	1×100/D	表3.2, 表3.3																																																																					
	特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃 〃																																																																					
	普 通 作 業 員		〃	6×100/D	〃 〃																																																																					
	排水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4																																																																					
	瀝 青 材 料		ℓ		表3.5																																																																					
導 水 パ イ プ		m		必要長																																																																						
アスファルトフィニッシャ運	ホイール型 2.4~6.0m	日	1×100/D	表3.1, 表3.3																																																																						
ロードローラ運	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	〃	1×100/D	〃 〃																																																																						
タイヤローラ運	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	〃	1×100/D	〃 〃																																																																						
砂 散 布 費		式	1	表3.6 必要に応じ計上																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表3.7																																																																						
計																																																																										

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
排水性アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行					改 正					摘 要
	(2) 人力施工 舗装工 100m ² ・1層当り単価表					(2) 人力施工 舗装工 100m ² ・1層当り単価表					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	世 話 役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3	世 話 役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3	
	特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	
	普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃 〃	
	排水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	排水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表3.4	
	瀝 青 材 料		ℓ		表3.5	瀝 青 材 料		ℓ		表3.5	
	導 水 パ イ プ		m		必要長	導 水 パ イ プ		m		必要長	
	振動ローラ運転	ハンドガイド式, 0.5~0.6t	日	1×100/D	表4.1, 表4.3	振動ローラ運転	ハンドガイド式, 0.5~0.6t	日	1×100/D	表4.1, 表4.3	
	振動コンパクト運転	40~60kg	〃	1×100/D	〃 〃	振動コンパクト運転	前進型 40~60kg	〃	1×100/D	〃 〃	
	砂 散 布 費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	砂 散 布 費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	
	諸 雑 費		〃	1	表4.5	諸 雑 費		〃	1	表4.5	
	計					計					
	(注) D:日当り施工量					(注) D:日当り施工量					
	(3) 機械運転単価表					(3) 機械運転単価表					
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項		
	アスファルトフィニッシャー	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→61 機械損料数量→1.75		アスファルトフィニッシャー	ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→61 機械損料数量→1.75		
	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.63		ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→1.63		
	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.78		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.78		
	振動ローラ	ハンドガイド式0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23		振動ローラ	ハンドガイド式0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→2 機械損料数量→1.23		
	振動コンパクト	40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40		振動コンパクト	前進型 40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40		

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
透水性アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																							
標準歩掛 P514	<p>⑥ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>5. 施工歩掛（人力施工） 人力施工は、歩道施工幅1.4m未満の舗設作業及び機械施工が困難な場所における舗設作業に適用する。</p> <p>5-1 機種を選定 人力施工における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 機種を選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="1">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式0.5～0.6 t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>振 動 コ ン パ ク タ</td> <td>40～60kg</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 日当り編成人員 人力施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 日当り編成人員 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="1">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)	t ≤ 50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.5～0.6 t	台	1	振 動 コ ン パ ク タ	40～60kg	〃	1	名 称	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)	t ≤ 50	世 話 役	人	1	特 殊 作 業 員	〃	2	普 通 作 業 員	〃	4	<p>⑥ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>5. 施工歩掛（人力施工） 人力施工は、歩道施工幅1.4m未満の舗設作業及び機械施工が困難な場所における舗設作業に適用する。</p> <p>5-1 機種を選定 人力施工における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 機種を選定 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="1">1層当り仕上り厚 t (mm)</th> </tr> <tr> <th>t ≤ 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式0.5～0.6 t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>振 動 コ ン パ ク タ</td> <td><u>前進型</u> 40～60kg</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)	t ≤ 50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.5～0.6 t	台	1	振 動 コ ン パ ク タ	<u>前進型</u> 40～60kg	〃	1	
機 械 名	規 格				単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)																																				
		t ≤ 50																																								
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.5～0.6 t	台	1																																							
振 動 コ ン パ ク タ	40～60kg	〃	1																																							
名 称	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)																																								
		t ≤ 50																																								
世 話 役	人	1																																								
特 殊 作 業 員	〃	2																																								
普 通 作 業 員	〃	4																																								
機 械 名	規 格	単 位	1層当り仕上り厚 t (mm)																																							
			t ≤ 50																																							
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.5～0.6 t	台	1																																							
振 動 コ ン パ ク タ	<u>前進型</u> 40～60kg	〃	1																																							
P515	<p>5-3 日当り施工量 人力施工における日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 日当り施工量 (1日・1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>1層当り仕上り厚 t (mm)</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t ≤ 50</td> <td>m²</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 使用材料 5-4-1 透水性アスファルト混合物 「4-4-1 透水性アスファルト混合物」による。</p>	1層当り仕上り厚 t (mm)	単 位	数 量	t ≤ 50	m ²	200																																			
1層当り仕上り厚 t (mm)	単 位	数 量																																								
t ≤ 50	m ²	200																																								

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
透水性アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																									
	<p>5-5 諸 雑 費 諸雑費は、舗装用器具、補助機械及び型枠材料、加熱燃料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%;">1層当り仕上り厚 t (mm)</td> <td style="width: 50%;">諸 雑 費 率</td> </tr> <tr> <td>t ≤ 50</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> </table> <p>6. 単 価 表 (1) フィルター層 100m²・1層当り単価表・機械施工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.2, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>フィルター材</td> <td></td> <td>m³</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×(1+ロス率)</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>2) 舗装工 100m²・1層当り単価表・機械施工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ運転</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	1層当り仕上り厚 t (mm)	諸 雑 費 率	t ≤ 50	9	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表3.2, 表3.3	特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃 〃	フィルター材		m ³	100×厚さ(mm)/1,000×(1+ロス率)	表3.4	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t	日	1×100/D	表3.1, 表3.3	諸 雑 費		式	1	表3.5	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3	特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃 〃	透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4	アスファルトフィニッシャ運転	クローラ型 1.4~3.0m	日	1×100/D	表4.1, 表4.3	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t	〃	1×100/D	〃 〃	諸 雑 費		式	1	表4.5	計					<p>現行どおり</p>	
1層当り仕上り厚 t (mm)	諸 雑 費 率																																																																																											
t ≤ 50	9																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
世 話 役		人	1×100/D	表3.2, 表3.3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃 〃																																																																																								
フィルター材		m ³	100×厚さ(mm)/1,000×(1+ロス率)	表3.4																																																																																								
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t	日	1×100/D	表3.1, 表3.3																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表3.5																																																																																								
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
世 話 役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃 〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃 〃																																																																																								
透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4																																																																																								
アスファルトフィニッシャ運転	クローラ型 1.4~3.0m	日	1×100/D	表4.1, 表4.3																																																																																								
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗式・コンバインド型3~4t	〃	1×100/D	〃 〃																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表4.5																																																																																								
計																																																																																												

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
透水性アスファルト舗装工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																										
P516	<p>(3) 舗装工 100m²・1層当り単価表・人力施工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.1, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト運転</td> <td>40~60kg</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p>1) フィルター層</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 舗装工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6t</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→3 機械損料数量→1.44</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト</td> <td>40~60kg</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→4 機械損料数量→1.40</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3	特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃	透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t	日	1×100/D	表5.1, 表5.3	振動コンパクト運転	40~60kg	〃	1×100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	アスファルトフィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.44	振動コンパクト	40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40	<p>(3) 舗装工 100m²・1層当り単価表・人力施工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.1, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト運転</td> <td>前進型 40~60kg</td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>現行どおり</p> <p>2) 舗装工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6t</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→3 機械損料数量→1.44</td> </tr> <tr> <td>振動コンパクト</td> <td>前進型 40~60kg</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→4 機械損料数量→1.40</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3	特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃	透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t	日	1×100/D	表5.1, 表5.3	振動コンパクト運転	前進型 40~60kg	〃	1×100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	アスファルトフィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50	振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.44	振動コンパクト	前進型 40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃																																																																																																																																									
透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4																																																																																																																																									
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t	日	1×100/D	表5.1, 表5.3																																																																																																																																									
振動コンパクト運転	40~60kg	〃	1×100/D	〃																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																									
計																																																																																																																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																										
アスファルトフィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.44																																																																																																																																										
振動コンパクト	40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	2×100/D	〃																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	4×100/D	〃																																																																																																																																									
透水性アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ロス率)	表4.4																																																																																																																																									
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t	日	1×100/D	表5.1, 表5.3																																																																																																																																									
振動コンパクト運転	前進型 40~60kg	〃	1×100/D	〃																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																									
計																																																																																																																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																										
アスファルトフィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 機械損料数量→1.75																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型3~4t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→1.50																																																																																																																																										
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.44																																																																																																																																										
振動コンパクト	前進型 40~60kg	機-23	燃料消費量→4 機械損料数量→1.40																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部見直し
しゃ音壁設置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																
標準歩掛 P542	<p>3-2 支柱アンカー及び支柱建込工（B型支柱） 穿孔アンカー方式による支柱アンカー及び支柱建込歩掛は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 支柱アンカー及び支柱建込歩掛（B型支柱） (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 327 954 638"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">支柱間隔 2 m</th> <th colspan="2">支柱間隔 4 m</th> </tr> <tr> <th>支柱アンカー設置</th> <th>支柱建込</th> <th>支柱アンカー設置</th> <th>支柱建込</th> </tr> <tr> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.7</td> <td>2.6</td> <td>2.0</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10.0</td> <td>—</td> <td>4.4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄 骨 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>3.8</td> <td>—</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>7.0</td> <td>3.6</td> <td>3.0</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>トラック（クレーン 装置付）運転</td> <td>4 t積 2.9 t吊</td> <td>h</td> <td>—</td> <td>19.1</td> <td>—</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アンカー設置は、コンクリートアンカーを標準とし、貫通ボルトによる施工の場合は別途考慮する。 2. 高さは、下部構造物等を含めない支柱のみの高さとする。 3. 諸雑費は、支柱アンカーの施工足場の費用、ハンマードリル・インパクトレンチの損料、ラチェットレンチの損耗費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	支柱間隔 2 m		支柱間隔 4 m		支柱アンカー設置	支柱建込	支柱アンカー設置	支柱建込	支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ				4 m以下	4 m以下	4 m以下	4 m以下	世 話 役		人	4.7	2.6	2.0	1.3	特 殊 作 業 員		〃	10.0	—	4.4	—	鉄 骨 工		〃	—	3.8	—	1.9	普 通 作 業 員		〃	7.0	3.6	3.0	1.8	トラック（クレーン 装置付）運転	4 t積 2.9 t吊	h	—	19.1	—	9.5	諸 雑 費 率		%	5	2	6	2	<p>3-2 支柱アンカー及び支柱建込工（B型支柱） 穿孔アンカー方式による支柱アンカー及び支柱建込歩掛は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 支柱アンカー及び支柱建込歩掛（B型支柱） (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1227 327 1850 638"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">支柱間隔 2 m</th> <th colspan="2">支柱間隔 4 m</th> </tr> <tr> <th>支柱アンカー設置</th> <th>支柱建込</th> <th>支柱アンカー設置</th> <th>支柱建込</th> </tr> <tr> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> <th>支柱高さ</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> <th>4 m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.7</td> <td>2.6</td> <td>2.0</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10.0</td> <td>—</td> <td>4.4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄 骨 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>3.8</td> <td>—</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>7.0</td> <td>3.6</td> <td>3.0</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>トラック（クレーン 装置付）運転</td> <td>4 t積 2.9 t吊</td> <td>h</td> <td>—</td> <td>19.1</td> <td>—</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アンカー設置は、コンクリートアンカーを標準とし、貫通ボルトによる施工の場合は別途考慮する。 2. 高さは、下部構造物等を含めない支柱のみの高さとする。 3. 諸雑費は、支柱アンカーの施工足場の費用、ハンマードリル・インパクトレンチの損料、ラチェットレンチの損耗費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	支柱間隔 2 m		支柱間隔 4 m		支柱アンカー設置	支柱建込	支柱アンカー設置	支柱建込	支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ				4 m以下	4 m以下	4 m以下	4 m以下	世 話 役		人	4.7	2.6	2.0	1.3	特 殊 作 業 員		〃	10.0	—	4.4	—	鉄 骨 工		〃	—	3.8	—	1.9	普 通 作 業 員		〃	7.0	3.6	3.0	1.8	トラック（クレーン 装置付）運転	4 t積 2.9 t吊	h	—	19.1	—	9.5	諸 雑 費 率		%	5	2	7	2	
名 称	規 格				単 位	支柱間隔 2 m		支柱間隔 4 m																																																																																																																											
						支柱アンカー設置	支柱建込	支柱アンカー設置	支柱建込																																																																																																																										
		支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ		支柱高さ																																																																																																																													
			4 m以下	4 m以下	4 m以下	4 m以下																																																																																																																													
世 話 役		人	4.7	2.6	2.0	1.3																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	10.0	—	4.4	—																																																																																																																													
鉄 骨 工		〃	—	3.8	—	1.9																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	7.0	3.6	3.0	1.8																																																																																																																													
トラック（クレーン 装置付）運転	4 t積 2.9 t吊	h	—	19.1	—	9.5																																																																																																																													
諸 雑 費 率		%	5	2	6	2																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	支柱間隔 2 m		支柱間隔 4 m																																																																																																																														
			支柱アンカー設置	支柱建込	支柱アンカー設置	支柱建込																																																																																																																													
			支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ	支柱高さ																																																																																																																													
			4 m以下	4 m以下	4 m以下	4 m以下																																																																																																																													
世 話 役		人	4.7	2.6	2.0	1.3																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	10.0	—	4.4	—																																																																																																																													
鉄 骨 工		〃	—	3.8	—	1.9																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	7.0	3.6	3.0	1.8																																																																																																																													
トラック（クレーン 装置付）運転	4 t積 2.9 t吊	h	—	19.1	—	9.5																																																																																																																													
諸 雑 費 率		%	5	2	7	2																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の一部見直し(最終整備)
道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																
P.577 13・ 3	<p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接掘削積込</td> <td></td> <td>排出ガス対策型</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウによる掘削積込</td> <td>バックホウ</td> <td>(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート圧砕機によるとりこわし</td> <td>コンクリート圧砕機</td> <td>破砕力600kN級 開口幅 715-740mm</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカ・バケット容量0.25-0.3m³ 対応アタッチメント</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(大型ブレーカベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の敷均し</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ、(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ、大型ブレーカ、(大型ブレーカベースマシン)バックホウ、ブルドーザは資料とする。</p>	作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	直接掘削積込		排出ガス対策型				バックホウによる掘削積込	バックホウ	(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1		コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715-740mm	"	1		(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1		大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.25-0.3m ³ 対応アタッチメント	"	1		(大型ブレーカベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	"	1		路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	"	1		舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m	"	1		路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t	"	1		舗装の転圧	"	1		路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t	"	1		舗装の転圧	"	1		<p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接掘削積込</td> <td></td> <td>排出ガス対策型</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウによる掘削積込</td> <td>バックホウ</td> <td>(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート圧砕機によるとりこわし</td> <td>コンクリート圧砕機</td> <td>破砕力600kN級 開口幅 715-740mm</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカ・バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(大型ブレーカベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の敷均し</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ、(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ、大型ブレーカ、(大型ブレーカベースマシン)バックホウ、ブルドーザは資料とする。</p>	作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	直接掘削積込		排出ガス対策型				バックホウによる掘削積込	バックホウ	(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1		コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715-740mm	"	1		(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1		大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	"	1		(大型ブレーカベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	"	1		路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	"	1		舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m	"	1		路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t	"	1		舗装の転圧	"	1		路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t	"	1		舗装の転圧	"	1		
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																														
直接掘削積込		排出ガス対策型																																																																																																																																																	
バックホウによる掘削積込	バックホウ	(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1																																																																																																																																															
コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715-740mm	"	1																																																																																																																																															
	(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1																																																																																																																																															
大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.25-0.3m ³ 対応アタッチメント	"	1																																																																																																																																															
	(大型ブレーカベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	"	1																																																																																																																																															
舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m	"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t	"	1																																																																																																																																															
舗装の転圧			"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t	"	1																																																																																																																																															
舗装の転圧			"	1																																																																																																																																															
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																														
直接掘削積込		排出ガス対策型																																																																																																																																																	
バックホウによる掘削積込	バックホウ	(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1																																																																																																																																															
コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715-740mm	"	1																																																																																																																																															
	(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1																																																																																																																																															
大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	"	1																																																																																																																																															
	(大型ブレーカベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	"	1																																																																																																																																															
舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0-4.5m	"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8-20t	"	1																																																																																																																																															
舗装の転圧			"	1																																																																																																																																															
路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10-12t	"	1																																																																																																																																															
舗装の転圧			"	1																																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部見直し(最終整備)
道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘要																																																																																								
P.579 13・ 5	<p>5 - 5 道路打換え工事の損料補正〔参考〕 道路打換え工で使用する建設機械（コンクリート圧砕機（ベースマシン含まず）、アスファルトフィニッシャ）については、次表の供用日当り運転時間（t）により損料補正を行う。</p> <p>表5.6 供用日当り運転時間（t）及び運転日当り運転時間（T）</p> <table border="1" data-bbox="309 331 1102 742"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th colspan="2">供用日当り運転時間 t（h /（供）日）</th> <th colspan="2">運転日当り運転時間 T（h / 日）</th> </tr> <tr> <th>全層打換えの場 合</th> <th>舗装版のみの打 換えの場合</th> <th>全層打換えの場 合</th> <th>舗装版のみの打換えの場 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>3.0</td> <td>2.1</td> <td>3.8</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>2.9</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>標準値</td> <td>標準値</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td>標準値</td> <td>標準値</td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>1.8</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. タイヤローラ，ロードローラは、「建設機械等損料算定表」の標準の供用日当り運転時間を使用する。 2. 現場条件により，上表により難しい場合は，別途考慮する。 3. 運転時間Tは，運転労務算出に用いる。</p>	機 械 名	供用日当り運転時間 t（h /（供）日）		運転日当り運転時間 T（h / 日）		全層打換えの場 合	舗装版のみの打 換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの打換えの場 合	大 型 プ レ ー カ	1.4	1.5	1.8	1.9	コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	1.3	1.4	1.8	1.9	バ ッ ク ホ ウ	3.0	2.1	3.8	2.6	ブ ル ド ー ザ	2.5	1.8	2.9	2.1	タ イ ヤ ロ ー ラ	標準値	標準値	4.6	4.7	ロ ー ド ロ ー ラ	標準値	標準値	4.4	4.4	アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7	<p>5 - 5 道路打換え工事の供用日当り運転時間及び運転日当り運転時間 道路打換え工で使用する建設機械（コンクリート圧砕機（ベースマシン含まず）、アスファルトフィニッシャ）については、次表の供用日当り運転時間（t）により損料補正を行う。</p> <p>表5.6 供用日当り運転時間（t）及び運転日当り運転時間（T）</p> <table border="1" data-bbox="1220 331 2016 742"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th colspan="2">供用日当り運転時間 t（h /（供）日）</th> <th colspan="2">運転日当り運転時間 T（h / 日）</th> </tr> <tr> <th>全層打換えの場 合</th> <th>舗装版のみの打 換えの場合</th> <th>全層打換えの場 合</th> <th>舗装版のみの打換えの場 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.8</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.9</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>1.8</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. タイヤローラ，ロードローラは，「建設機械等損料算定表」の標準の供用日当り運転時間を使用する。 2. 現場条件により，上表により難しい場合は，別途考慮する。 3. 運転時間Tは，運転労務算出に用いる。 運転時間Tは，運転労務算出に用いる。</p>	機 械 名	供用日当り運転時間 t（h /（供）日）		運転日当り運転時間 T（h / 日）		全層打換えの場 合	舗装版のみの打 換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの打換えの場 合	大 型 プ レ ー カ	-	-	1.8	1.9	コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	-	-	1.8	1.9	バ ッ ク ホ ウ	-	-	3.8	2.6	ブ ル ド ー ザ	-	-	2.9	2.1	タ イ ヤ ロ ー ラ	-	-	4.6	4.7	ロ ー ド ロ ー ラ	-	-	4.4	4.4	アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7	
機 械 名	供用日当り運転時間 t（h /（供）日）		運転日当り運転時間 T（h / 日）																																																																																								
	全層打換えの場 合	舗装版のみの打 換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの打換えの場 合																																																																																							
大 型 プ レ ー カ	1.4	1.5	1.8	1.9																																																																																							
コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	1.3	1.4	1.8	1.9																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ	3.0	2.1	3.8	2.6																																																																																							
ブ ル ド ー ザ	2.5	1.8	2.9	2.1																																																																																							
タ イ ヤ ロ ー ラ	標準値	標準値	4.6	4.7																																																																																							
ロ ー ド ロ ー ラ	標準値	標準値	4.4	4.4																																																																																							
アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7																																																																																							
機 械 名	供用日当り運転時間 t（h /（供）日）		運転日当り運転時間 T（h / 日）																																																																																								
	全層打換えの場 合	舗装版のみの打 換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの打換えの場 合																																																																																							
大 型 プ レ ー カ	-	-	1.8	1.9																																																																																							
コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	-	-	1.8	1.9																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ	-	-	3.8	2.6																																																																																							
ブ ル ド ー ザ	-	-	2.9	2.1																																																																																							
タ イ ヤ ロ ー ラ	-	-	4.6	4.7																																																																																							
ロ ー ド ロ ー ラ	-	-	4.4	4.4																																																																																							
アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部見直し(最終整備)
道路打換え工

現行基準 のページ	現 行					改 正					摘要
P580 13・6	6. 単 価 表 (1) 100m ² 当り単価表 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機+機械施工					6. 単 価 表 (1) 100m ² 当り単価表 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機+機械施工					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1	
	特殊作業員		"		3×1/8×T' 「 」(注)1	特 殊 作 業 員		"		3×1/8×T' 「 」(注)1	
	普通作業員		"		4×1/8×T' 「 」(注)1	普 通 作 業 員		"		4×1/8×T' 「 」(注)1	
	クラッシャラ		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A,(注)2	ク ラ ッ シ ャ ラ ン		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A,(注)2	
	粒度調整碎石		"	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B,(注)2	粒 度 調 整 碎 石		"	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B,(注)2	
	生アスファルト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度(t/m ³) ×(1+ロス率)=C,(注)3	生 ア ス フ ァ ル ト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度(t/m ³) ×(1+ロス率)=C,(注)3	
	バックホウ (ベースマシン) 運 転		日		T _H /T (注)4	大 型 プ レ ー カ 運 転	油圧ブレーカバケ ット容量0.2m ³ 対 応 ベースマシン含む	日		T _H /T (注)4	
	大型ブレーカ 賃 料	油圧ブレーカバケ ット容量0.25~ 0.3m ³ 対応アタ ッチメント	"		T _H /T (注)4	バ ッ ク ホ ウ (コンクリ ート圧砕機ベースマ シ ン) 運 転	排出ガス対策型(第 1次基準値)クロー ラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ²)	"		T _H /T (注)4	
	コンクリート 圧 砕 機 損 料	破砕力600kN級 開口幅75~740mm	"		T _H /T (注)4	コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機 損 料	破砕600kN級 開口幅75~740mm	"		T _H /T (注)4	
	バックホウ運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積0.35m ²)	"		(T _{B1} 又はT _{B2})/T	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平 積0.35m ²)	"		(T _{B1} 又はT _{B2})/T	
	ブルドーザ運 転	排出ガス対策型 (第1次基準 値)3t級	"		「表5.3」 T _D /T×層数	ブ ル ド ー ザ 運 転	排出ガス対策型(第 1次基準値)3t級	"		「表5.3」 T _D /T×層数	
	タイヤローラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	
	ロードローラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	"		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	"		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	
	アスファルト フィニッシャ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型 2.0~4.5m	"		「表5.4」 T _F ×層数	ア ス フ ァ ル ト フ ィ ニ ッ シ ャ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型 2.0~4.5m	"		「表5.4」 T _F ×層数	
	諸 雑 費		式	1	表5.5	諸 雑 費		式	1	表5.5	
	計					計					

一部改正工種
道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘要
	<p>(注) 1. T': 5 - 3 労務歩掛による。</p> <p>2. ロス率は、「第11章 道路舗装 路盤工」3. 路盤材料の使用数量のロス率による。</p> <p>3. ロス率は、「第11章 道路舗装 アスファルト舗装工」3 - 1 混合物の設計数量のロス率による。</p> <p>4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1、表3.1により必要な場合のみ計上する。</p> <p>5. 大型ブレーカ、コンクリート圧砕機ベースマシン、バックホウ及びブルドーザは、賃料とする。</p> <p>6. 大型ブレーカ、バックホウ（ベースマシン）、バックホウ及びブルドーザは、賃料とする。</p>	<p>(注) 1. T': 5 - 3 労務歩掛による。</p> <p>2. ロス率は、「第11章 道路舗装 路盤工」3. 路盤材料の使用数量のロス率による。</p> <p>3. ロス率は、「第11章 道路舗装 アスファルト舗装工」3 - 1 混合物の設計数量のロス率による。</p> <p>4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1、表3.1により必要な場合のみ計上する。</p> <p>5. 大型ブレーカ、コンクリート圧砕機ベースマシン、バックホウ及びブルドーザは、賃料とする。</p> <p>6. 大型ブレーカ、バックホウ（ベースマシン）、バックホウ及びブルドーザは、賃料とする。</p>	

一部改正工種
道路打換え工

現行基準 のページ	現 行				改 正				摘要
	(2) 機械運転単価表				(2) 機械運転単価表				
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項	
	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	運転労務数量 0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 42(全層打換え) 29(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	運転労務数量 0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 42(全層打換え) 29(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)	
	大型ブレーカ	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	機-28	運転労務数量 0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 13(全層打換え) 14(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)	大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット容量 0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	機-28	運転労務数量 0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 13(全層打換え) 14(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)	
	コンクリート圧 砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス 対策型(第1次基準 値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	運転労務数量 0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 20(全層打換え) 21(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)	コンクリート圧 砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス 対策型(第1次基準 値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	運転労務数量 0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 20(全層打換え) 21(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)	
	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量 0.73(全層打換え) 0.53(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 15(全層打換え) 11(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.16(全層打換え) 1.17(舗装版のみ打換え)	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量 0.73(全層打換え) 0.53(舗装版のみ打換え) 燃料消費量 15(全層打換え) 11(舗装版のみ打換え) 賃料数量 1.16(全層打換え) 1.17(舗装版のみ打換え)	
	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量 0.22(全層打換え) 0.21(舗装版のみ打 換え)	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量 0.22(全層打換え) 0.21(舗装版のみ打換え)	
	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量 0.23	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量 0.23	
	アスファルトフィ ニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5 m	機-1	運転労務数量 0.25	アスファルトフィ ニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5 m	機-1	運転労務数量 0.25	

土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
路上表層再生工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																				
P583 13・④・2	<p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="235 231 1061 608"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>リペーブ工 法</th> <th>リミックス 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ</td> <td>加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>路上表層再生機と 組合せとする</td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機</td> <td>リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機</td> <td>リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>路上表層再生機と 組合せとする</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.1 路上表層再生工施工歩掛 (リペーブ工法, リミックス工法) (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="210 719 1084 1158"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ 運 転</td> <td>加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>h</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機運転</td> <td>施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 路面ヒーターは、2台の延運転時間である。 2. 運転労務は「第1章①建設機械運転労務」による。 3. 諸雑費は、舗装用器具（スムーサ、レーキ、スコップ、コテ、カッタ等）、加熱用燃料及びビット損耗費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	リペーブ工 法	リミックス 工 法	路 面 ヒ ー タ	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	台	2	2	路上表層再生機と 組合せとする	路上表層再生機	リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	1	—		路上表層再生機	リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	—	1		振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t	〃	1	1	路上表層再生機と 組合せとする	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t	〃	1	1	〃	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.05	特 殊 作 業 員		〃	0.16	普 通 作 業 員		〃	0.38	路 面 ヒ ー タ 運 転	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h	0.72	路上表層再生機運転	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	0.36	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃	0.36	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃	0.36	諸 雑 費 率		%	13	<p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1144 231 1971 608"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>リペーブ工 法</th> <th>リミックス 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ</td> <td>間接加熱方式 加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>路上表層再生機と 組合せとする</td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機</td> <td>リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機</td> <td>リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>路上表層再生機と 組合せとする</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.1 路上表層再生工施工歩掛 (リペーブ工法, リミックス工法) (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1115 719 1995 1158"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ 運 転</td> <td>間接加熱方式 加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>h</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>路上表層再生機運転</td> <td>施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>〃</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 路面ヒーターは、2台の延運転時間である。 2. 運転労務は「第1章①建設機械運転労務」による。 3. 諸雑費は、舗装用器具（スムーサ、レーキ、スコップ、コテ、カッタ等）、加熱用燃料及びビット損耗費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	リペーブ工 法	リミックス 工 法	路 面 ヒ ー タ	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	台	2	2	路上表層再生機と 組合せとする	路上表層再生機	リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	1	—		路上表層再生機	リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	—	1		振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t	〃	1	1	路上表層再生機と 組合せとする	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t	〃	1	1	〃	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.05	特 殊 作 業 員		〃	0.16	普 通 作 業 員		〃	0.38	路 面 ヒ ー タ 運 転	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h	0.72	路上表層再生機運転	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	0.36	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃	0.36	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃	0.36	諸 雑 費 率		%	13	
機 械 名	規 格				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																															
		リペーブ工 法	リミックス 工 法																																																																																																																																																				
路 面 ヒ ー タ	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	台	2	2	路上表層再生機と 組合せとする																																																																																																																																																		
路上表層再生機	リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	1	—																																																																																																																																																			
路上表層再生機	リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	—	1																																																																																																																																																			
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t	〃	1	1	路上表層再生機と 組合せとする																																																																																																																																																		
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t	〃	1	1	〃																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																				
世 話 役		人	0.05																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	0.16																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	0.38																																																																																																																																																				
路 面 ヒ ー タ 運 転	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h	0.72																																																																																																																																																				
路上表層再生機運転	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	0.36																																																																																																																																																				
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃	0.36																																																																																																																																																				
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃	0.36																																																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	13																																																																																																																																																				
機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																		
			リペーブ工 法	リミックス 工 法																																																																																																																																																			
路 面 ヒ ー タ	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	台	2	2	路上表層再生機と 組合せとする																																																																																																																																																		
路上表層再生機	リペーブ用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	1	—																																																																																																																																																			
路上表層再生機	リミックス用 施工幅2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	—	1																																																																																																																																																			
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型6～7.5 t	〃	1	1	路上表層再生機と 組合せとする																																																																																																																																																		
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～ 20 t	〃	1	1	〃																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																				
世 話 役		人	0.05																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	0.16																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	0.38																																																																																																																																																				
路 面 ヒ ー タ 運 転	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h	0.72																																																																																																																																																				
路上表層再生機運転	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃	0.36																																																																																																																																																				
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃	0.36																																																																																																																																																				
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃	0.36																																																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	13																																																																																																																																																				

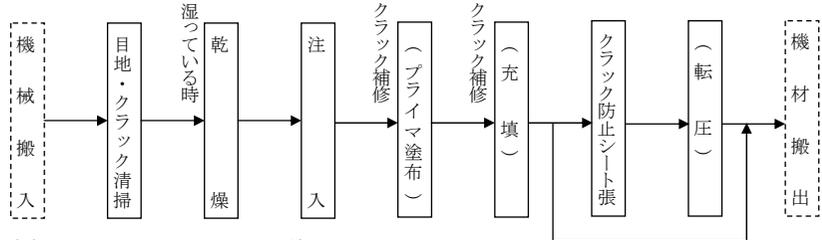
土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
路上表層再生工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																
P584 13・④・3	<p>(1) 路上表層再生工100m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>新 規 合 材</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>添 加 剤</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>必要量を計上する</td> </tr> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ 運 転</td> <td>加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>路 上 表 層 再 生 機 運 転</td> <td>〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ</td> <td>加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路 上 表 層 再 生 機</td> <td>施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>機-1</td> <td>工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	新 規 合 材		t		式4.1	添 加 剤		kg		必要量を計上する	路 面 ヒ ー タ 運 転	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h		表4.1	路 上 表 層 再 生 機 運 転	〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃		〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃		〃	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	路 面 ヒ ー タ	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	機-1		路 上 表 層 再 生 機	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	機-1	工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	機-1		タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-1		<p>(1) 路上表層再生工100m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>新 規 合 材</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>添 加 剤</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>必要量を計上する</td> </tr> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ 運 転</td> <td>間接加熱方式 加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>路 上 表 層 再 生 機 運 転</td> <td>〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路 面 ヒ ー タ</td> <td>間接加熱方式 加熱面積 20～23m² 発熱量502～586万kJ/h</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路 上 表 層 再 生 機</td> <td>施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm</td> <td>機-1</td> <td>工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	新 規 合 材		t		式4.1	添 加 剤		kg		必要量を計上する	路 面 ヒ ー タ 運 転	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h		表4.1	路 上 表 層 再 生 機 運 転	〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃		〃	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃		〃	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	路 面 ヒ ー タ	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	機-1		路 上 表 層 再 生 機	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	機-1	工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	機-1		タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-1		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																															
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																															
新 規 合 材		t		式4.1																																																																																																																																																															
添 加 剤		kg		必要量を計上する																																																																																																																																																															
路 面 ヒ ー タ 運 転	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h		表4.1																																																																																																																																																															
路 上 表 層 再 生 機 運 転	〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃		〃																																																																																																																																																															
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃		〃																																																																																																																																																															
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃		〃																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																
路 面 ヒ ー タ	加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	機-1																																																																																																																																																																	
路 上 表 層 再 生 機	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	機-1	工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する																																																																																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	機-1																																																																																																																																																																	
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-1																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																															
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																															
新 規 合 材		t		式4.1																																																																																																																																																															
添 加 剤		kg		必要量を計上する																																																																																																																																																															
路 面 ヒ ー タ 運 転	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	h		表4.1																																																																																																																																																															
路 上 表 層 再 生 機 運 転	〇〇用 施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	〃		〃																																																																																																																																																															
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	〃		〃																																																																																																																																																															
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	〃		〃																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																
路 面 ヒ ー タ	間接加熱方式 加熱面積 20～23m ² 発熱量502～586万kJ/h	機-1																																																																																																																																																																	
路 上 表 層 再 生 機	施工幅 2.3～4m かきおこし深さ 5cm	機-1	工法によって(リペーブ用)又は(リミックス用)を選択する																																																																																																																																																																
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 タンデム型 6～7.5 t	機-1																																																																																																																																																																	
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20 t	機-1																																																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
路上路盤再生工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
<p>P585 13・⑤・1</p> <p>P586 13・⑤・2</p> <p>P586 13・⑤・2</p>	<p>⑤ 路上再生路盤工</p> <p>5. 日当り施工量 路上再生路盤工の標準的な日当り施工量は、次のとおりとする。</p> <p>7-1 路上再生路盤 100m² 当り単価表</p>	<p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>5. 日当り施工量 路上路盤再生工の標準的な日当り施工量は、次のとおりとする。</p> <p>7-1 路上路盤再生 100m² 当り単価表</p>	

一部改正工種
目地補修工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																														
標準歩掛 P592	<p>13章 道路維持修繕</p> <p>⑦ 目地補修工</p> <p>1. 適用範囲 コンクリート舗装版の目地及びクラックの補修に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 補修歩掛 補修歩掛は、次表とする。</p> <p>表3.1 補修歩掛 (1,000m当り)</p> <table border="1" data-bbox="224 837 1075 1141"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">補 修 箇 所</th> </tr> <tr> <th>目 地</th> <th>クラック</th> <th>クラック防止シート張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.5</td> <td>1.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8</td> <td>7.7</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>ジョイントクリーナカット損耗量</td> <td>6枚/組</td> <td>組</td> <td>1.4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目地補修の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値)), ジョイントクリーナ, ジョイントシーラ, アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ等の費用であり, 労務費, 損耗費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. クラック補修の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値)), アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. クラック防止シート張の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))の損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ, クラック防止シート等の割増しの費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	補 修 箇 所			目 地	クラック	クラック防止シート張	世 話 役		人	1.3	1.3	1.2	特 殊 作 業 員		〃	2.5	1.2	0.6	普 通 作 業 員		〃	5.8	7.7	3.8	ジョイントクリーナカット損耗量	6枚/組	組	1.4	—	—	諸 雑 費 率		%	16	12	17	<p>現行どおり</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 補修歩掛 補修歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 補修歩掛 (1,000m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1120 837 1971 1141"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">補 修 箇 所</th> </tr> <tr> <th>目 地</th> <th>クラック</th> <th>クラック防止シート張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.5</td> <td>1.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8</td> <td>7.7</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>ジョイントクリーナカット</td> <td>6枚/組</td> <td>組</td> <td>1.4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目地補修の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値)), ジョイントクリーナ, ジョイントシーラ, アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ等の費用であり, 労務費, 損耗費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. クラック補修の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値)), アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. クラック防止シート張の諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))の損料・運転経費及びびまうき, ハケ, プライマ, クラック防止シート等の割増しの費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	補 修 箇 所			目 地	クラック	クラック防止シート張	世 話 役		人	1.3	1.3	1.2	特 殊 作 業 員		〃	2.5	1.2	0.6	普 通 作 業 員		〃	5.8	7.7	3.8	ジョイントクリーナカット	6枚/組	組	1.4	—	—	諸 雑 費 率		%	16	12	17	
名 称	規 格				単 位	補 修 箇 所																																																																											
		目 地	クラック	クラック防止シート張																																																																													
世 話 役		人	1.3	1.3	1.2																																																																												
特 殊 作 業 員		〃	2.5	1.2	0.6																																																																												
普 通 作 業 員		〃	5.8	7.7	3.8																																																																												
ジョイントクリーナカット損耗量	6枚/組	組	1.4	—	—																																																																												
諸 雑 費 率		%	16	12	17																																																																												
名 称	規 格	単 位	補 修 箇 所																																																																														
			目 地	クラック	クラック防止シート張																																																																												
世 話 役		人	1.3	1.3	1.2																																																																												
特 殊 作 業 員		〃	2.5	1.2	0.6																																																																												
普 通 作 業 員		〃	5.8	7.7	3.8																																																																												
ジョイントクリーナカット	6枚/組	組	1.4	—	—																																																																												
諸 雑 費 率		%	16	12	17																																																																												

一部改正工種
目地補修工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																			
標準歩掛 P592	<p>3-2 填充材料の使用量 填充材料の使用量は、次式による。 $G=100 \times g \times W \times D \times (1+K)$ ……式3.1 G：補修長1,000m当り数量 (kg) g：填充材の単位質量 (kg/ℓ) W：補修幅 (cm) D：補修深さ (〃) K：補修箇所によるロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 30%;">補修箇所</td> <td style="width: 30%;">目地</td> <td style="width: 40%;">クラック</td> </tr> <tr> <td>ロス率</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> </table>	補修箇所	目地	クラック	ロス率	+0.10		<p>3-2 材料使用量 填充材料の使用量は、次式による。 $G=100 \times g \times W \times D \times (1+K)$ ……式3.1 G：補修長1,000m当り数量 (kg) g：填充材の単位質量 (kg/ℓ) W：補修幅 (cm) D：補修深さ (〃) K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 30%;">補修箇所</td> <td style="width: 30%;">目地</td> <td style="width: 40%;">クラック</td> </tr> <tr> <td>ロス率</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> </table>	補修箇所	目地	クラック	ロス率	+0.10																																																																																																									
補修箇所	目地	クラック																																																																																																																				
ロス率	+0.10																																																																																																																					
補修箇所	目地	クラック																																																																																																																				
ロス率	+0.10																																																																																																																					
標準歩掛 P593	<p>4. 単価表 (1) 目地補修(目地) 1,000m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>填 充 材</td> <td>加熱式</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>ジョイントクリーナ カッタ損耗量</td> <td>6枚/組</td> <td>組</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 目地補修(クラック) 1,000m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>填 充 材</td> <td>加熱式</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	填 充 材	加熱式	kg		式3.1	ジョイントクリーナ カッタ損耗量	6枚/組	組		表3.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	填 充 材	加熱式	kg		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.1	計					<p>4. 単価表 (1) 目地補修(目地) 1,000m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>填 充 材</td> <td>加熱式</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>ジョイントクリーナカッタ</td> <td>6枚/組</td> <td>組</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">} 現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	填 充 材	加熱式	kg		式3.1	ジョイントクリーナカッタ	6枚/組	組		表3.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
填 充 材	加熱式	kg		式3.1																																																																																																																		
ジョイントクリーナ カッタ損耗量	6枚/組	組		表3.1																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																		
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
填 充 材	加熱式	kg		式3.1																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																		
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																		
填 充 材	加熱式	kg		式3.1																																																																																																																		
ジョイントクリーナカッタ	6枚/組	組		表3.1																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																		
計																																																																																																																						

一部改正工種
目地補修工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																			
標準歩掛 P593	<p>(3) クラック防止シート張1,000m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="241 263 1057 547"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ク ラ ッ ク 防 止 シ ー ト</td> <td>各 種</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ク ラ ッ ク 防 止 シ ー ト	各 種	m			諸 雑 費		式	1	表3.1	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																		
世 話 役		人		表3.1																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																		
ク ラ ッ ク 防 止 シ ー ト	各 種	m																																				
諸 雑 費		式	1	表3.1																																		
計																																						

土木工事標準歩掛の一部見直し
床版補強工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
標準歩掛 P596	<p>7. 足 場 工</p> <p>7-1 床版補強工における足場工費の算定は、次式による（橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス、アーチ等各橋種共通）。</p> <p>(1) 足場</p> <p>桁高1.5m以上の場合 足場工費 = $(465X + 0.153y) \times A$ 式7-1</p> <p>桁高1.5m未満の場合 足場工費 = $(420X + 0.130y) \times A$ 式7-2</p> <p>X : 主体足場を架設している供用月数 (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入とする)</p> <p>A : 足場工の必要橋面積 (m²)</p> <p>y : 橋梁特殊工単価 (円/人)</p>	<p>7. 足 場 工</p> <p>7-1 床版補強工における足場工費の算定は、次式による（橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス、アーチ等各橋種共通）。</p> <p>(1) 足場</p> <p>桁高1.5m以上の場合 足場工費 = $(470X + 0.153y) \times A$ 式7-1</p> <p>桁高1.5m未満の場合 足場工費 = $(425X + 0.130y) \times A$ 式7-2</p> <p>X : 主体足場を架設している供用月数 (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入とする)</p> <p>A : 足場工の必要橋面積 (m²)</p> <p>y : 橋梁特殊工単価 (円/人)</p>	

土木工事標準歩掛の一部見直し
橋梁補修工（支承取替工）

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																
標準歩掛 P 6 1 5	<p>(1) 足場工費 足場工費の積算は次式による。 足場工費 = (M + S x + N y) × A (円) M : 損耗係数 (表2.3) S : 損料係数 (表2.3) x : 足場供用日数 (日) N : 設置・撤去歩掛係数 (表2.3) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 足場面積 (m²)</p> <p style="text-align: center;">表2.3 足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="439 504 857 564"> <thead> <tr> <th>記 号</th> <th>M</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係 数</td> <td>708</td> <td>17</td> <td>0.26</td> </tr> </tbody> </table>	記 号	M	S	N	係 数	708	17	0.26	<p>(1) 足場工費 足場工費の積算は次式による。 足場工費 = (M + S x + N y) × A (円) M : 損耗係数 (表2.3) S : 損料係数 (表2.3) x : 足場供用日数 (日) N : 設置・撤去歩掛係数 (表2.3) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 足場面積 (m²)</p> <p style="text-align: center;">表2.3 足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="1337 504 1756 564"> <thead> <tr> <th>記 号</th> <th>M</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係 数</td> <td>708</td> <td>18</td> <td>0.26</td> </tr> </tbody> </table>	記 号	M	S	N	係 数	708	18	0.26	
記 号	M	S	N																
係 数	708	17	0.26																
記 号	M	S	N																
係 数	708	18	0.26																

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
<p>標準歩掛 P 6 1 7</p> <p>13章 道路舗装 ① 落橋防止工装置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、落橋防止装置設置（けたかかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、橋梁補強工には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 コンクリート削孔機種を選定は下図による。</p> <p>(注) 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。</p> <p>図 3-1 機種を選定</p>	<p>現行どおり</p> <p>3. 機種を選定 コンクリート削孔機種を選定は下図による。</p> <p>(注) 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。</p> <p>図 3-1 機種を選定</p>		

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																
標準歩掛 P618	<p>4. 施工歩掛</p> <p>4-1 コンクリート削孔工 (コアボーリングマシン) コアボーリングマシン1台当りの削孔歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="248 320 1055 560"> <thead> <tr> <th colspan="2">削孔機械名</th> <th colspan="5">コアボーリングマシン</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <th colspan="2">50以下</th> <th colspan="3">50を超え110以下</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th colspan="2">削孔深(mm)</th> <th>500以下</th> <th>500を超え1000以下</th> <th>1000を超え1300以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット(N)</td> <td>個</td> <td>2.2</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量(D)</td> <td>孔</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無に関わらず適用できるものとする。 2. コアボーリングマシンの諸雑費は削孔機損料、水中ポンプ損料、コアボーリングマシン固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. コアボーリングマシンの施工に伴う泥水処理(産業廃棄物の運搬、処理費)が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>4-2 コアボーリングマシンの使用ビット径 コアボーリングマシンの適用削孔径に対する使用ビット径は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 適用削孔径と使用ビット径</p> <table border="1" data-bbox="237 863 1066 1018"> <thead> <tr> <th>適用削孔径(mm)</th> <th>27以下</th> <th>27を超え33以下</th> <th>33を超え40以下</th> <th>40を超え53以下</th> <th>53を超え64以下</th> <th>64を超え77以下</th> <th>77を超え90以下</th> <th>90を超え110以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用ビット径(mm)</td> <td>27.6</td> <td>33.1</td> <td>40.0</td> <td>53.1</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 コンクリート削孔工 (ハンマドリル, 削岩機) 沓座幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔に適用するものとし、削孔機械1台当りの施工歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="286 1150 931 1394"> <thead> <tr> <th colspan="2">削孔機械名</th> <th>ハンマドリル</th> <th colspan="2">削岩機 (ハンドハンマ)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <td>20以上30以下</td> <td colspan="2">20以上50以下</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th colspan="2">削孔深(mm)</th> <th>200以下</th> <th>200を超え500以下</th> <th>500を超え800以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>15</td> <td>19</td> <td colspan="2">20</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量(D)</td> <td>孔</td> <td>84</td> <td>48</td> <td colspan="2">38</td> </tr> </tbody> </table>	削孔機械名		コアボーリングマシン					削孔径(mm)		50以下		50を超え110以下			名称	単位	削孔深(mm)		500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下	世 話 役	人	1					特 殊 作 業 員	〃	1					ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3	諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11	日当り施工量(D)	孔	20	12	11	9	6	適用削孔径(mm)	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下	使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110	削孔機械名		ハンマドリル	削岩機 (ハンドハンマ)		削孔径(mm)		20以上30以下	20以上50以下		名称	単位	削孔深(mm)		200以下	200を超え500以下	500を超え800以下	世 話 役	人	1	1		特 殊 作 業 員	〃	1	2		諸 雑 費 率	%	15	19	20		日当り施工量(D)	孔	84	48	38		<p>4. 施工歩掛</p> <p>4-1 コンクリート削孔工 (コアボーリングマシン) コアボーリングマシン1台当りの削孔歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1144 320 1951 560"> <thead> <tr> <th colspan="2">削孔機械名</th> <th colspan="5">コアボーリングマシン</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <th colspan="2">50以下</th> <th colspan="3">50を超え110以下</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th colspan="2">削孔深(mm)</th> <th>500以下</th> <th>500を超え1000以下</th> <th>1000を超え1300以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット(N)</td> <td>個</td> <td>2.2</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量(D)</td> <td>孔</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来るものとする。 2. コアボーリングマシンの諸雑費は削孔機損料、水中ポンプ損料、コアボーリングマシン固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. コアボーリングマシンの施工に伴う泥水処理(産業廃棄物の運搬、処理費)が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4-3 コンクリート削孔工 (ハンマドリル, さく岩機) 沓座幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔に適用するものとし、削孔機械1台当りの施工歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1200 1150 1845 1394"> <thead> <tr> <th colspan="2">削孔機械名</th> <th>ハンマドリル</th> <th colspan="2">さく岩機 (ハンドハンマ)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <td>20以上30以下</td> <td colspan="2">20以上50以下</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th colspan="2">削孔深(mm)</th> <th>200以下</th> <th>200を超え500以下</th> <th>500を超え800以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>15</td> <td>19</td> <td colspan="2">20</td> </tr> <tr> <td>日当り施工量(D)</td> <td>孔</td> <td>84</td> <td>48</td> <td colspan="2">38</td> </tr> </tbody> </table>	削孔機械名		コアボーリングマシン					削孔径(mm)		50以下		50を超え110以下			名称	単位	削孔深(mm)		500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下	世 話 役	人	1					特 殊 作 業 員	〃	1					ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3	諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11	日当り施工量(D)	孔	20	12	11	9	6	削孔機械名		ハンマドリル	さく岩機 (ハンドハンマ)		削孔径(mm)		20以上30以下	20以上50以下		名称	単位	削孔深(mm)		200以下	200を超え500以下	500を超え800以下	世 話 役	人	1	1		特 殊 作 業 員	〃	1	2		諸 雑 費 率	%	15	19	20		日当り施工量(D)	孔	84	48	38		
削孔機械名		コアボーリングマシン																																																																																																																																																																																																																	
削孔径(mm)		50以下		50を超え110以下																																																																																																																																																																																																															
名称	単位	削孔深(mm)		500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下																																																																																																																																																																																																													
世 話 役	人	1																																																																																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員	〃	1																																																																																																																																																																																																																	
ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11																																																																																																																																																																																																													
日当り施工量(D)	孔	20	12	11	9	6																																																																																																																																																																																																													
適用削孔径(mm)	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下																																																																																																																																																																																																											
使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110																																																																																																																																																																																																											
削孔機械名		ハンマドリル	削岩機 (ハンドハンマ)																																																																																																																																																																																																																
削孔径(mm)		20以上30以下	20以上50以下																																																																																																																																																																																																																
名称	単位	削孔深(mm)		200以下	200を超え500以下	500を超え800以下																																																																																																																																																																																																													
世 話 役	人	1	1																																																																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員	〃	1	2																																																																																																																																																																																																																
諸 雑 費 率	%	15	19	20																																																																																																																																																																																																															
日当り施工量(D)	孔	84	48	38																																																																																																																																																																																																															
削孔機械名		コアボーリングマシン																																																																																																																																																																																																																	
削孔径(mm)		50以下		50を超え110以下																																																																																																																																																																																																															
名称	単位	削孔深(mm)		500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下																																																																																																																																																																																																													
世 話 役	人	1																																																																																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員	〃	1																																																																																																																																																																																																																	
ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11																																																																																																																																																																																																													
日当り施工量(D)	孔	20	12	11	9	6																																																																																																																																																																																																													
削孔機械名		ハンマドリル	さく岩機 (ハンドハンマ)																																																																																																																																																																																																																
削孔径(mm)		20以上30以下	20以上50以下																																																																																																																																																																																																																
名称	単位	削孔深(mm)		200以下	200を超え500以下	500を超え800以下																																																																																																																																																																																																													
世 話 役	人	1	1																																																																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員	〃	1	2																																																																																																																																																																																																																
諸 雑 費 率	%	15	19	20																																																																																																																																																																																																															
日当り施工量(D)	孔	84	48	38																																																																																																																																																																																																															

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																															
<p>標準歩掛 P 6 1 8</p> <p>標準歩掛 P 6 1 9</p>	<p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無に関わらず適用できるものとする。 2. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 3. ハンマドリルの諸雑費はビット、ハンマドリル損料及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 削岩機の諸雑費はロッド、ビット、削岩機損料及び空気圧縮機の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>4-4 アンカー工 (1) アンカー工は、孔内清掃、エポキシ樹脂系注入材(現場調合式)によるアンカー定着までの作業を含み、歩掛は次表とする。なお、PC中間貫通鋼材や沓座広幅のアンカーボルト挿入工、注入材が不要なアンカー材及びその他の注入材には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">表 4.4 アンカー工歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="230 592 1072 879"> <thead> <tr> <th rowspan="2">適用アンカー径(mm)</th> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> <th colspan="2">日当り施工量D(本/日)</th> </tr> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>下方向</th> <th>横方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンカー径 25 以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">0.1(1)</td> <td style="text-align: center;">68</td> <td style="text-align: center;">53</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 25 を超え 40 以下</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 40 を超え 55 以下</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 55 を超え 70 以下</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 70 を超え 85 以下</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、集塵機損料及びエポキシ樹脂系シーリング材の費用とし、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、横方向におけるアンカー施工の場合は()内の率とする。 2. 上方向のアンカー打込みの場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 注入材使用量 エポキシ樹脂系注入材を標準とし、100 箇所当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = $\{(D^2 - d^2) \times \pi \times 1/4 \times \ell \times 100 \text{ 本}\} \times M \times (1 + K)$ (kg/100 本) ……式 4.1 D : 削孔径(m) d : アンカー材径(m) ℓ : 削孔深(m) M : 単位質量は 1,200kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p>	適用アンカー径(mm)	編成人員(人)			諸雑費率 (%)	日当り施工量D(本/日)		世 話 役	特殊作業員	普通作業員	下方向	横方向	アンカー径 25 以下	1	2	1	0.1(1)	68	53	アンカー径 25 を超え 40 以下	51	36	アンカー径 40 を超え 55 以下	37	24	アンカー径 55 を超え 70 以下	26	15	アンカー径 70 を超え 85 以下	18	9	<p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来るものとする。 2. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 3. ハンマドリルの諸雑費はビット、ハンマドリル損料及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. さく岩機の諸雑費はロッド、ビット、さく岩機損料及び空気圧縮機の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 注入材使用量 エポキシ樹脂系注入材を標準とし、100本当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = $\{(D^2 - d^2) \times \pi \times 1/4 \times \ell \times 100 \text{ 本}\} \times M \times (1 + K)$ (kg/100 本) ……式 4.1 D : 削孔径(m) d : アンカー材径(m) ℓ : 削孔深(m) M : 単位質量は 1,200kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p>	
適用アンカー径(mm)	編成人員(人)			諸雑費率 (%)	日当り施工量D(本/日)																													
	世 話 役	特殊作業員	普通作業員		下方向	横方向																												
アンカー径 25 以下	1	2	1	0.1(1)	68	53																												
アンカー径 25 を超え 40 以下					51	36																												
アンカー径 40 を超え 55 以下					37	24																												
アンカー径 55 を超え 70 以下					26	15																												
アンカー径 70 を超え 85 以下					18	9																												

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要									
標準歩掛 P619	<p>4-5 充填補修 (1) 不達孔の充填補修歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.5 充填補修歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">充 填 補 修</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">日 当 り 施 工 量 D (孔/日)</th> </tr> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補修材使用量 セメント系グラウト材を標準とし、100 箇所当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = {D² × π × 1/4 × l × 100 本} × M × (1+K) (kg/100 孔) ……式 4.2 D : 削孔径(m) l : 削孔深(m) M : 単位質量は 1,875kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p>	充 填 補 修	編 成 人 員 (人)		日 当 り 施 工 量 D (孔/日)	世 話 役	普 通 作 業 員	1	1	59	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 補修材使用量 セメント系グラウト材を標準とし、100孔当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = {D² × π × 1/4 × l × 100 本} × M × (1+K) (kg/100 孔) ……式 4.2 D : 削孔径(m) l : 削孔深(m) M : 単位質量は 1,875kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p>	
充 填 補 修	編 成 人 員 (人)		日 当 り 施 工 量 D (孔/日)									
	世 話 役			普 通 作 業 員								
	1	1	59									

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																									
標準歩掛 P620	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) コアボーリングマシン100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="271 300 1032 592"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コアボーリングマシ ン 用 ビ ッ ト</td> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>個</td> <td>100/D×N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D:日当り施工量(孔/日) 2. N:日当りビット使用量(個/日)</p> <p>(2) ハンマドリル100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="271 703 1032 922"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(孔/日)</p> <p>(3) 削岩機100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="271 1002 1032 1241"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(孔/日)</p>	名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃	コアボーリングマシ ン 用 ビ ッ ト	ダイヤモンドビット	個	100/D×N	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現行どおり</p> <p>(3) さく岩機100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1167 1002 1928 1241"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(孔/日)</p>	名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																																																																																								
世 話 役		人	100/D×1	表4.1																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																																																																																								
コアボーリングマシ ン 用 ビ ッ ト	ダイヤモンドビット	個	100/D×N	〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																																																																																								
世 話 役		人	100/D×1	表4.3																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																																																																																								
世 話 役		人	100/D×1	表4.3																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																																																																																								
世 話 役		人	100/D×1	表4.3																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																								
計																																																																																																												

一部改正工種
落橋防止装置工

現行基準 のページ	現 行					改 正	摘 要																																								
標準歩掛 P620	<p>(4) アンカー工100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="262 236 1039 630"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アンカー材材料費</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注 入 材</td> <td>エポキシ樹脂材</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(本/日)</p>					名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.4	特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃	普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃	アンカー材材料費		本	100		注 入 材	エポキシ樹脂材	kg		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					<p>現行どおり</p>	
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																											
世 話 役		人	100/D×1	表4.4																																											
特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃																																											
普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																											
アンカー材材料費		本	100																																												
注 入 材	エポキシ樹脂材	kg		式4.1																																											
諸 雑 費		式	1	表4.4																																											
計																																															
標準歩掛 P621	<p>(5) 充填補修100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="262 737 1039 1034"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>充 填 材</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(孔/日)</p>					名 称	規 格	単	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.5	普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃	充 填 材	セメント系	kg		式4.2	諸 雑 費		式	1		計																
名 称	規 格	単	数 量	摘 要																																											
世 話 役		人	100/D×1	表4.5																																											
普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																											
充 填 材	セメント系	kg		式4.2																																											
諸 雑 費		式	1																																												
計																																															

土木工事標準歩掛の一部見直し（最終整備）
道路清掃工(標識清掃工)

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																				
P659 13・⑮・9	<p style="text-align: center;">表6.1 機種及び規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="width: 50%;">機 械 名</th> <th style="width: 50%;">規 格</th> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装リフト・ブーム型 作業床高さ12m</td> </tr> </table> <p>6-6 単 価 表 (1) 標識清掃 10 枚当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0×10/D</td> <td>表6.2, 6.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車 運 転</td> <td>トラック架装リフト ブーム型 作業床高さ12m</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量</p>	機 械 名	規 格	高 所 作 業 車	トラック架装リフト・ブーム型 作業床高さ12m	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1.0×10/D	表6.2, 6.3	普 通 作 業 員		〃	2.0×10/D	〃	高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト ブーム型 作業床高さ12m	日	10/D	表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)	諸 雑 費		式	1	表6.4	計					<p style="text-align: center;">表6.1 機種及び規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="width: 50%;">機 械 名</th> <th style="width: 50%;">規 格</th> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装リフト・ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名</td> </tr> </table> <p>6-6 単 価 表 (1) 標識清掃 10 枚当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0×10/D</td> <td>表6.2, 6.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車 運 転</td> <td>トラック架装リフト ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量</p>	機 械 名	規 格	高 所 作 業 車	トラック架装リフト・ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1.0×10/D	表6.2, 6.3	普 通 作 業 員		〃	2.0×10/D	〃	高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名	日	10/D	表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)	諸 雑 費		式	1	表6.4	計					
機 械 名	規 格																																																																						
高 所 作 業 車	トラック架装リフト・ブーム型 作業床高さ12m																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人	1.0×10/D	表6.2, 6.3																																																																			
普 通 作 業 員		〃	2.0×10/D	〃																																																																			
高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト ブーム型 作業床高さ12m	日	10/D	表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)																																																																			
諸 雑 費		式	1	表6.4																																																																			
計																																																																							
機 械 名	規 格																																																																						
高 所 作 業 車	トラック架装リフト・ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人	1.0×10/D	表6.2, 6.3																																																																			
普 通 作 業 員		〃	2.0×10/D	〃																																																																			
高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト ブーム型 (直伸式) 作業床高さ12m 積載荷重200kg 定員2名	日	10/D	表6.3 (片持式・門型式の場合のみ計上)																																																																			
諸 雑 費		式	1	表6.4																																																																			
計																																																																							

平成21年度 土木工事標準歩掛の一部見直し
共同溝工

現行基準 のページ	現 行				改 正				摘 要
標準歩掛 P704	<p>① 共同溝工 13-10 機械運転単価表</p>				<p>① 共同溝工 13-10 機械運転単価表</p>				
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通3t級	機-1		ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通3t級	機-1		
	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t	機-9		振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t	機-9		
	タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 8~20t	機-1		タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 8~20t	機-1		
	タンパ	60~80kg	機-8	運転時間6h/日	タンパ	60~80kg	機-8	運転時間6h/日	
	クラムシエル	テレスコピック式・クローラ型・ 平積0.4m ³	機-1		クラムシエル	テレスコピック式・クローラ型・ 平積0.4m ³	機-1		
	小型バックホウ	排出ガス対策型・クローラ型（第1 次基準値）山積0.08m ³ （平積0.06 m ³ ）	機-23	燃料消費量→9 機械損料数量→1.67	小型バックホウ	排出ガス対策型（ <u>第1次基準値</u> ）・ クローラ型 山積0.08m ³ （平積0.06m ³ ）	機-23	燃料消費量→9 機械損料数量→1.67	
	コンクリートポンプ 車	ブーム式 90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→ コンクリートポンプ車 （ブーム式 90~110m ³ /h）	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→ コンクリートポンプ車 （ブーム式 90~110m ³ / h）	
機械損料2→ コンクリート圧送管（径 125mm） 単位→m・h 数量→L×1h				機械損料2→ コンクリート圧送管（径 125mm） 単位→m・h 数量→L×1h					
	コンクリートポンプ 車	ブーム式 65~85m ³ /h	機-3	機械損料1→ コンクリートポンプ車 （ブーム式 65~85m ³ /h）	コンクリートポンプ車	ブーム式 65~85m ³ /h	機-3	機械損料1→ コンクリートポンプ車 （ブーム式 65~85m ³ / h）	
機械損料2→ コンクリート圧送管（径 125mm） 単位→m・h 数量→L2×1h				機械損料2→ コンクリート圧送管（径 125mm） 単位→m・h 数量→L2×1h					
	<p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. L2は、圧送管の延長とする。</p>				<p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. L2は、圧送管の延長とする。</p>				

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																								
P.723 15-①-1	<p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。 なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長 2,500m以下、設計掘削断面積 50m²以上 95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、発破工法に適用する。 ② 発破工法は、普通一般地質における補助ベンチ付全断面掘削工法及び上半先進ベンチカット工法に適用する。 ③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。 ④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積 50m²未満のものは、別途考慮する。また、設計掘削断面積 95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難しい場合は、別途考慮する。 ⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。 ⑥ 掘削区分A、Eについては、別途考慮する。 ⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p>	<p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。 なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長 2,500m以下、設計掘削断面積 50m²以上 95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、発破工法に適用する。 ② 発破工法は、普通一般地質における補助ベンチ付全断面掘削工法及び上半先進ベンチカット工法に適用する。 ③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。 ④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積 50m²未満のものは、別途考慮する。また、設計掘削断面積 95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難しい場合は、別途考慮する。 ⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。 ⑥ 掘削区分A、CII-a、DI-a、Eについては、別途考慮する。 ⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p>																																																																																									
P.730 15-①-8	<p>3-7-3 照明設備</p> <p>坑内照明は、40W蛍光灯を片側5m間隔に設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>	<p>3-7-3 照明設備</p> <p>坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>																																																																																									
P.740 15-①-18	<p>(3) 設計吹付厚及び補正係数</p> <p>設計吹付厚及び補正係数は、次表を標準とする。</p> <p>表4.15 設計吹付厚及び補正係数</p> <table border="1" data-bbox="244 951 1055 1294"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削区分</th> <th>設計吹付厚(cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上下半</td> <td>B</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>25%</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>CI</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>25%</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>CII</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>25%</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上半</td> <td>DI</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>DI</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>DI</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>DI</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補正係数には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K) = (設計吹付厚 + 余吹厚) / (設計吹付厚 × (1 - はね返り率))</p>	加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上下半	B	5	4	25%	2.4	CI	10	5	25%	2.0	CII	10	7	25%	2.3	上半	DI	15	7	30%	2.1	DI	20	7	30%	1.9	下半	DI	15	7	20%	1.8	DI	20	7	20%	1.7	<p>(3) 設計吹付厚及びロス率</p> <p>設計吹付厚及びロス率は、次表を標準とする。</p> <p>表4.15 設計吹付厚及び補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1144 951 1955 1294"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削区分</th> <th>設計吹付厚(cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上下半</td> <td>B</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>25%</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>CI</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>25%</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>CII</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>25%</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上半</td> <td>DI</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>DI</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>DI</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>DI</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K) = (設計吹付厚 + 余吹厚) / (設計吹付厚 × (1 - はね返り率))</p>	加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上下半	B	5	4	25%	2.4	CI	10	5	25%	2.0	CII	10	7	25%	2.3	上半	DI	15	7	30%	2.1	DI	20	7	30%	1.9	下半	DI	15	7	20%	1.8	DI	20	7	20%	1.7	
加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																						
上下半	B	5	4	25%	2.4																																																																																						
	CI	10	5	25%	2.0																																																																																						
	CII	10	7	25%	2.3																																																																																						
上半	DI	15	7	30%	2.1																																																																																						
	DI	20	7	30%	1.9																																																																																						
下半	DI	15	7	20%	1.8																																																																																						
	DI	20	7	20%	1.7																																																																																						
加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																						
上下半	B	5	4	25%	2.4																																																																																						
	CI	10	5	25%	2.0																																																																																						
	CII	10	7	25%	2.3																																																																																						
上半	DI	15	7	30%	2.1																																																																																						
	DI	20	7	30%	1.9																																																																																						
下半	DI	15	7	20%	1.8																																																																																						
	DI	20	7	20%	1.7																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												
P.750 15-①-28 P.751 15-①-29	4-6 工事前仮設備 4-6-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。 表4.47 空気圧縮機容量 <table border="1" data-bbox="212 496 1102 603"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 12.0~12.3m³/min×0.7MPa(7kgf/cm²)×75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min×0.7MPa(7kgf/cm ²)×75kW	台	2	(6) コンクリートの打設 型枠工及びコンクリート工における1打設長は、2日で10.5mを標準とする。 4-6 工事前仮設備 4-6-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。 表4.47 空気圧縮機容量 <table border="1" data-bbox="1131 496 1998 603"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min×0.7~0.85MPa×75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2																																													
機 種	規 格	単 位	台 数																																																												
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min×0.7MPa(7kgf/cm ²)×75kW	台	2																																																												
機 種	規 格	単 位	台 数																																																												
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2																																																												
P.753 15-①-31	4-6-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。 表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り) <table border="1" data-bbox="275 815 1039 1007"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃		4-6-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。 表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り) <table border="1" data-bbox="1182 815 1946 1007"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 坑内作業において、支保工作後は、上表の数量を「n×41.8×1/2」とする。	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃																														
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
P.761 15-①-39	(23) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表 <table border="1" data-bbox="212 1123 1102 1401"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 12.0~12.3m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.48	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					(23) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表 <table border="1" data-bbox="1151 1123 1975 1401"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.48	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.48																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.48																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																						
P.764 15-①-42	<p>1. 適用範囲 本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。 なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、機械掘削方式（自由断面掘削機）に適用する。 ② 機械掘削工法は、岩石の一軸圧縮強度が、49N/mm²（500kgf/cm²）程度以下とする。 ③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。</p> <p>④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、掘削断面積50m²未満のものは、別途考慮する。また、掘削断面積95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難しい場合は、別途考慮する。 ⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。 ⑥ 掘削区分A、Eについては、別途考慮する。 ⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を片側5m間隔に設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>	<p>1. 適用範囲 本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。 なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、機械掘削方式（自由断面掘削機）に適用する。 ② 機械掘削工法は、岩石の一軸圧縮強度が、49N/mm²（500kgf/cm²）程度以下とする。 ③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。</p> <p>④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、掘削断面積50m²未満のものは、別途考慮する。また、掘削断面積95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難しい場合は、別途考慮する。 ⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。 ⑥ 掘削区分A、CII-a、DI-a、Eについては、別途考慮する。 ⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>																																																																																							
P.768 15-①-46	<p>(2) 掘削機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="230 754 1081 1150"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>加背</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">掘 削 ずり出し</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>自由断面 トンネル掘削 機</td> <td>最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホイールロー ダ</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式I, 300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td>上半 下半</td> <td>ダンプトラッ ク</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積</td> <td>〃</td> <td>n</td> <td>ずり運搬</td> </tr> <tr> <td>吹付</td> <td>上半 下半</td> <td>コンクリート 吹付機</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	加背	機 種	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削 機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW	台	1		ホイールロー ダ	トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込	下半	大型ブレーカ	油圧式I, 300kg級	〃	1		バックホウ	トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込	上半 下半	ダンプトラッ ク	坑内用普通ディーゼル10t積	〃	n	ずり運搬	吹付	上半 下半	コンクリート 吹付機	トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1		<p>(2) 掘削機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1137 783 1989 1179"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>加背</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">掘 削 ずり出し</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>自由断面 トンネル掘削 機</td> <td>最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホイールロー ダ</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工専用油圧式I, 300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td>上半 下半</td> <td>ダンプトラッ ク</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積</td> <td>〃</td> <td>n</td> <td>ずり運搬</td> </tr> <tr> <td>吹付</td> <td>上半 下半</td> <td>コンクリート 吹付機</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	加背	機 種	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削 機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW	台	1		ホイールロー ダ	トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込	下半	大型ブレーカ	トンネル工専用油圧式I, 300kg級	〃	1		バックホウ	トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込	上半 下半	ダンプトラッ ク	坑内用普通ディーゼル10t積	〃	n	ずり運搬	吹付	上半 下半	コンクリート 吹付機	トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1		
施工区分	加背	機 種	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削 機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW	台	1																																																																																				
		ホイールロー ダ	トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込																																																																																			
	下半	大型ブレーカ	油圧式I, 300kg級	〃	1																																																																																				
		バックホウ	トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込																																																																																			
上半 下半	ダンプトラッ ク	坑内用普通ディーゼル10t積	〃	n	ずり運搬																																																																																				
吹付	上半 下半	コンクリート 吹付機	トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1																																																																																				
施工区分	加背	機 種	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削 機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200～240kW	台	1																																																																																				
		ホイールロー ダ	トンネル工専用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込																																																																																			
	下半	大型ブレーカ	トンネル工専用油圧式I, 300kg級	〃	1																																																																																				
		バックホウ	トンネル工専用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込																																																																																			
上半 下半	ダンプトラッ ク	坑内用普通ディーゼル10t積	〃	n	ずり運搬																																																																																				
吹付	上半 下半	コンクリート 吹付機	トンネル工専用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1																																																																																				
P.772 15-①-50	<p>(注) 1. 大型ブレーカのベースマシンは、トンネル工専用排出ガス対策型のバックホウ・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)とする。 2. 上半・下半各々でダンプトラックの使用台数を算出する。</p>	<p>(注) 1. 大型ブレーカのベースマシンは、トンネル工専用排出ガス対策型のバックホウ・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)とする。 2. 上半・下半各々でダンプトラックの使用台数を算出する。</p>																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																
P.777 15-①-55	<p>(3) 設計吹付厚及び補正係数 設計吹付厚及び補正係数は、次表を標準とする。</p> <p>表 4.17 設計吹付厚及び補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削 区分</th> <th>設計吹付厚 (cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">下半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 補正係数には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K)=(設計吹付厚+余吹厚)/(設計吹付厚×(1-はね返り率))</p>	加背名	掘削 区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上半	C I	10	5	30%	2.1	C II	10	5	30%	2.1	D I	15	5	30%	1.9	D II	20	5	30%	1.8	下半	C I	10	5	20%	1.9	C II	10	5	20%	1.9	D I	15	5	20%	1.7	D II	20	5	20%	1.6	<p>(3) 設計吹付厚及びロス率 設計吹付厚及びロス率は、次表を標準とする。</p> <p>表 4.17 設計吹付厚及び補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削 区分</th> <th>設計吹付厚 (cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">下半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K)=(設計吹付厚+余吹厚)/(設計吹付厚×(1-はね返り率))</p>	加背名	掘削 区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上半	C I	10	5	30%	2.1	C II	10	5	30%	2.1	D I	15	5	30%	1.9	D II	20	5	30%	1.8	下半	C I	10	5	20%	1.9	C II	10	5	20%	1.9	D I	15	5	20%	1.7	D II	20	5	20%	1.6	
加背名	掘削 区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																														
上半	C I	10	5	30%	2.1																																																																																														
	C II	10	5	30%	2.1																																																																																														
	D I	15	5	30%	1.9																																																																																														
	D II	20	5	30%	1.8																																																																																														
下半	C I	10	5	20%	1.9																																																																																														
	C II	10	5	20%	1.9																																																																																														
	D I	15	5	20%	1.7																																																																																														
	D II	20	5	20%	1.6																																																																																														
加背名	掘削 区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																														
上半	C I	10	5	30%	2.1																																																																																														
	C II	10	5	30%	2.1																																																																																														
	D I	15	5	30%	1.9																																																																																														
	D II	20	5	30%	1.8																																																																																														
下半	C I	10	5	20%	1.9																																																																																														
	C II	10	5	20%	1.9																																																																																														
	D I	15	5	20%	1.7																																																																																														
	D II	20	5	20%	1.6																																																																																														
P.783 15-①-61	<p>4-4-3 インバート掘削工 (1) インバート掘削工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表4.30 インバート掘削工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.39</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式600~800kg級</td> <td>日</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600~800kg級用</td> <td>本</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. 上表には、破砕片除去、掘削面整形及びびずり積込作業が含まれる。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.16	トンネル特殊工		〃	0.39	トンネル作業員		〃	0.20	大型ブレーカ運転	油圧式600~800kg級	日	0.15	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30	チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01	<p>4-4-3 インバート掘削工 (1) インバート掘削工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表4.30 インバート掘削工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.39</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工専用油圧式600~800kg級</td> <td>日</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600~800kg級用</td> <td>本</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. 上表には、破砕片除去、掘削面整形及びびずり積込作業が含まれる。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.16	トンネル特殊工		〃	0.39	トンネル作業員		〃	0.20	大型ブレーカ運転	トンネル工専用 油圧式600~800kg級	日	0.15	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30	チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01																																									
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																
トンネル世話役		人	0.16																																																																																																
トンネル特殊工		〃	0.39																																																																																																
トンネル作業員		〃	0.20																																																																																																
大型ブレーカ運転	油圧式600~800kg級	日	0.15																																																																																																
バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30																																																																																																
チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																
トンネル世話役		人	0.16																																																																																																
トンネル特殊工		〃	0.39																																																																																																
トンネル作業員		〃	0.20																																																																																																
大型ブレーカ運転	トンネル工専用 油圧式600~800kg級	日	0.15																																																																																																
バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30																																																																																																
チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												
P.789 15-①-67	<p>4-6 工事用仮設備 4-6-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.50 空気圧縮機容量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 12.0~12.3m³/min×0.7MPa(7kgf/cm²)×75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min×0.7MPa(7kgf/cm ²)×75kW	台	2	<p>4-6 工事用仮設備 4-6-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.50 空気圧縮機容量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min×0.7~0.85MPa×75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2																																													
機 種	規 格	単 位	台 数																																																												
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min×0.7MPa(7kgf/cm ²)×75kW	台	2																																																												
機 種	規 格	単 位	台 数																																																												
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2																																																												
P.791 15-①-69	<p>4-6-5 工事用換気設備 (1) 換気装置の坑内配置で、切羽の掘進に伴い、送風機を増設する場合の送風機間隔は100m以上を標準とする。 (2) 切羽からの控え長さは、40mを標準とする。 (3) 送風機の1日当り運転時間は、18時間を標準とする。</p>	<p>4-6-5 工事用換気設備 (1) 換気装置の坑内配置で、切羽の掘進に伴い、送風機を増設する場合の送風機間隔は100m以上を標準とする。 (2) 切羽からの控え長さは、40mを標準とする。 削除</p>																																																													
P.791 15-①-69	<p>4-6-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃		<p>4-6-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; text-align: center;">(注) 坑内作業において、支保工作後は、上表の数量を「n×41.8×1/2」とする。</p>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃																														
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
P.797 15-①-75	<p>(21) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.51</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 12.0~12.3m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.51	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(21) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.51</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.51	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.51																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.51																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															
現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

P.801
15-①-78

(28) 機械運転単価表

機 械	規 格	適用単価 表	指 定 事 項
自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-24	燃料消費量 →617 機械損料数量→ 1.40
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型ホイール式2ブーム ドリフタ質量150kg級	機-25	燃料消費量 →201 機械損料数量→ 1.40
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ 級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量→ 1.40
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型サイドダンプ式 山積	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量→ 1.40
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量→ 1.40
吹付プラント設備	(パッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量→ 1.40
大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積	機-32	燃料消費量 →121 機械損料数量→ 1.40 タイヤの損耗費も計上
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量→ 1.40
集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する 機械損料数量 → 0.80
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型	機-13	インバート掘削工
〃	排出ガス対策型・クローラ型	機-1	インバート埋戻し材積込作業
ブルドーザ	排出ガス対策型, 黒煙浄化装置付普通15 t 級 (13～16)	機-13	インバート埋戻工
タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 種	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110	機-13	インバート用

(28) 機械運転単価表

機 械	規 格	適用単価 表	指 定 事 項
自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 →617 機械損料数量→ 1.40
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型ホイール式2ブーム ドリフタ質量150kg級	機-25	燃料消費量 →201 機械損料数量→ 1.40
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ 級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量→ 1.40
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型サイドダンプ式 山積	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量→ 1.40
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量→ 1.40
吹付プラント設備	(パッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量→ 1.40
大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積	機-32	燃料消費量 →121 機械損料数量→ 1.40 タイヤの損耗費も計上
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量→ 1.40
集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する 機械損料数量 → 0.80
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型	機-13	インバート掘削工
〃	排出ガス対策型・クローラ型	機-1	インバート埋戻し材積込作業
ブルドーザ	排出ガス対策型, 黒煙浄化装置付普通15 t 級 (13～16)	機-13	インバート埋戻工
タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 種	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110	機-13	インバート用

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																														
P804 15-②-4	<p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を片側5m間隔に設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>	<p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p>																																																															
P810 15-②-10	<p>(4) コンクリート吹付機の運転時間 掘削1m当りのコンクリート吹付機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.12 コンクリート吹付機</p> <p>規格：トンネル工事用排出ガス対策型 湿式ホイール型吹付範囲 半径7m級吐出量 6～20m³級</p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="268 619 1032 922"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>35</th> <th>40</th> <th>45</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.072</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.089</td> <td>0.098</td> <td>0.100</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.113</td> <td>0.115</td> <td>0.124</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.165</td> <td>0.174</td> <td>0.178</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.172</td> <td>0.183</td> <td>0.191</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)			摘要	35	40	45	全断面工法	B	0.061	0.063	0.072		C I	0.089	0.098	0.100	C II	0.113	0.115	0.124	D I	0.165	0.174	0.178	D II	0.172	0.183	0.191	<p>(4) コンクリート吹付機の運転時間 掘削1m当りのコンクリート吹付機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.12 コンクリート吹付機</p> <p>規格：トンネル工事用排出ガス対策型 湿式一体型吹付範囲 半径7m級吐出量 6～20m³級</p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="1167 632 1930 935"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>35</th> <th>40</th> <th>45</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.072</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.089</td> <td>0.098</td> <td>0.100</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.113</td> <td>0.115</td> <td>0.124</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.165</td> <td>0.174</td> <td>0.178</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.172</td> <td>0.183</td> <td>0.191</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)			摘要	35	40	45	全断面工法	B	0.061	0.063	0.072		C I	0.089	0.098	0.100	C II	0.113	0.115	0.124	D I	0.165	0.174	0.178	D II	0.172	0.183	0.191	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)				摘要																																																									
		35	40	45																																																													
全断面工法	B	0.061	0.063	0.072																																																													
	C I	0.089	0.098	0.100																																																													
	C II	0.113	0.115	0.124																																																													
	D I	0.165	0.174	0.178																																																													
	D II	0.172	0.183	0.191																																																													
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)			摘要																																																												
		35	40	45																																																													
全断面工法	B	0.061	0.063	0.072																																																													
	C I	0.089	0.098	0.100																																																													
	C II	0.113	0.115	0.124																																																													
	D I	0.165	0.174	0.178																																																													
	D II	0.172	0.183	0.191																																																													
P821 16-③-5		<p>③ 鋼製支保工労務 鋼製支保工労務は、掘削作業の編成人員で行う。</p>																																																															
P826 15-②-26	<p>4-5 工事用仮設備 4-5-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.63 空気圧縮機容量</p> <table border="1" data-bbox="230 1257 1070 1361"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 12.0～12.3m³/min × 0.7MPa(7kgf/cm²) × 75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0～12.3m ³ /min × 0.7MPa(7kgf/cm ²) × 75kW	台	2	<p>4-5 工事用仮設備 4-5-1 空気圧縮機 (1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.63 空気圧縮機容量</p> <table border="1" data-bbox="1124 1270 1973 1374"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 11.0～12.4m³/min × 0.7～0.85MPa × 75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0～12.4m ³ /min × 0.7～0.85MPa × 75kW	台	2																																															
機 種	規 格	単 位	台 数																																																														
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 12.0～12.3m ³ /min × 0.7MPa(7kgf/cm ²) × 75kW	台	2																																																														
機 種	規 格	単 位	台 数																																																														
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0～12.4m ³ /min × 0.7～0.85MPa × 75kW	台	2																																																														

土木工事標準歩掛の一部見直し
トンネル工・小断面トンネル工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												
P828 16-③-5	<p>4-5-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" data-bbox="271 368 1032 563"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃		<p>4-5-7 仮設備保守 (2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" data-bbox="1171 368 1933 563"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>n=編成人員</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">(注) 坑内作業において、支保工作業後は、上表の数量を「n×41.8×1/2」とする。</p>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃																														
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																												
普 通 作 業 員	人	n×41.8	n=編成人員																																																												
機 械 工	〃	〃																																																													
電 工	〃	〃																																																													
P833 15-②-33	<p>(14) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="237 691 1066 906"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.64</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 12.0~12.3m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.64	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(14) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1128 691 1957 906"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.64</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.64	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.64																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 12.0~12.3m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																											
電 力 料		kWh																																																													
特 殊 作 業 員		人		表4.64																																																											
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		〃																																																											
諸 雑 費		式	1																																																												
計																																																															

土木工事標準歩掛の一部見直し
鋼橋架設工

現行基準 のページ	現 行								改 正								摘 要				
P.859 16-②-10	表1.16 主体足場各係数								表1.16 主体足場各係数												
	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場				パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場								
	種 類		L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	種 類		L ₁	L ₂	N ₁	N ₂		L ₁	L ₂	N ₁	N ₂
	プレートガードボックスガード		120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028	プレートガードボックスガード		120	98	0.027	0.019		269	87	0.045	0.028
	ラ ー メ ン		177	142	0.036	0.023	—	—	—	—	ラ ー メ ン		177	142	0.036	0.023		—	—	—	—
トラス, アーチ		281	227	0.053	0.032	446	216	0.068	0.040	トラス, アーチ		281	227	0.053	0.032	446	216	0.068	0.040		
<p>(注) 1. ワイヤーブリッジ転用足場を使用する場合, πラーメン, 上路式アーチには適用しない。 又, 単独発注する場合は設置のみしか適用しない。</p> <p>2. ワイヤーブリッジ転用足場でトラス, アーチについて, 上側足場はパイプ足場としての複合単価である。</p>		<p>(注) 1. ワイヤーブリッジ転用足場を使用する場合, πラーメン, 上路式アーチには適用しない。 又, 単独発注する場合は架設のみしか適用しない。</p> <p>2. ワイヤーブリッジ転用足場でトラス, アーチについて, 上側足場はパイプ足場としての複合単価である。</p>																			

土木工事標準歩掛の一部見直し
鋼橋架設工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																
標準歩掛 P859	<p style="text-align: center;">表1.16 主体足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="331 271 967 443"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="4">パイプ吊足場</th> <th colspan="4">ワイヤーブリッジ転用足場</th> </tr> <tr> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダ ボックスガーダ</td> <td>120</td> <td>98</td> <td>0.027</td> <td>0.019</td> <td>269</td> <td>87</td> <td>0.045</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>177</td> <td>142</td> <td>0.036</td> <td>0.023</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>281</td> <td>227</td> <td>0.053</td> <td>0.032</td> <td>446</td> <td>216</td> <td>0.068</td> <td>0.040</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ワイヤーブリッジ転用足場を使用する場合、πラーメン、上路式アーチには適用しない。又、単独発注する場合は設置のみしか適用しない。 2. ワイヤーブリッジ転用足場でトラス、アーチについて、上側足場はパイプ足場としての複合単価である。</p> <p style="text-align: center;">表1.18 安全通路各係数</p> <table border="1" data-bbox="389 632 909 759"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダボ ックスガーダ</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>0.008</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>0.015</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>239</td> <td>115</td> <td>0.016</td> <td>0.009</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場				L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガーダ ボックスガーダ	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028	ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—	トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	446	216	0.068	0.040	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガーダボ ックスガーダ	22	18	0.008	0.005	ラ ー メ ン	38	33	0.015	0.009	トラス, アーチ	239	115	0.016	0.009	<p style="text-align: center;">表1.16 主体足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="1227 271 1863 443"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="4">パイプ吊足場</th> <th colspan="4">ワイヤーブリッジ転用足場</th> </tr> <tr> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダ ボックスガーダ</td> <td>120</td> <td>98</td> <td>0.027</td> <td>0.019</td> <td>269</td> <td>87</td> <td>0.045</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>177</td> <td>142</td> <td>0.036</td> <td>0.023</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>281</td> <td>227</td> <td>0.053</td> <td>0.032</td> <td><u>452</u></td> <td><u>222</u></td> <td>0.068</td> <td>0.040</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ワイヤーブリッジ転用足場を使用する場合、πラーメン、上路式アーチには適用しない。又、単独発注する場合は設置のみしか適用しない。 2. ワイヤーブリッジ転用足場でトラス、アーチについて、上側足場はパイプ足場としての複合単価である。</p> <p style="text-align: center;">表1.18 安全通路各係数</p> <table border="1" data-bbox="1285 632 1805 759"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダボ ックスガーダ</td> <td><u>25</u></td> <td><u>20</u></td> <td>0.008</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td><u>40</u></td> <td><u>35</u></td> <td>0.015</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td><u>241</u></td> <td><u>117</u></td> <td>0.016</td> <td>0.009</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場				L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガーダ ボックスガーダ	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028	ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—	トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	<u>452</u>	<u>222</u>	0.068	0.040	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガーダボ ックスガーダ	<u>25</u>	<u>20</u>	0.008	0.005	ラ ー メ ン	<u>40</u>	<u>35</u>	0.015	0.009	トラス, アーチ	<u>241</u>	<u>117</u>	0.016	0.009	
種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場																																																																																																																														
	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																											
プレートガーダ ボックスガーダ	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028																																																																																																																											
ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—																																																																																																																											
トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	446	216	0.068	0.040																																																																																																																											
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																															
プレートガーダボ ックスガーダ	22	18	0.008	0.005																																																																																																																															
ラ ー メ ン	38	33	0.015	0.009																																																																																																																															
トラス, アーチ	239	115	0.016	0.009																																																																																																																															
種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場																																																																																																																														
	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																											
プレートガーダ ボックスガーダ	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028																																																																																																																											
ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—																																																																																																																											
トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	<u>452</u>	<u>222</u>	0.068	0.040																																																																																																																											
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																															
プレートガーダボ ックスガーダ	<u>25</u>	<u>20</u>	0.008	0.005																																																																																																																															
ラ ー メ ン	<u>40</u>	<u>35</u>	0.015	0.009																																																																																																																															
トラス, アーチ	<u>241</u>	<u>117</u>	0.016	0.009																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部見直し
プレキャストセグメント主桁組立工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																								
P.885 16-⑤-1	<p>3. 機種 の 選 定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種・規格</p> <table border="1" data-bbox="215 355 1088 740"> <thead> <tr> <th></th> <th>セグメント質量 (t)</th> <th>トラッククレーンの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td> <td>～11.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>11.1～12.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>12.1～15.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>15.1～17.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 30 t 吊</td> </tr> <tr> <td>17.1～19.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>19.1～21.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>21.1～24.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>24.1～33.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型120 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラッククレーン規格は、取卸用の標準であり、上表以外の場合は別途選定できる。 2. トラッククレーンは、賃料とする。 3. トラッククレーンの選定について、トラッククレーンが、トレーラと並列に配置される現場、もしくは、架設桁の背後にトラッククレーン回転部のすぐ側まで寄れる現場を標準としている。作動現場が上記により難しい場合は、別途考慮する。 4. セグメント質量が均一でない場合、セグメントの最大質量でトラッククレーンを選定する。</p>		セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊	<p>3. 機種 の 選 定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種・規格</p> <table border="1" data-bbox="1111 355 1984 740"> <thead> <tr> <th></th> <th>セグメント質量 (t)</th> <th>トラッククレーンの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td> <td>～11.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>11.1～12.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>12.1～15.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>15.1～17.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 30 t 吊</td> </tr> <tr> <td>17.1～19.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>19.1～21.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>21.1～24.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>24.1～33.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型120 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラッククレーン規格は、取卸用の標準であり、上表以外の場合は別途選定できる。 2. トラッククレーンは、賃料とする。 3. トラッククレーンの選定について、トラッククレーンが、トレーラと並列に配置される現場、もしくは、架設桁の背後にトラッククレーン回転部のすぐ側まで寄れる現場を標準としている。作動現場が上記により難しい場合は、別途考慮する。 4. セグメント質量が均一でない場合、セグメントの最大質量でトラッククレーンを選定する。</p>		セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊	
	セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格																																									
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																									
	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊																																									
	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																									
	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊																																									
	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																									
	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																									
	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊																																									
	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊																																									
	セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格																																									
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																									
	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊																																									
	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																									
	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊																																									
	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																									
	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																									
	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊																																									
	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊																																									

土木工事標準歩掛の一部見直し
P C 橋架設工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																								
標準歩掛 P896	<p>5-5 足場工及び防護工 5-5-1 足場工 (1) 桁下足場</p> <p>桁下足場工は、パイプ吊足場を標準とし、足場工費は、次式による。 なお、工費には側部（朝顔）などの費用も含まれている。</p> $\text{足場工費} = (S \times X + N \times y) \times A \text{ (円)}$ <p>S：損料係数 (表5.9) (表5.10) X：足場を設置している月数 (月) 桁下足場の設置月数は、2箇月を標準とする。 N：歩掛係数 (表5.9) (表5.10) y：橋梁特殊工単価 (円/人) A：橋面積 (m²) A = W × L (m²) W：全幅員で地覆外縁間距離、壁高欄の場合は壁高欄外縁間距離 (m) L：橋長 (m)</p> <p>損料係数 (S)、歩掛係数 (N) 各係数は、次表を標準とする。</p> <p>表5.9 ポストテンション桁用足場損料係数 (S)、歩掛係数 (N)</p> <table border="1" data-bbox="347 730 956 849"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁高 (m)</th> <th colspan="2">係 数</th> <th colspan="2">S</th> <th colspan="2">N</th> </tr> <tr> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1 ≤ H < 1.5</td> <td>345</td> <td>325</td> <td>0.10</td> <td>0.09</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.5 ≤ H</td> <td>365</td> <td>345</td> <td>0.12</td> <td>0.11</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表5.10 プレテンション桁用足場損料係数 (S)、歩掛係数 (N)</p> <table border="1" data-bbox="474 901 826 992"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両側朝顔</td> <td>315</td> <td>0.098</td> </tr> <tr> <td>片側朝顔</td> <td>305</td> <td>0.094</td> </tr> </tbody> </table>	桁高 (m)	係 数		S		N		両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	1.1 ≤ H < 1.5	345	325	0.10	0.09			1.5 ≤ H	365	345	0.12	0.11			係 数	S	N	両側朝顔	315	0.098	片側朝顔	305	0.094	<p>5-5 足場工及び防護工 5-5-1 足場工 (1) 桁下足場</p> <p>桁下足場工は、パイプ吊足場を標準とし、足場工費は、次式による。 なお、工費には側部（朝顔）などの費用も含まれている。</p> $\text{足場工費} = (S \times X + N \times y) \times A \text{ (円)}$ <p>S：損料係数 (表5.9) (表5.10) X：足場を設置している月数 (月) 桁下足場の設置月数は、2箇月を標準とする。 N：歩掛係数 (表5.9) (表5.10) y：橋梁特殊工単価 (円/人) A：橋面積 (m²) A = W × L (m²) W：全幅員で地覆外縁間距離、壁高欄の場合は壁高欄外縁間距離 (m) L：橋長 (m)</p> <p>損料係数 (S)、歩掛係数 (N) 各係数は、次表を標準とする。</p> <p>表5.9 ポストテンション桁用足場損料係数 (S)、歩掛係数 (N)</p> <table border="1" data-bbox="1243 730 1852 849"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁高 (m)</th> <th colspan="2">係 数</th> <th colspan="2">S</th> <th colspan="2">N</th> </tr> <tr> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1 ≤ H < 1.5</td> <td>350</td> <td>330</td> <td>0.10</td> <td>0.09</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.5 ≤ H</td> <td>370</td> <td>345</td> <td>0.12</td> <td>0.11</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表5.10 プレテンション桁用足場損料係数 (S)、歩掛係数 (N)</p> <table border="1" data-bbox="1370 901 1722 992"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両側朝顔</td> <td>320</td> <td>0.098</td> </tr> <tr> <td>片側朝顔</td> <td>310</td> <td>0.094</td> </tr> </tbody> </table>	桁高 (m)	係 数		S		N		両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	1.1 ≤ H < 1.5	350	330	0.10	0.09			1.5 ≤ H	370	345	0.12	0.11			係 数	S	N	両側朝顔	320	0.098	片側朝顔	310	0.094	
桁高 (m)	係 数		S		N																																																																						
	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔																																																																					
1.1 ≤ H < 1.5	345	325	0.10	0.09																																																																							
1.5 ≤ H	365	345	0.12	0.11																																																																							
係 数	S	N																																																																									
両側朝顔	315	0.098																																																																									
片側朝顔	305	0.094																																																																									
桁高 (m)	係 数		S		N																																																																						
	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔																																																																					
1.1 ≤ H < 1.5	350	330	0.10	0.09																																																																							
1.5 ≤ H	370	345	0.12	0.11																																																																							
係 数	S	N																																																																									
両側朝顔	320	0.098																																																																									
片側朝顔	310	0.094																																																																									

土木工事標準歩掛の一部見直し
歩道橋（側道橋）架設工

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																								
標準歩掛 P954	<p>(2) 足場工費 足場工費は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 足場工費</p> <table border="1" data-bbox="282 320 958 408"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>単 位</th> <th>足 場 工 費</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枠組足場</td> <td>円/箇所</td> <td>2.91Y+10,190+219D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吊足場</td> <td>円</td> <td>(0.015A+10.95)Y+(207+6D)A</td> <td>(注)</td> </tr> </tbody> </table> <p>D：足場使用日数（日）＝架設工日数＋床版工日数＋塗装工日数＋4 A：足場面積＝（全幅員＋1）×必要長さ（m） 全幅員とは、地覆外縁間距離とする。 Y：橋梁特殊工単価（円/人）</p> <p>(注) 1. 枠組足場は、手摺先行型とする。 2. 吊足場は、架設工・床版工・塗装工に適用する。 3. 足場工費は設置・撤去の労務費及び足場材に関わる費用を含む。 4. 吊足場において、防護工を必要とする場合は、「第16章橋梁②鋼橋架設工」による。 5. 吊足場には、安全ネットを含む。</p>	種 類	単 位	足 場 工 費	摘 要	枠組足場	円/箇所	2.91Y+10,190+219D		吊足場	円	(0.015A+10.95)Y+(207+6D)A	(注)	<p>(2) 足場工費 足場工費は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 足場工費</p> <table border="1" data-bbox="1178 320 1854 408"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>単 位</th> <th>足 場 工 費</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枠組足場</td> <td>円/箇所</td> <td>2.91Y+10,190+219D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吊足場</td> <td>円</td> <td>(0.015A+10.95)Y+(218+6D)A</td> <td>(注)</td> </tr> </tbody> </table> <p>D：足場使用日数（日）＝架設工日数＋床版工日数＋塗装工日数＋4 A：足場面積＝（全幅員＋1）×必要長さ（m） 全幅員とは、地覆外縁間距離とする。 Y：橋梁特殊工単価（円/人）</p> <p>(注) 1. 枠組足場は、手摺先行型とする。 2. 吊足場は、架設工・床版工・塗装工に適用する。 3. 足場工費は設置・撤去の労務費及び足場材に関わる費用を含む。 4. 吊足場において、防護工を必要とする場合は、「第16章橋梁②鋼橋架設工」による。 5. 吊足場には、安全ネットを含む。</p>	種 類	単 位	足 場 工 費	摘 要	枠組足場	円/箇所	2.91Y+10,190+219D		吊足場	円	(0.015A+10.95)Y+(218+6D)A	(注)	
種 類	単 位	足 場 工 費	摘 要																								
枠組足場	円/箇所	2.91Y+10,190+219D																									
吊足場	円	(0.015A+10.95)Y+(207+6D)A	(注)																								
種 類	単 位	足 場 工 費	摘 要																								
枠組足場	円/箇所	2.91Y+10,190+219D																									
吊足場	円	(0.015A+10.95)Y+(218+6D)A	(注)																								